

FSC-FM マニュアル
2025 年版

2025 年 6 月 1 日

南三陸森林管理協議会
FM 部会

南三陸森林管理協議会 FM部会 規約

2025年5月9日改訂

(目的)

第1条 この南三陸森林管理協議会 FM部会は、構成員相互の協力によりFSCから森林認証を受けたそれぞれが所有及び管理する森林について、常に認証基準どおりの森林経営と管理を通じて「持続可能な森林経営・管理」を実現することを目的とする。

(名称)

第2条 この部会は、「南三陸森林管理協議会 FM部会」(以下「本会」という。)と称する。

(所在)

第3条 本会の事務所は、宮城県本吉郡南三陸町志津川天王山138-3 南三陸森林組合内におく。

(構成員)

第4条 本会は、南三陸町内に山林を所有し、FSC認証を取得したもの、及び、取得を予定しているもの及び、FSC認証基準にのっとりた施業を行う意思のある林業事業者で構成する。なお、構成員は、以下の3つからなる。

- (1) 正会員…会員費を納め、協議会で発言権を持ち、認証林の登録ができる。
 - (2) 賛助会員…会員費は納めず、発言権は無いが認証林の登録はできる。
 - (3) 登録業者…会員費は納めず、認証林内で森林整備及び収穫作業を行う。
- (別紙1「名簿」、別紙2「組織図」)

(管理責任者)

第5条 本会にFM認証管理責任者をおく。FM認証管理責任者は、南三陸森林管理協議会会長とする。任期は5年とし、再任を妨げない。

(役員)

第6条 本会に次の役員をおき、総会の承認を経てFM認証管理責任者が構成員の中から任命する。任期は5年とし、再任を妨げない。

F M認証副管理責任者 1 名

(管理責任者の業務)

第7 条 F M認証管理責任者の業務は、次のとおりとする。

- (1) 本会を代表し会務を総理すること
- (2) 認証および森林管理計画の維持に関すること
- (3) 構成員の入会及び脱退、除名に関すること
- (4) F M認証部会マニュアル (F M認証グループ規約、森林管理計画書、森林作業共通仕様書、モニタリング実施要領等) の作成に関すること
- (5) F M認証グループ業務を統括し、規準の遵守を指導、指示すること
- (6) 規準不適合事項の改善対策に関すること
- (7) F M認証グループ業務の集計、公表、広報に関すること
- (8) マーケティングに関すること
- (9) その他目的達成のために必要な事項に関すること

(副管理責任者の業務)

第8 条 F M認証副管理責任者の業務は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその業務を代行する。

(構成員の業務)

第9 条 構成員の業務は、次のとおりとする。

- (1) 規準等を遵守したそれぞれのサイト内の森林管理に関すること
- (2) 収穫物の販売
- (3) F M認証管理責任者からの伝達文書の收受
- (4) F M認証管理責任者への業務内容及び認証森林の異動等の報告

(登録業者)

第10 条 登録業者の業務は、次のとおりとする。

- (1) FSC認証林内で森林施業を実施する場合、基準等を遵守し実施すること。
- (2) 収穫物の販売
- (3) F M認証管理責任者からの伝達文書の收受

(会議)

第11条 本会の会議は、総会及び例会（年1回以上）とし、FM認証管理責任者が召集し議長となる。

2 総会は、半数以上の出席がなければ成立しない。

3 総会の議事は、出席者の過半数で決し、同数の場合はFM認証管理責任者が決する。

(議決事項)

第12条 総会において議決する事項は、次のとおりとする。

(1) 経費に関すること

(2) 事業計画及び実績に関すること

(3) 予算及び決算に関すること

(4) FM認証部会マニュアル（FM部会 規約、森林管理計画書、森林作業共通仕様書、モニタリング実施要領等）の改廃に関すること

(5) 重要な規準不適合事項の対策の承認に関すること

(入会、脱退及び除名)

第13条 本会に入会しようとする者は、FM認証管理責任者に「入会申請書」（様式第1号）及び「FM部会 規約等遵守誓約書」（様式第2号）、その他関係書類を提出する。FM認証管理責任者は「入会資格チェックリスト」（別紙3）により確認し、入会要件に適合している場合は入会を承認し、入会承認書（様式第3号）により通知する。なお、入会しようとする者が管理するすべての森林のうち一部を除いて入会する場合は、その旨を説明する説明書を提出しなければならない。

2 本会を脱退しようとする者は、脱退届出書（様式第4号）を提出し、FM認証管理責任者がこれを承認し、脱退承認書（様式第5号）により通知する。

3 FM認証管理責任者は、次のいずれかに該当する場合、構成員を除名することができる。除名する場合には、その理由を付し通知する。（様式第6号）

(1) 不適合事項に対する改善処置を行わない場合

(2) ロゴマークの不正使用、表示違反等があった場合

(3) 負担金等を支払わなかった場合

4 FM認証管理責任者は、構成員の入会、脱退、除名及び認証森林面積の変

更があった場合には、その1ヶ月以内にウッドマークへ通知する。(様式第7号)

5 脱退承認及び除名通告を受けた構成員は、直ちにFSC及びウッドマークの名称、その他認証に付随するロゴマーク等の使用を中止し、認証証明書類をFM認証管理責任者へ返却すること。

(文書管理)

第14条 FM認証管理責任者の管理する文書は、保存文書一覧(別紙5)とし、管理方法は、次のとおりとする。

- (1) 保存文書一覧の原本を管理し、常に最新のもの維持すること
- (2) 書類の更新があった場合は、速やかに構成員に配布すること
- (3) 管理文書を情報公開すること

(会計)

第15条 本会の毎年度の経費は、南三陸森林管理協議会の経費をもって行う。

(経費)

第16条 本会の認証取得及び継続に関する経費は、認証林の管理面積等に応じてサイトごとに別途定めるものとする。なお、年度途中で脱退又は除名処分された場合、納入された負担金は、返金しない。

(事業年度)

第17条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第18条 本会に事務局を設け、南三陸森林組合におく。

(その他)

第19条 この規約に定めるもののほか必要な事項はFM認証管理責任者が別に定める。

別紙3（規約第12条関係）

2021年10月25日改訂

南三陸森林管理協議会 FM認証部会
入会資格チェックリスト

申請者：

申請日： 年 月 日

- 南三陸町内に森林を所有し、又は管理していること。
- 入会に必要な文書、記録類があること。
- 当協議会が定める「モニタリング実施要領」にある「(3) 内部監査によるモニタリング」に準じた審査を行い、FSCの原則と規準及び南三陸森林管理協議会 FM認証部会マニュアルを遵守し、定められた責務を果たすことができることを確認したこと。
- 審査にかかる経費及び、会費等を支払うことができること。（正会員のみ）

| FM 認証管理 | 担当者 |
|---------|-----|
| | |

別紙 5 (規約第13 条関係)

保存文書一覧

| 管理 No. | 記録名 | 保管場所 | 保管期間 |
|--------|--------------------|----------|------|
| 1 | FM 部会規約 | 事務局・各管理者 | 常用 |
| 2 | FM 認証 全体図面 | 事務局 | 常用 |
| 3 | 各サイト管理図面 | 事務局・各管理者 | 常用 |
| 4 | 森林管理計画・森林経営計画書 | 事務局・各管理者 | 常用 |
| 5 | 森林作業共通仕様書 | 事務局・各管理者 | 常用 |
| 6 | モニタリング実施要領 | 事務局・各管理者 | 常用 |
| 7 | FSCの原則と規準 | 事務局 | 常用 |
| 8 | 法規集 | 事務局 | 常用 |
| 9 | 入会申請書、入会承認書(写) | 事務局 | 永久 |
| 10 | FM認証部会 入会資格チェックリスト | 事務局 | 永久 |
| 11 | FM認証グループ規約等遵守誓約書 | 事務局 | 永久 |
| 12 | 退会届出書、脱退承認書(写) | 事務局 | 永久 |
| 13 | 除名通知(写) | 事務局 | 永久 |
| 14 | 認証森林の異動について | 事務局 | 永久 |
| 15 | FM認証部会 名簿 | 事務局 | 常用 |
| 16 | FM認証部会 組織図 | 事務局 | 常用 |
| 17 | 保存文書一覧 | 事務局・各管理者 | 常用 |
| 18 | 改善処理記録 | 事務局・各管理者 | 5年間 |
| 19 | 教育訓練実施記録 | 事務局・各管理者 | 5年間 |
| 20 | モニタリング記録 | 事務局・各管理者 | 5年間 |
| 21 | 苦情(意見)処理記録 | 事務局・各管理者 | 5年間 |

様式第1号

年 月 日

南三陸森林管理協議会 FM認証部会
FM認証管理責任者様

管理山林名：

住所：

氏名：

印

南三陸森林管理協議会 FM認証部会 入会申請書

南三陸森林管理協議会 FM認証部会に入会したいので、必要書類を添えて申請します。

添付書類

1. FM認証部会規約等遵守誓約書（様式第2号）
2. 森林管理計画及び図面
3. 除外森林説明書（写）

様式第 2 号

2021年10月25日改訂

F M認証部会規約等遵守誓約書

南三陸森林管理協議会 F M認証部会

F M認証管理責任者 様

南三陸森林管理協議会 F M認証部会（以下、当協議会）に参加するにあたり、
下記の 4 つの項目を誓約します。

1. FSC の原則と規準及び南三陸森林管理協議会 F M認証部会規約、
森林管理計画等を含む森林管理にかかるその他の規準類を遵守する。
2. 申請する管理山林が他のFSC認証に含まれていない。
3. 当協議会、認証機関、FSCおよびASI(Assurance Services
International)がそれぞれの責任を果たすことへ同意する。
4. 当協議会が認証の主な連絡窓口となることへ同意する。

年 月 日

管理山林名：

管理責任者

住 所：

氏 名：

印

様式第3号

年 月 日

管理責任者様

南三陸森林管理協議会 FM認証部会
FM認証管理責任者 印

南三陸森林管理協議会 FM認証部会 入会承認書

年 月 日付けの入会申請について審査した結果、規約第12条により本
会への入会を承認します。

様式第4号

年 月 日

南三陸森林管理協議会 FM認証部会
FM認証管理責任者 様

管理山林名：

住所：

氏名：

印

南三陸森林管理協議会 FM認証部会 脱退届出書

南三陸森林管理協議会 FM認証部会から脱退したいので届け出ます。

様式第5号

年月日

山林管理責任者様

南三陸森林管理協議会 FM認証部会
FM認証管理責任者 印

南三陸森林管理協議会 FM認証部会 脱退承認書

年月日付けの脱退届出について、規約第13条第2項により本会からの脱退を承認します。

なお、FSC 及びウッドマークの名称、その他認証に付随するロゴマーク等の使用を中止し、認証証明書類を管理責任者に速やかに返却してください。

様式第6号

年 月 日

山林管理責任者様

南三陸森林管理協議会FM認証部会
FM認証管理責任者 印

南三陸森林管理協議会FM認証部会からの除名について（通知）

南三陸森林管理協議会FM認証部会規約第12条第3項により本会から除名
します。除名理由については下記のとおりです。

なお、FSC及びウッドマークの名称、その他認証に付随するロゴマーク等の
使用を中止し、認証証明書類をFM認証管理責任者に速やかに返却してくださ
い。

記

除名理由：

以上

様式第7号

年月日

(アマタ株式会社) 様

南三陸森林管理協議会 FM認証部会

FM認証管理責任者 印

認証森林の異動について（報告）

南三陸森林管理協議会 FM認証部会の認証森林に以下のとおり異動が生じたので報告します。

1. 異動の内容

2. 異動の理由

南三陸森林管理協議会 FM認証部会 名簿

サイト管理者名簿

| No. | サイト名 | 管理者 | 管理面積 (ha) | |
|-----|-----------------------|----------|-----------|-------|
| | | | 認証林 | 認証林以外 |
| 1 | 南三陸町有林 | 南三陸町 | 1798.71 | 0 |
| 2 | 慶応義塾大学学校林 (南三陸町内分) | 南三陸森林組合 | 64.34 | 0 |
| 3 | 大長山林 | 大長林業 | 173.93 | 0 |
| 4 | 佐久山林 | 株式会社 佐久 | 332.0 | 0 |
| 5 | 入谷生産森林組合林 | 入谷生産森林組合 | 212.84 | 0 |
| 計 | | | 2581.82 | 0 |

FM認証部会 会員名簿

| No. | 役職 | 団体・個人 |
|-----|--------------|----------|
| 1 | 正会員 | 南三陸町 |
| 2 | 正会員 | 大長林業 |
| 3 | 正会員 | 慶應義塾 |
| 3 | 賛助会員 | 入谷生産森林組合 |
| 4 | 事務局・登録業者 | 南三陸森林組合 |
| 5 | 正会員・事務局・登録業者 | 株式会社 佐久 |
| 6 | 登録業者 | 有限会社天神木材 |
| 7 | 登録業者 | 株式会社吉田運送 |
| 8 | 登録業者 | 元木 幸雄 |
| 9 | 登録業者 | 阿部 忠夫 |

南三陸森林管理協議会 FM認証部会 組織図



南三陸森林管理協議会 FM 部会
森林管理計画書
2025 年改定版

2025 年 6 月 5 日改定

1 概要

1-1 名称及び連絡先

住 所 : 〒986-0728 宮城県本吉郡南三陸町志津川天王山 1 3 8 - 3

名 称 南三陸森林管理協議会 FM部会

代 表 者 南三陸森林管理協議会 会長

連 絡 先 南三陸森林組合

電 話 0226-46-3119

1-2 南三陸町の概要

(1) 沿革

南三陸町は旧志津川町と旧歌津町が平成 17 年 10 月 1 日に合併して誕生した町である。合併前の旧志津川町と旧歌津町は、古くから病院の運営やし尿処理・ごみ処理業務などの分野で協力関係を築いてきた地域であり、交通・情報通信網の発達に伴い、住民の日常生活や経済活動は、両町の境界を越えて営まれている地域であった。

南三陸町は、江戸時代より山間部の入谷地区を中心とする養蚕で栄えたが、近年は、海岸部の養殖漁業が産業の中心となっている。平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により南三陸町は甚大な被害を受けたが、震災前の志津川湾は、養殖筏が並ぶ日本有数の養殖漁場地であった。南三陸町統計書令和元年度版によれば、令和 5 年の南三陸町統計書では、令和 2 年の農業、林業・狩猟業、漁業・水産養殖業の従事者がそれぞれ 287 人、45 人、944 人であり、漁業・水産養殖業が盛んな町であったことが窺える。

震災後、南三陸町復興計画を中心とした復興事業が進んでおり、計画では町民が自然と共生をしながら安心して暮らせるまちづくりを進めるとともに、農林水産業を含む産業の再生・発展を目指している。

(2) 森林の概要

南三陸町は宮城県の北東部、本吉郡の南部に位置し、東は太平洋に面し、北は気仙沼市、西は登米市、南は石巻市に接する、東西約 18 k m、南北約 18 k m、面積 16,340 ha(注 1-1)の町である。志津川湾、伊里前湾に面し、湾内には椿島、竹島、船形島、野島などの島がありリアス式海岸特有の優れた景観を持つ。沿岸部一体は三陸復興国立公園(旧南三陸金華山国定公園)の指定を受けている。

西・北・南西は北上山地の支脈の東南にあり、東は海に向かって開け、西の田東山嶺から海に向かっては、北上山地の山麓部、開折された海岸段丘を経て海岸部に至っている。気候は太平洋側に位置するため海流の影響により、夏は涼しく冬は雪が少なく、比較的温暖である。年間を通した平均気温は約 12.5 度、年間降水量は約 1,294mm(注 1)である。(平成 30 年～令和 4 年の平均)

本町全体の森林面積は 12,466 ha で、町の総面積の 76.3%を占めている。国有林が 1,735 h a、私有林が 8,689 h a、町有林を含む公有林が 2,042 h a となっている。(注 1-2)

本町の林業は、木材生産のみならず、遊歩道を整備したレクリエーションや、山林を「企業の森」として貸し出し、及び、イヌワシ生育環境再生の取り組みなど、山林の多角的機能付けに取り組んでいる。

(注 1-1：南三陸町統計書 令和 5 年度版より引用)

(注 1-2：みやぎの森林・林業のすがた令和 5 年度版

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/51287/sugata-r5.pdf> より) 1-3 認証形態

(1) 森林認証グループシステム

南三陸森林管理協議会 FM部会 規約のとおり

(2) グループ加入者

名簿のとおり

(3) 計画期間

令和 7 年度 ～ 令和 11 年度

2 森林管理方針

2-1 基本理念

南三陸町は2011年3月11日の東日本大震災により多くの町民と財産を無くしてしまいました。しかしながら山林のみがほぼ無傷で残っている。自然の力によって町が破壊されても、自然は残され、その残された自然が南三陸町にとって揺るぎない財産であると、町民の多くは気づかされたのである。

この経験から、南三陸町は「南三陸町震災復興計画」の基本理念の一つに「自然と共生するまちづくり」を掲げている。また、2016年からの南三陸町第二次総合計画の中で基本構想に「森 里 海 ひと いのちめぐるまち 南三陸」という理念を掲げている。これら理念は、震災時の経験を活かし、また自然の恵みを最大限に活用しながら、災害に強く、安全で安心な町づくりを進めるという内容である。つまり、私たちの暮らしは、豊かな自然の恵みと活発な人間活動を基礎に成り立っていることを自覚し、将来にわたって、町の成長と環境の保全が両立した、環境と共生する持続可能な町づくりが求められている。

山林には、主に水源涵養、二酸化炭素吸収・酸素生成、土壌保全、及び動植物の住処という四つの機能が一般的にあるとされている。本町は、町境が分水嶺に囲まれているため、山・里・海が川によって繋がっている。したがって、山林の機能を損なうことは、町全体の環境を脅かすことになる。そのためには、本町の環境を構成する大きな要素である森林の多面的な働きを高めるとともに、生態系や自然環境を考慮しながら森林資源を活かし価値化する必要がある。これこそが先進的な一次産業と位置づけ、南三陸町の林業から発信していく。

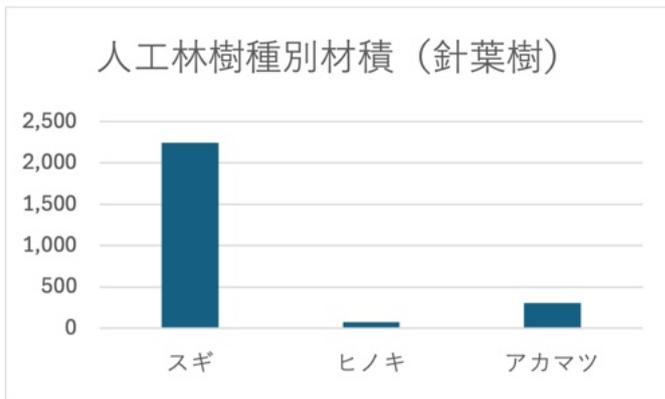
これらを実現するために、基本として長期にわたりFSCの原則と基準に従い森林管理を行っていくこととする。

2-2 森林管理の目的

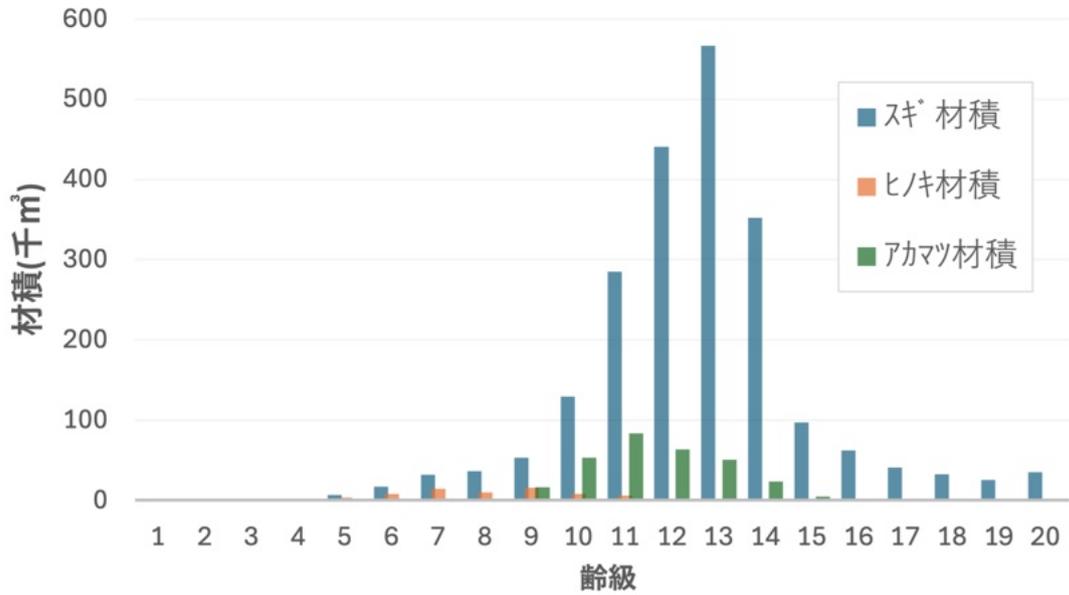
「2-1 基本理念」に基づき南三陸町の山林に対し、適切で持続可能な森林管理を行うことにより、森林の多面的な働きを高めるとともに、生態系や自然環境を考慮しながら森林資源を活かし価値化することを目的とする。

2-3 森林管理の方針（森林管理計画）

| | | | | | | | (単位:千m ³) | |
|-----------------------|-------|-----|-------|-----------|-------|------|-----------------------|-----|
| 森林 材積 ※2 | 3,306 | 人工林 | 2,654 | 針広樹 ※1 | 2,643 | スギ | 2,246 | |
| | | | | | | ヒノキ | 76 | |
| | | | | | | アカマツ | 304 | |
| | | 天然林 | 652 | 針広樹 | 205 | 広葉樹 | 11 | |
| | | | | | | 針広樹 | 広葉樹 | 447 |
| | | | | | | | 広葉樹 | |
| ※1 針葉樹には、カラマツなども含まれる。 | | | | | | | | |
| ※2 伐採跡地・竹林の材積は含まない。 | | | | | | | | |

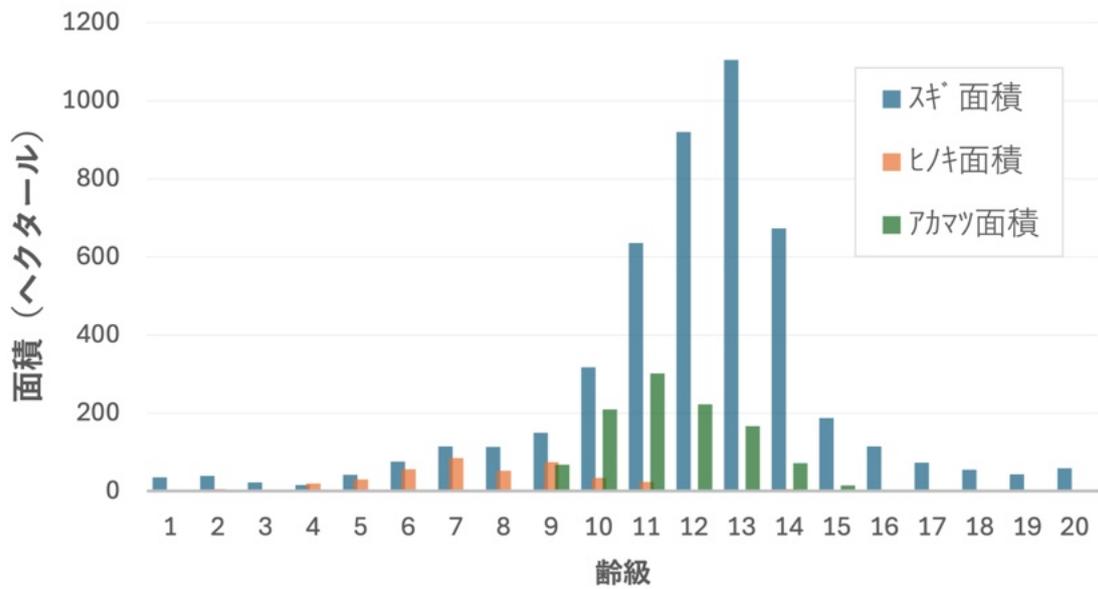


齢級別 針葉樹（人工林）材積



出典：宮城県森林簿情報オープンデータ

齢級別 針葉樹（人工林）面積



出典：宮城県森林簿情報オープンデータ

南三陸町の区域面積は 16,340 ha(注 2-1)であるのに対して、その 76.3% (12,466ha) (注 2-3) は森林が占めている。また、国有林を除いた民有林は 10,742ha(注 2-2)あり、このうち 61%(注 2-2)は人工林で宮城県の人工林率 53% (注 2-3)よりも高い。この人工林のほとんどは、杉である。齢級分布から分かる通り、所謂、戦後の拡大造林政策の影響が強く出ていて、日本の典型的な齢級の偏りを示している。したがって、持続可能な林業を目指すためには、皆伐・植林を視野にいれた計画的管理が必要であることを強く示している。

(注 2-1)南三陸町統計書より

(注 2-2)南三陸町市町村森林整備計画より

(注 2-3)みやぎ森林・林業のすがた

3-2 認証対象森林の概要

(1) - 1 状況 (全体)

| 令和 6 年度認証林 | | 森林面積(ha) | 蓄積材積 (m3) | 成長量(m3) |
|------------|------|----------|-----------|---------|
| 認証林 | | 2585.85 | 750,792 | 8,808 |
| 内訳 | 人工林 | 1712.6 | 604,821 | 7,633 |
| | 天然林 | 844.24 | 145,971 | 1,175 |
| | 未立木地 | 29.01 | | |
| 保全地帯 | | 365.8 | | |
| 保護区 | | 203.64 | | |

(1) - 2 位置、区分図 (全体)

別紙「FM認証グループ管理図面」のとおり

(1) - 3 各サイトの一覧

| サイト名 | 面積(ha) | 材積(m3) | 成長量(m3) |
|-------------------|---------|---------|---------|
| 南三陸町有林 | 1798.71 | 471,108 | 5,541 |
| 慶応義塾大学学校林 (南三陸町分) | 64.34 | 22416 | 383 |
| 大長山林 | 173.93 | 69,675 | 709 |
| 佐久山林 | 332.0 | 108,260 | 1,151 |
| 入谷生産森林組合山林 | 212.84 | 79,359 | 1,025 |
| 合計 | 2585.85 | 750792 | 8,808 |

(2) - 1 状況 (南三陸町有林)

歴史:南三陸町では、平成 23 年 12 月 26 日に南三陸町震災復興計画を策定した。計画では町民が自然と共生をしながら安心して暮らせるまちづくりを進めると共に、農林水産業を含む産業の再生・発展を目指している。

町有林の森林施業計画対象面積は 1798.71ha であるが、813.74ha において 2013 年 2 月からフォレストック認定をうけており昨年までの FSC 認証も同じ認証林で行っていた。2019 年度より森林施業計画対象山林において、震災から 14 年が経過し町森林経営計画も将来ビジョンを踏まえて作成することができるようになり、さらに返還された山林の追加分を含む全山を認証林にする運びとなり、1798.71ha を認証林として管理する。従って、森林施業計画対象山林の全山を FSC 認証林に置くことにした。今後も、分収林等の変換により管理山林が増加することが予想される。

南三陸町有林は大部分が歌津地区にあるが、正鶴の森、リアスの森、野鳥の森という 3 つの比較的小規模な森林が志津川地区にもある。歌津地区を中心として町有林全体としては木材生産を行いながら地域の林家の指針となる森林管理を目指している。現在、町有林の森林施業は南三陸森林組合に委託をしている。

| 町有林認証対象森林 | | 森林面積(ha) | 蓄積材積 (m3) | 成長量(m3) |
|-----------|------|----------|--------------|---------|
| 認証林 | | 1798.71 | 471,108 | 5,541 |
| 内訳 | 人工林 | 1,078.96 | 352,686 | 4,599 |
| | 天然林 | 699.77 | 118,422 | 942 |
| | 未立木地 | 19.98 | | |
| 保全地帯 | | 214.61 | | |
| | 保護区 | 148.31 | | |
| 認証対象外森林 | | 0 | | |

森林経営計画期間
R5/4/1 - R10/3/31

(2) -2 状況 (慶応義塾大学学校林 南三陸町分)

歴史：財団法人福澤記念育林会による志津川山林として昭和 44 年から 46 年頃志津川町戸倉字切曾木の山林 59.01ha 購入したのが始まり。記念植林や福澤記念育林会や三田会の行事などで活用されていた。震災後は、塾生などのアクティビティーなどでも活用されている。

| 慶応義塾大学学校林 認証対象森林 | | 森林面積(ha) | 蓄積材積 (m3) | 成長量(m3) |
|---------------------|------|----------|--------------|---------|
| 認証林 | | 64.34 | 20,096 | 454 |
| 内訳 | 人工林 | 56.55 | 18,969 | 438 |
| | 天然林 | 7.79 | 1,127 | 16 |
| | 未立木地 | 0 | | |
| 保全地帯 | | 12.56 | | |
| | 保護区 | 12.56 | | |
| 認証対象外森林 | | 0 | | |

森林経営計画期間
R7/4/1-R12/3/31

(2) -3 状況 (大長山林)

歴史：管理担当者である、高橋長晴氏の曾祖父の代（明治の終わり頃）から林業はじめ、大正時代に今の形態が整った。昭和 30~40 年造林を盛んに行われた。今の杉はこの頃のが、多い。磯沢の山には 100 年生前後の杉林分がある。法正林を目指し、林業を行っている。

| 大長山林 認証対象森林 | | 森林面積(ha) | 蓄積材積 (m3) | 成長量(m3) |
|-------------|------|----------|--------------|---------|
| 認証林 | | 173.93 | 69,675 | 709 |
| 内訳 | 人工林 | 150.20 | 65,823 | 688 |
| | 天然林 | 17.45 | 3,852 | 21 |
| | 未立木地 | 6.28 | | |
| 保全地帯 | | 17.45 | | |
| | 保護区 | 17.25 | | |
| 認証対象外森林 | | 0 | | |

森林経営計画期間
R6/8/1 - R11/7/31

(2) -4 状況 (佐久山林)

歴史：1700年代の初代から11代に渡り林業を行っている。当時は、薪炭材伐採地として山林を活用していた。

大日本山林会刊『造林功労者事績 (旧藩時代)』(1936)には、「佐藤六兵衛は陸前国本吉郡志津川村の人なり。代々醤油醸造を業とせしが、4代六兵衛の時に至り植林の必要を痛感し、村民を勧説せしむると共に、自らもまた自己所有山林中薪炭材伐採跡地及無立木地へ年々杉樹を植栽せり、爾来六兵衛は家憲とし杉を植栽すべき事を厳守し、・・・」とあり中興の祖である4代目佐藤六兵衛久則 (慶応2年(1866)死去 享年80歳)が、植林を盛んに行ったことが記録されている。この頃から現在の林業の形態が江戸末期より行われていたことがうかがえる。令和元年度より、森林経営計画が更新されている。

| 佐久山林 認証対象森林 | | 森林面積(ha) | 蓄積材積 (m3) | 成長量(m3) |
|-------------|------|----------|--------------|---------|
| 認証林 | | 332.0 | 108,260 | 1,151 |
| 内訳 | 人工林 | 254.97 | 96,304 | 1,063 |
| | 天然林 | 74.40 | 11,956 | 88 |
| | 未立木地 | 2.63 | | |
| 保全地帯 | | 34.79 | | |
| | 保護区 | 13.61 | | |
| 認証対象外森林 | | 0 | | |

森林経営計画期間
R6/2/21-R11/2/20

(2) -5 状況 (入谷生産森林組合山林)

歴史：入谷生産森林組合は、昭和30年3月、旧入谷村が志津川町と合併の際、入谷農業協同組合に地区住民の福祉と経済的向上を図る目的を以って、同村により山林の無償譲渡を受け、組合内に山林管理委員会を設置して以来10年間管理運営を実施していた。しかし、農業協同組合本来の使命達成と山林管理の実態を考慮した上で、山林部を切り離して別法人を組織して管理することがより効率的であると判断され、昭和40年6月の通常総会の全会一致を以って分離。翌年、昭和41年1月10日に設立された。

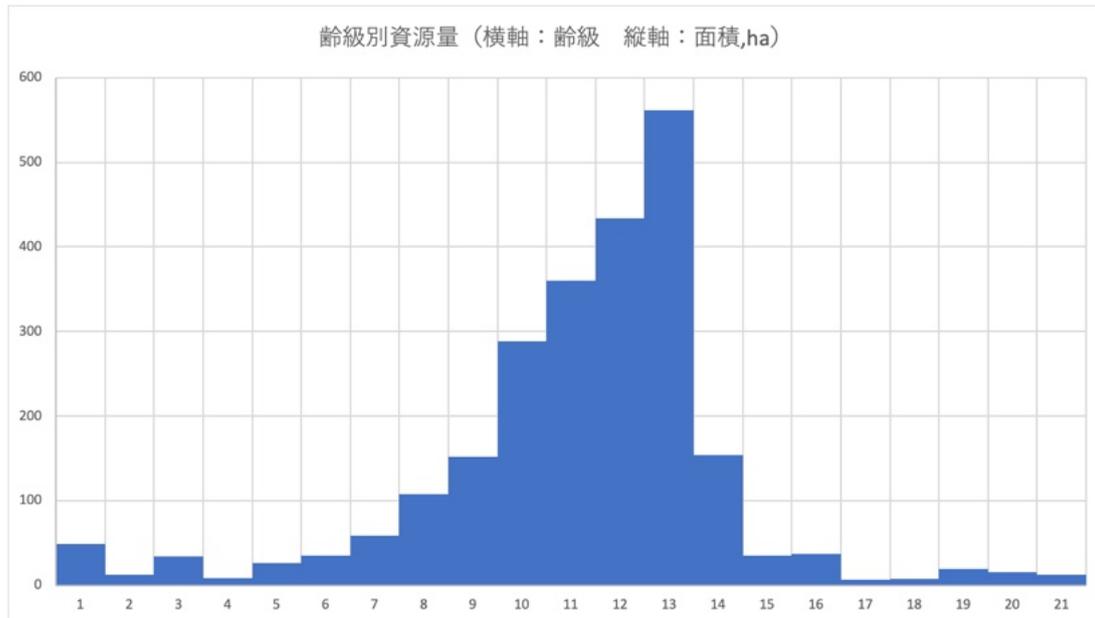
| 入谷生産森林組合 山林 認証対象森林 | | 森林面積(ha) | 蓄積材積 (m3) | 成長量(m3) |
|-----------------------|------|----------|--------------|---------|
| 認証林 | | 212.84 | 79,359 | 1,025 |
| 内訳 | 人工林 | 169.68 | 70,529 | 932 |
| | 天然林 | 43.04 | 8,830 | 93 |
| | 未立木地 | 0.12 | | |
| 保全地帯 | | 86.39 | | |
| | 保護区 | 11.91 | | |
| 認証対象外森林 | | 0 | | |

森林経営計画期間
R5/6/1-R10/5/31

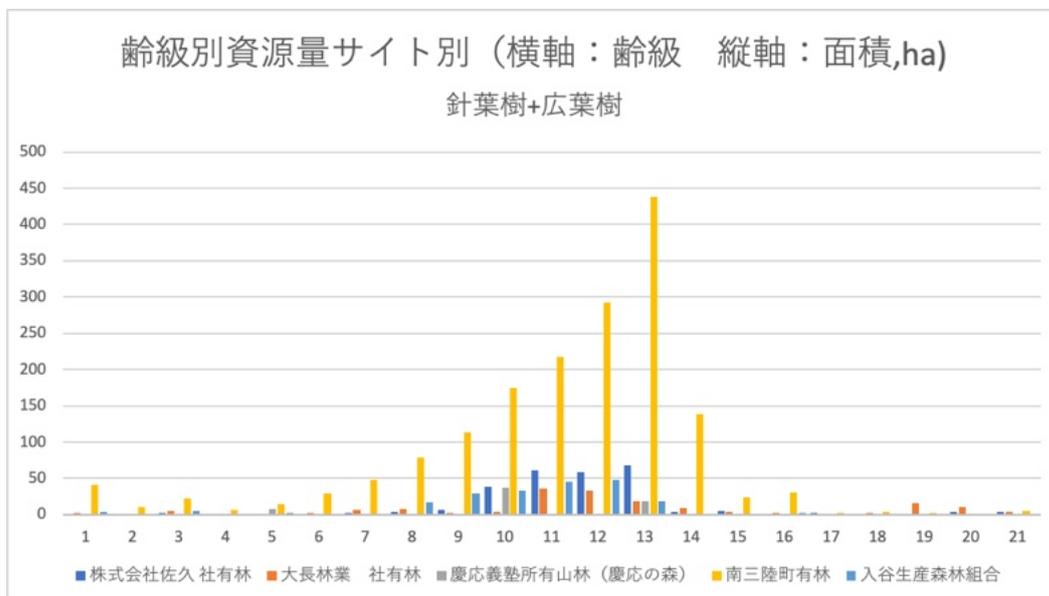
(3) サイトの位置図

別紙「FM認証グループ管理図面」のとおり

(4) 対象森林の齢級分布



FSC 対象森林全体の齢級分布 (縦軸：ha)

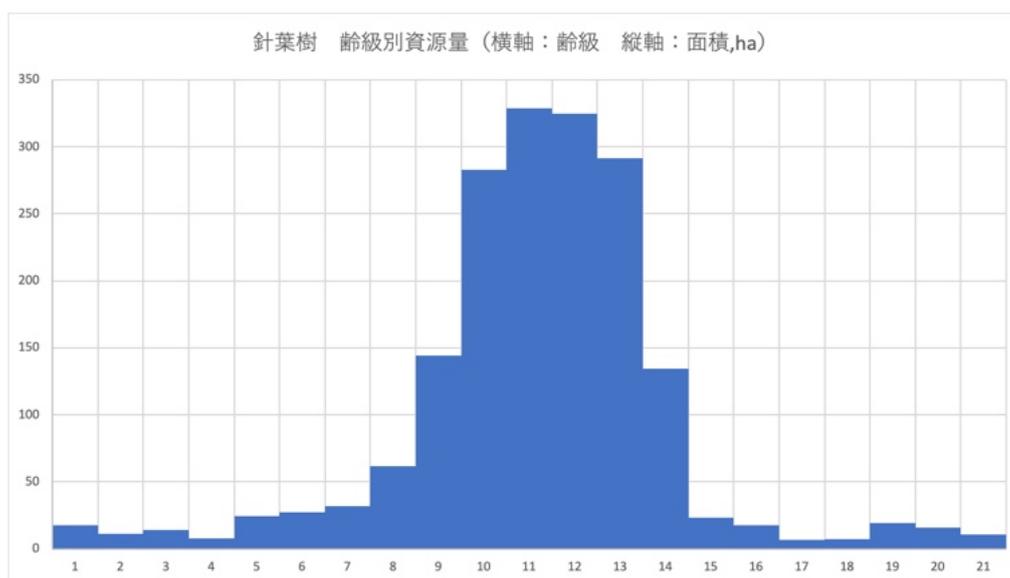


FSC 対象森林全体の齢級分布 (縦軸：ha)

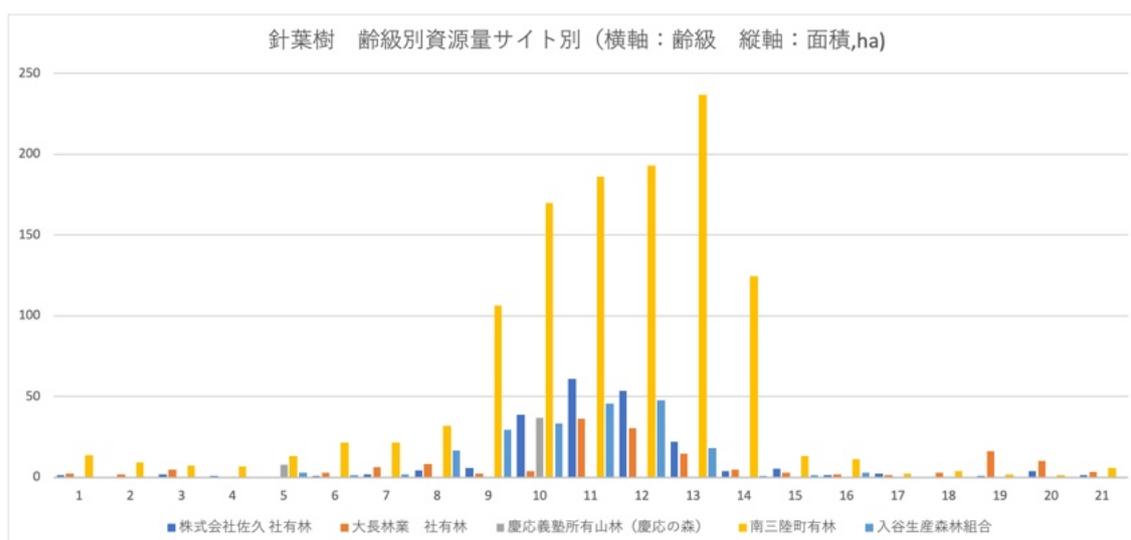
総合して、どのサイトの森林も9～14齢級（41～70年生）が多く、全体の約80.8%（1949.03 ha）を占めている。また、佐久山林や大長山林においては、17齢級（80年生）以上の山林も全体の2.3%（54.4 ha）程存在する。その位置は資料「南三陸町高林齢マップ」で把握できる。

3-3 認証対象森林の取り扱い

(1) -1 針葉樹林の齢級分布



針葉樹齢級分布 (縦軸：ha)



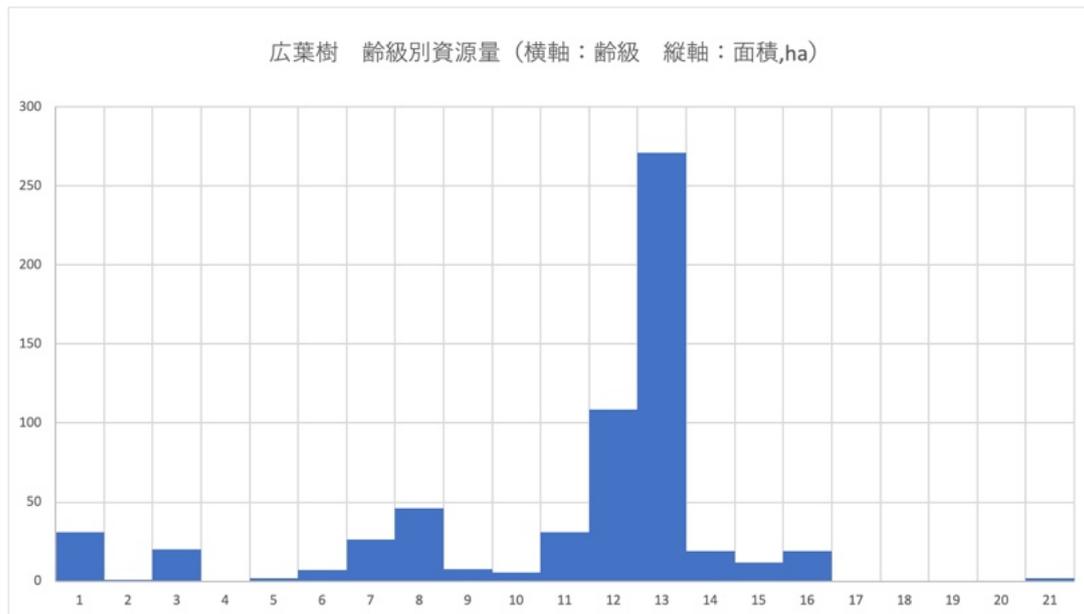
所有者別針葉樹齢級分布 (縦軸：ha)

(1) -2 針葉樹林のとり扱い

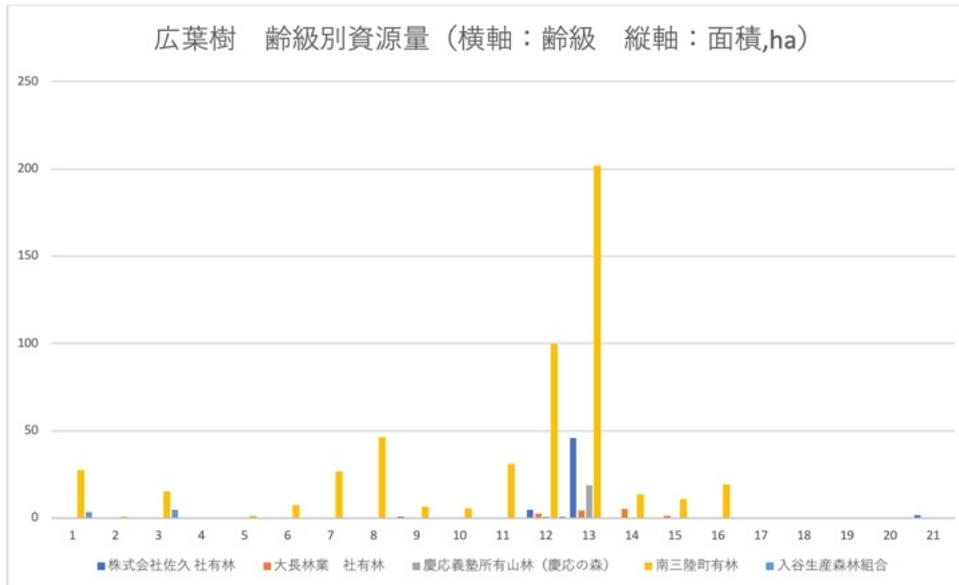
認証対象森林2585.85 ha のうち1712.6 haは人工林であり、その総蓄積は604,821m³である。(1)-1 の針葉樹林の齢級分布より、針葉樹林全体の83.6 %は9 ~ 14齢級(41~70年生)で伐採に適した林齢を迎えており、これからは木材の供給能力が増大すると見込まれる。また、大長山林を中心に、17齢級(80年生)以上の山林も全体の3%(59.15 ha)程存在し、長伐期林業も可能であることを示している。長伐期林業の考え方は南三陸山の会で作成した、森林体系図を参考にする。

また、8齢級(40年生)以下の山林が10%程度しか存在していないため、植林の必要性を示唆している。未来永劫、持続可能な森林経営を目指すため、皆伐・植林を行うエリアと長伐期択伐施業を行うエリアとのゾーニングを行うことが重要で、今後、検討していく。

(2) -1 広葉樹林の齢級分布



広葉樹林齢級分布 (縦軸：ha)



所有者別広葉樹林齢級分布 (縦軸：ha)

(2) -2 広葉樹林のとり扱い

認証対象森林2473.76 haのうち844.24 haは天然林であり、その総蓄積は145,971m³である。比較的、町有林に多い。広葉樹林のほぼ全てが天然林でありの植林不適地や峰沿いに多く分布している。(2)-1の齢級分布から、佐久山林の荒島(21齢級以上・252年生)を除くと、1～16齢級(6～80年生)の間に分布している。天然林の林齢構成は、薪炭利用が無くなったため更新されず、年々高齢化しているが、分布のピークが12-13齢級(55～65年生)と7-8齢級(31～40年生)の二つにあり、比較的若いものが殆どである。広葉樹林の面積も全体の山林面積の24.6%と少ない。樹種の多様性の観点から人工林から天然林に戻すエリアのゾーニングも必要であると考えられ、今後検討していく。

3-4 特定地の取り扱い

(1) 保全地帯及び保護区の設定と管理

(1) -1 保全地帯・保護区の設定と趣旨

FSC 取得山林における森林管理を通じて、森林生態系の保全、野生動植物の保護、種の多様性の保全等を図ることを目的として保全地帯・保護区を設ける。

・ 保全地帯の設定

保全地帯は、保護区のバッファゾーンの機能を持たせながら単独で設定し、区域面積は対象森林のおおむね 10%以上の面積を目途に、広葉樹林を中心に選定し、自然景観や生物多様性の維持・向上を主たる目的として設定する。

今回、認証対象森林のうちおよそ 14.6% (365.80 ha) を保全地帯に設定した。

・ 保護区の設定

保護区は、保全地帯の中から、さらに重要と考えられる生態系の代表例を選定し、商業伐採を避ける地域であり、対象森林の 5%以上を目処に設定する。当該地には、保護価値の高い森林も含まれる。

今回、認証対象森林のうち 7.8% (203.64 ha) を保護区に設定した。

(1) -2 保全地帯・保護区の管理

保護区の管理にあたっては、各保護区の設定目的が高度に発揮されるよう適切な維持・管理に努めるものとする。

伐採方法について

- a. 森林生態系の維持・向上を図ることが前提であり、原則禁伐とする。
- b. 間伐等を行う必要が生じた場合には、営巣、採餌、隠れ場として重要な古木や枯損木等について、管理上支障がないものは保残すること。

巡視活動について

巡視にあたっては、野生動植物の生息・生育状況及び環境変化の動向等に

ついて、年1度の定期チェック(定点写真・環境チェックリスト等)を行い保護区の保全管理を図るとともに、一般の入林者等に対し、普及啓発に努める。林地開発の規制について

保護区における開発行為は、原則禁止とするが、やむを得ない林地開発が生じたい場合は、生態系への影響を調査し、慎重に検討、対応すること。

野生動物との共生について

野生鳥獣被害に対しては、地元住民の理解の下、保護と被害防止の両立を図られるよう、関係機関と連絡調整を行うものとする。

(2) バッファーズーンの設定と管理方法

(2)-1 バッファーズーンの設定

設定の目的

バッファーズーンは、溪流・沢の水温の安定や、生物多様性の保持と施業による急激なかく乱、大雨等による土砂流出の防止を主たる目的として設定する。

設定基準

- a バッファーズーンは、常時水が流れている溪流・沢を対象として、生物多様性の観点から、一定の溪流・沢水域を地図上に表示の上、バッファーズーンとして特定する。
- b バッファーズーンは、生物の生息環境を考慮のうえ、片側約10mの範囲の溪流環境を守るための緩衝地帯とする。なお、スギ・ヒノキ人工林の場合は、強度間伐により広葉樹主体の林分へと誘導し、適正照度を保ちながら下層植生を繁茂させた長伐期施業を目指す。

(2)-2 バッファーズーンの管理

- a バッファーズーン付近での伐採は、溪流への土砂の流出や枝葉の流れ込み、作業員によるバッファーズーン内植生の踏み荒らし等に十分配慮し、特に溪流又はバッファーズーン内方向への伐倒は行わない。
- b 溪流付近に残材を残さないことを原則とするが、やむを得ず残す場合は洪水などの増水によって河川または溪流に流れ込まないように安全な箇所に集積するなど林内整理に努めるものとする。
- c バッファーズーンもしくはバッファーズーン付近での作業は、生物多様性の観点から、作業の前に担当責任者の指示を仰ぎ、作業完了後は作業場所のチェックを受けること。

(3) 保護価値の高い森林

詳しくは、別紙「保護価値の高い山林（HCVF）について」に記す。

3-5 森林施業における環境配慮

別紙「森林作業共通仕様書」及び別紙2-2「作業マニュアル（環境配慮型）」に基づき適切な森林施業を実施する。

3-6 野生生物の保護

別冊「南三陸町環境基本計画」及び2016年発行「宮城県レッドブック」を参考にするとともに、有識者等から認証林内、認証林周辺の希少種の分布状況情報収集及び構成員への周知を行い希少種の保護に努める。（資料「希少な野生動植物の生息・生育確認と保護」参照）

施業時には、林内における野生動植物の生息状況を把握し、その生息を阻害しないように注意する。特に、施業場所内に営巣場所を確認した場合は、繁殖活動を妨げないよう作業内容を工夫する。

希少動植物を発見した場合は様式1「希少動植物の生息確認調査票」に記録し、原本を保管するとともに、速やかにFM認証管理責任者に提出する。

4 林業経営

各山林管理責任者が作成し、国、県または町が認定した森林経営計画をもとに行う。尚、森林経営計画は5年に一度、更新する。

5 モニタリング

モニタリングについては、別紙「モニタリング実施要領」に基づき実施し、管理計画改訂時に反映させる。モニタリング結果は、要求があれば公開する。

6 労働力と安全管理

6-1 安全教育

森林作業従事者は、林業・木材製造業労働災害防止協会等の研修を積極的に受け、研修内容を関係者に伝達するとともに、その研修記録を保管する。施業場所により安全確保内容が異なるので、各作業単位の現場にて作業員全員で安全事項の確認を行い、特に未習熟の作業員の初期教育の際には、安全管理について実技指導を中心に徹底的に教育する。また、森林組合及び素材生産業者、自伐林家等、すべての森林作業従事者が労働安全衛生規則（資料1）を守るように努める。また、新たに認証山林で作業するものが出れば、作業前に教育訓練大会または個別での教育を行うこととする。

6-2 社会保障への加入

持続的な林業経営及び労働災害への対応のため、各種社会保障制度へ加入する。

6-3 事故の再発防止

事故の再発防止のため、労災事故が発生した際には、その記録を作成・保管するとともに、今後の対策を示めす。また、安全会議を定例で開催し、危険予知やヒヤリハットなどの対処を普段から検討する。

6-4 安全管理

(1) 安全装備・救急箱

労働災害を未然に防止するため、安全装備の情報を収集し、作業に応じた装備へ改善を図る。また、常に各現場には救急箱を配備し、怪我をした際の応急処置をできるようにする。

安全装備

・ 作業する時は下記の安全装備を身に付けること。ホイッスルは常に携帯すること。



| | 安全靴 | 安全ズボン | 防護手袋 | 手袋 | ヘルメット | ゴーグル・バイザー | イヤーマフ |
|-----------|-------|-------|------|----|-------|-----------|-------|
| 補付 | ◎ | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| 下刈 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| 枝打 | ◎ | | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| 保育間伐・利用間伐 | 選木つる切 | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | 伐倒 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 造材 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 搬出 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ |
| 測量調査 | ◎ | | | ◎ | ◎ | | |
| 林道補修 | ◎ | | | ◎ | ◎ | ◎ | |

* その他、現場の状況、天候、気候に応じた服装、安全装備を装着し、作業にあたること。

2018 年改訂版



伸縮包帯 (上：包装、右：中身)



ガゼ



蜂毒抜き

<内容物>

| |
|----------|
| 湿布 |
| 絆創膏 |
| 布絆創膏 |
| 貼付剤 |
| 三角巾 |
| 虫刺され軟膏 |
| 目薬 |
| 風邪薬 |
| 消毒軟膏 |
| 消毒液 |
| ハサミ |
| 伸縮包帯 |
| ガゼ |
| 蜂毒抜き |
| エビベン (※) |
| 収納ボックス |

(※) 抗体検査受診者のうち、必要と判断した者



収納ボックス



収納ボックス (開閉三段式)



エビベン

▲ 製品 (エビベン) 注射液 0.3mg

2018 年改訂版

現場作業員に配備している救急箱



貼付剤

布絆創膏

絆創膏

湿布



頭痛薬

虫刺され軟膏

目薬



風邪薬



消毒軟膏



消毒液



ハサミ

現場作業員に配備する救急箱

参考 佐久版救急箱・救急セット

株式会社佐久 2020年改訂版
現場作業員に配備している救急箱

湿布 BAND-AID キズパワーパット 水仕事時の保護用に ニッコバン サンカルテフ 伸縮包帯 (上:包装、右:中身)

湿布 絆創膏 布絆創膏 貼付剤

三角巾 BUFFERIN 頭痛薬 ムヒアルフEX 虫刺され軟膏 スマイル 40 目薬 ガーゼ 蜂毒抜き

三角巾 頭痛薬 虫刺され軟膏 目薬 ガーゼ 蜂毒抜き

ハンザロックS 風邪薬 消毒軟膏 消毒液 新レスタミン軟膏 ヒスタミン剤 爪切り 収納ボックス

ハサミ 消毒液 ヒスタミン剤 爪切り 収納ボックス

<内容物>

| |
|--------|
| 湿布 |
| 絆創膏 |
| 布絆創膏 |
| 湿布剤 |
| 三角巾 |
| 虫刺され軟膏 |
| 目薬 |
| 風薬 |
| 消毒軟膏 |
| 消毒液 |
| ハサミ |
| 伸縮包帯 |
| ガーゼ |
| 蜂毒抜き |
| ヒスタミン剤 |
| 収納ボックス |

2020年版 個人所持救急セット

FIRST AID ウェットタオル 医療用脱脂綿

伸縮包帯 非伸縮包帯

カットばん 綿棒 三角巾 ニトリル手袋 三角巾 ガーゼ (30cm)

ハサミ

エビベン

マダニリムーバーセット

O'TOM 止血帯

| | |
|-------------|----|
| カットばん | 1箱 |
| ウェットタオル | 2 |
| 伸縮包帯 | 1 |
| 非伸縮包帯 | 1 |
| 綿棒 | 1袋 |
| 三角巾 | 1 |
| 医療用脱脂綿 | 1 |
| ガーゼ (30cm) | 1 |
| ニトリル手袋 | 1 |
| マダニリムーバーセット | 1 |
| 止血帯 | 1 |
| エビベン | 1 |
| ハサミ | 1 |

(2) 林内ガイド・間伐体験ガイド 安全管理

資料2「林内ガイド・間伐体験ガイド 安全管理マニュアル」に基づき行う。

6-5 化学薬品と燃料の使用手順

認証林内においては、原則として化学化学薬品は使用しない。

燃料についての使用手順や、止むを得ず化学薬品をしようする際は、資料3「化学薬品と燃料の使用手順」に基づき行う。

6-6 労働者の話し合いの場・苦情の受付

協議会に所属する労働者を有する団体は、労働者の協議や意見・苦情などを受け付け、より良い労働環境を目指す必要がある。

安全会議などで労働者との意見徴収、話し合いの場を設ける。その他、直接、管理者に話にくい苦情や意見は、アンケート（匿名も可）等で収集する。収集された意見・苦情に関しては、協議の上、必要であれば説明や改善を行うこととする。アンケートは、5年に一度は最低でも行う。

7 社会的責務

7-1 利害関係の把握

施業が与える社会、環境等の影響を及ぼす対象を把握し、施業時には自ら検証を行う。影響への問い合わせ（苦情、意見）があった場合には、資料9「苦情処理及び補償に関する手順書」に基づき行動し、施業との因果関係を調査し、問い合わせへの回答を行うとともに、苦情処理記録を作成、保管する。

その他、利害関係がある関係者を資料4「利害関係者リスト」にまとめる。

また、利害関係者に対する想定される悪影響や防止策を同リストに記載している。（「モニタリング実施要領 4. 苦情処理」参照）

7-2 紛争解決

所有権等に係る紛争が発生した場合には、施業は停止し紛争解決に努める。また、当方の責任により損害を与えた場合には、補償を行う。紛争が解決した場合には、紛争解決が証明できるよう文書化し保管する。山林境紛争があった場合は資料5「山林境界紛

争に関する手順書」に基づく。

7-3 問い合わせ対応

認証林管理に関する問い合わせについては、事務局及び山林管理責任者で行う。

7-4 地域社会の慣習的権利尊重

山菜の採取等、地域社会の慣習的権利は、商業的な採取を除き、極力尊重されるものとする。

7-5 贈収賄行為・汚職防止の指針

社会の腐敗につながるような営業活動をすることのないよう、公務員(準公務員含む)に対する接待・贈答は行わないこと、外国の政府や公共団体の役職員に対する利益供与等を行わない。また、贈賄、利益供与、違法な政治献金その他政治・行政との癒着と疑われかねない行動を厳に慎み、公正かつ透明な関係作りに努める。

公務員等に対する贈賄は、日本では不正競争防止法及びその他適用される贈賄防止法において厳しく取り締まられており、これを守る。また、贈賄とならないような利益の供与であっても、諸外国を含む公務員等に適用される倫理規程により禁止される場合がある。公務員等との接触については、これらの各国法を遵守するだけでなく、外部からの疑惑や不信を招かないよう留意すると共に、特に公務員等に対する接待や贈答に際しても気をつけないといけない。

8 林内安全確保、不法投棄等への対策

8-1 林野火災予防と対応

- ・ 林地内での火気の取扱いには十分に注意する。
- ・ 作業中は、予め指定した場所以外での喫煙は禁止とし、作業員は携帯灰皿を携行し、吸い殻は持ち帰ること。
- ・ 可燃性のあるもの(ガソリンなど)の保管には、直射日光を避け、取扱いには細心の注意を払うこと。
- ・ 山林火災は発見後、自ら消化できないと判断した場合、速やかに消防及び現場担当者へ連絡すること。
- ・ 火災発生時は、「災害発生時の緊急連絡体制」にそって連絡を行う。無理せず自分の身を守ることを優先すること。

8-2 不法投棄

現場担当者及び作業員は、現場に向かう際の林道や現場付近での不法投棄の監視に努める。廃棄物の不法投棄は放置しておくこと、更なる投棄の原因となることから、廃棄物を発見した場合は、直ちに資料6「不法投棄処理フロー」に基づき対応すること。

8-4 違法伐採

盗伐を発見した場合には、管内の警察署、市関係部署、森林所有者へ速やかに伝達します。また、盗伐の未然防止、再発防止のため必要に応じ所有林への関係者以外の立入りを防ぐ措置や関係機関と連携した巡回等を行う。

8-5 不法投棄及び山林火災に関する予防指針

林業従事者にとって限りある資源である森を守ることは、大事な使命であり役割である。そこで、日頃から不法投棄及び山林火災の予防に努めるための指針を資料8に定める。

8-6 その他、南三陸町地域におけるリスクの高い自然災害

南三陸町においてリスクの高い自然災害は、森林火災、津波、土砂災害の3つ挙げられる。森林火災の予防と対応に関しては「8-1 林野火災予防と対応」で示す。

津波・土砂災害の対処法は「南三陸町防災マップ」に記載されている。次に防災マップの対策を引用する。

津波災害

津波警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。その後「予想される津波の高さ」や「津波の到達予想時刻」等の情報が発表されます。

マグニチュード8を超える巨大地震の場合 **「巨大」、「高い」という言葉で、非常事態であることを伝えます**

- 巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報が発表されます。これにより、津波の高さを小さく予想することを防ぎます。
- このとき、最初に発表される大津波警報や津波警報では、予想される津波の高さを、「巨大」や「高い」という言葉で発表して非常事態であることを伝えます。



「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、ただちに「より高い場所」に避難しましょう！

正確な地震の規模が分かった場合 **予想される津波の高さは、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階で発表されます**

- これまでの段階で発表されていた予想される津波の高さについて、被害との関係や、予想される高さのほど誤差が大きくなることを踏まえ、**5段階**に集約されました。
- 津波警報等の発表時には、各区分の高い方の値が、予想される津波の高さとして発表されます。



「津波の高さ」は平常時における海面からの高さです。津波が崖などを駆け上った場合は、津波が何倍の高さにも達することがあります。

津波に関する情報

津波警報の発表後、沖合や沿岸の観測点で観測した津波の高さや到達時刻を発表します。

- 高い津波が来る前の、津波の高さは「観測中」として発表されます。
- 沖合で観測された津波の情報は、いち早く伝えます。

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

| | 予想される津波の高さ | | とるべき行動 | 想定される被害 |
|-------|------------|------------------------|---|---|
| | 巨大地震の場合の発表 | 観測での発表 (津波の高さ予想の区分) | | |
| 大津波警報 | 巨大 | 10m超 (10m未満) | 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。津波は崖を駆け上るので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 | 木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。 |
| | | 10m (5m未満から10m) | | |
| | | 5m (3m未満から5m) | | |
| 津波警報 | 高い | 3m (1m未満から3m) | <p style="background-color: red; color: white; text-align: center; padding: 5px;">ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</p> | 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。 |
| 津波注意報 | (表記しない) | 1m (0.5m未満から1m) | | |

※観測点作成の「津波警報」パンフレットを参考に同一様を修正しております。

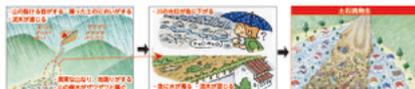
土砂災害

土砂災害の種類

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の兆兆」に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日頃から危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。

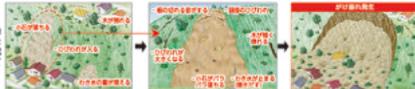
土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは瞬間によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを破壊してしまいます。



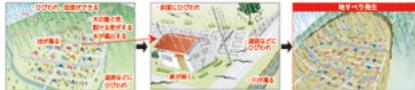
がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地盤などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動速度が小さいため、重大な被害を及ぼします。また、一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上図は、一般的な状況現象です。すべての場合において必ず起きるというわけではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

特別警戒区域と警戒区域

特別警戒区域(レッドゾーン) 建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

警戒区域(イエローゾーン) 土砂災害のおそれがある区域



「警戒レベル」を用いた防災情報の提供

平成30年7月豪雨を教訓として、内閣府及び消防庁が、避難対策強化のため「避難勧告等に関するガイドライン」を改定したことに伴い、町では、令和元年の出水期から避難勧告等に「警戒レベル」を用いて避難情報を提供しています。

正味色標の土砂災害警戒レベルメッシュ情報(平成30年自治体別)

気象庁ホームページでリアルタイムで確認できます!

| 警戒レベル | 住民の皆さんがとるべき行動 | 避難情報等 |
|--------|--|--------------------|
| 警戒レベル5 | 高い被害が発生している状況です。安全な場所への避難が最優先となります。 | 災害発生情報 |
| 警戒レベル4 | 斜面に被害が発生しています。避難が困難な場合は、近隣や避難所の安全な場所に避難しましょう。 | 避難指示(緊急) 避難勧告 |
| 警戒レベル3 | 斜面に被害が発生する危険性があり、斜面の崩壊、流出の恐れがあります。避難所へ避難しましょう。 | 避難指示(緊急) 避難勧告 避難指示 |
| 警戒レベル2 | 斜面に崩壊のおそれがあります。避難所へ避難しましょう。 | 大津波警報 高水注意報 |
| 警戒レベル1 | 斜面への危険は低くなります。 | 早期注意情報 |

8-7 病虫獣害の対策

2023年9月時点で、最もリスクが高い病虫獣害とそれぞれの対策は以下の通り。

- ・ マツ枯れ被害→更新伐や利用間伐を増やし、被害に遭う前に木材利用を進める。
- ・ ナラ枯れ被害→更新伐や利用間伐を増やし、被害に遭う前に木材利用を進める。
- ・ 鹿の食害 →現段階では深刻化していないため、鹿の個体数・被害状況の情報共有等を行い、対策を都度検討する。鹿の密度管理を検討する。下層植生を今のうちに増やすことで、被害進行を遅らせられると考える。

その他の被害についても、常に情報共有を行い状況確認をしながら、対策を検討する。

8-8 林内作業で発生したゴミ

林内作業において発生した、ゴミなどは全て林内からだし、適切な方法ほうで処理を行う。

8-9 油、グリスなどの取り扱い

給油やグリスの交換の際は、地面に落ちることを防止するためにブルーシートなどを地面に敷き作業を行う。また、重機などは故障などによる突然の油等の漏れがあるのでブルーシートなどを持ち運ぶ、突発的な事象に備える。

また、給油、グリス交換など液体物の取り扱う際は、沢浴いを避けて作業を行う。

9 認証製品の販売に関する管理

9-1 認証製品の販売及び管理

認証製品の管理は、木材の販売形態により次のとおりとします。

| 販売形態 | 識別方法 |
|----------------------|--|
| 立木 | 図面により認証山林であることを提示する。 |
| 素材 (道端または土場・木材置場) | ① チョーク・ペンキ・スタンプ等により丸太への印付け ② 木材置場での標示 |
| 簡易製材機による製材品 | ① チョーク・ペンキ・スタンプ等により製材品への印 |

| | |
|----------------|---|
| (道端または土場・木材置場) | 付け ② 木材置場での標示 |
| 外部委託による加工品 | ① チョーク・ペンキ・スタンプ等により製材品への印付け ② 焼き印・スタンプ等による標示 |

9-2 グループの認証品販売管理

山林管理責任者は、年度終了後、森林資源量の把握や収穫・販売計画の作成を目的に、F S C森林認証材の当該年度の生産量を次年度の総会までにFM 認証管理責任者に提出すること。

9-3 認証販売にかかる伝票

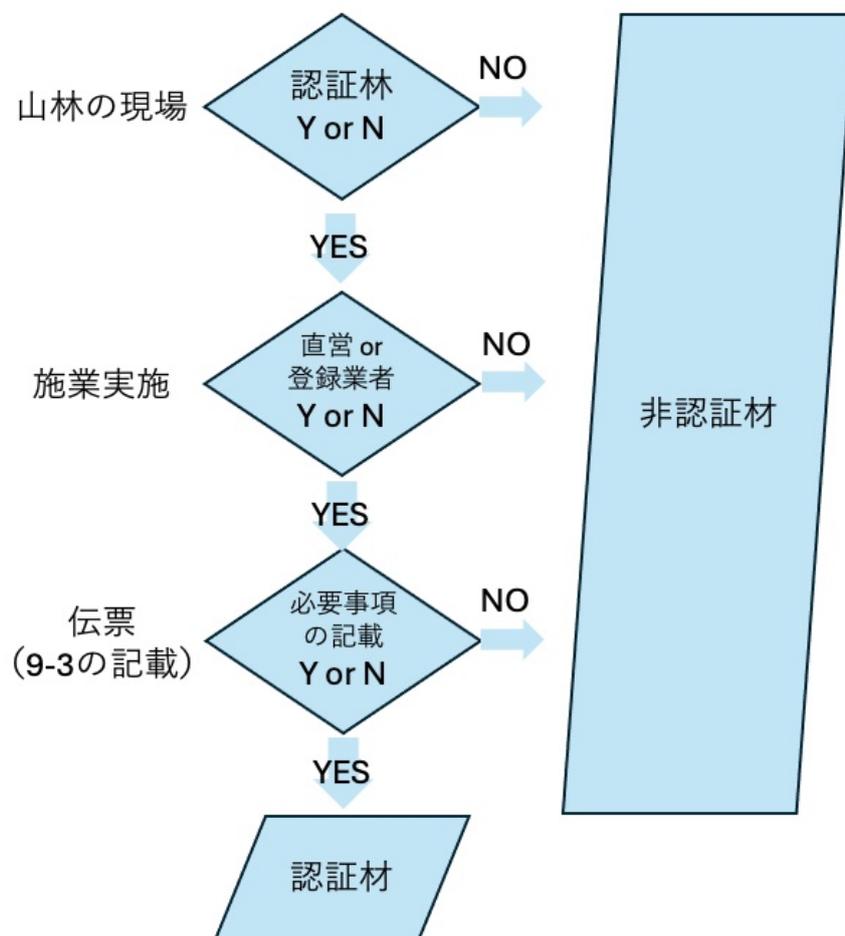
製品販売時の伝票は、次の記載事項を含むものとします。(資料7「伝票の例」)

- (1) 出荷の日付
- (2) 伐採日(伐採期間)
- (3) 収穫された山林名等
- (4) 樹種(海外への出荷の場合、学名を明記)
- (5) 出荷先
- (6) 出荷量
- (7) 製品仕様
- (8) 認証登録番号
- (9) 認証の種類

9-4 認証材と非認証材の生産形態

- ・ 認証材と非認証材の生産形態は次の図のように識別する。

認証材と非認証材の識別フロー図



- ・ 登録業者とは、9-5外部委託に従っている委託業者を示す。

9-5 外部委託

部会関係者以外の者の素材生産を委託する場合、施業前に様式2「F S C 認証材取扱に関する遵守誓約書」を提出し、施業後、「森林作業共通仕様書」に基づく別紙2-3-1～8「モニタリング用チェックリスト」を山林管理責任者に提出するか、モニタリング実施要領に示す「別紙2-1-1「環境影響評価確認書（事業管理者用）」を提出することとする。また、当協議会が実施する教育訓練を受けることとする。

認証製品の加工についての外部委託はCOC認証業者のみ可能であるが、認証番号やトレードマークは、委託したCOC認証業者のものになる。

9-6 非木材資源利用

非木材資源利用を行う場合、その商品にあった資源量把握や収穫量を定める必要がある。基本方針として、山林から共有される資源は採り尽くさないことを心がける。（資料10「山採り苗木実施マニュアル」参照）

必要な場合、各資源・製品に合わせた管理マニュアルを別途定め管理する。

10 情報公開

10-1 森林管理計画書の公開

この計画書は、依頼があった時は、すべて公開することとする。

また、南三陸森林管理協議会ホームページでも公開する。（<https://mfsa.jp/>）

10-2 公開の制限（個人情報保護）

部会単位での情報はすべて公開することとするが、構成員ごとの情報は公開しないこととする。構成員ごとの情報は、構成員自らが判断し公開する。

様式1 (「3 - 6 野生生物の保護」に関連)

希少動植物の生息確認調査票

南三陸森林管理協議会 FM部会
FM認証管理責任者 様

管理責任者
氏名

希少動植物を発見したので下記のとおり報告します。

| 項目 | 内容 |
|--------|-------|
| 発見日 | 年 月 日 |
| 発見場所 | 山林名: |
| | 林小班: |
| 希少動植物 | |
| 発見後の対応 | |

添付書類: 発見した場所の地図 (森林計画図)

希少動植物の様子が見える写真

資料1（「6-1 安全教育」に関連）

労働安全衛生管理規定

- 森林作業を行う上で、機械作業については作業種毎資格要件一覧表の免許及び資格要件に基づいて管理する。
- 機械作業のない場合でも、常に事故防止に努め、安全に留意の上、作業に従事すること。
- 事故発生時には、「災害発生時の緊急連絡体制」に従い、速やかに報告すること。

・ 作業種毎資格要件一覧表

| 作業種 | 使用機械 | 資格 | |
|---------|-------------|------------------|-----------------|
| 植付 | なし | なし | |
| 下刈 | 刈払機 | 刈払機取扱作業者に対する安全教育 | |
| 枝打 | なし | なし | |
| 保育・利用間伐 | 選木・つる切り | なし | |
| | 伐倒 | チェーンソー | 伐木の業務に係る特別教育 |
| | 造材 | チェーンソー | 伐木の業務に係る特別教育 |
| | 搬出 | グラップル付バックホウ | 車両系建設機械運転技能講習 |
| | | ハーベスタ | 車両系建設機械運転技能講習 |
| | | フォワーダ | 不整地運搬車運転技能講習 |
| | | クレーン付トラック | 小型移動式クレーン運転技能講習 |
| 玉がけ技能講習 | | | |
| 林道補修 | チェーンソー | 伐木の業務に係る特別教育 | |
| | グラップル付バックホウ | 車両系建設機械運転技能講習 | |

資料1（「6-1 安全教育」に関連）

| 番号 | 必要な資格種類 |
|----|-------------------------|
| 1 | 普通救命講習 |
| 2 | 刈払機取扱作業者に対する安全教育 |
| 3 | 林内作業車の集材に従事する者に対する安全教育 |
| 4 | 荷役運搬機械等による作業従事者に対する安全講習 |
| 5 | 伐木の業務に係る特別教育 |
| 6 | 機械集材装置の運転技術に係る安全教育 |
| 7 | 車両系建設機械運転技能講習 |
| 8 | 不整地運搬車運転技能講習 |
| 9 | 小型移動式クレーン運転技能講習 |
| 10 | 玉がけ技能講習 |
| 11 | 造林作業の作業指揮官等安全教育 |
| 12 | はい作業主任技能講習 |
| 13 | 地山掘削及び土止め作業主任者研修 |
| 14 | 職長・安全衛生責任者教育 |
| 15 | 高所作業車 |
| 16 | 刈払機・チェーンソー手工具メンテナンス講習 |
| 17 | ハイパー林業技能者 |
| 18 | グリーンマイスター |
| 19 | フォークリフト運転技能講習 |
| 20 | 緑の雇用安全指導員 |
| 21 | 伐木等機械の運転の業務に係る特別教育 |
| 22 | 走行集材機械の運転の業務に係る特別教育 |
| 23 | 簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育 |
| 24 | 普通自動車免許(中型8t限定含む) |
| 25 | 大型自動車免許 |

資料2（「6－4 安全管理」に関連）

林内ガイド・間伐体験ガイド 安全管理マニュアル

『自然の恵みを受けることができる持続可能な社会の実現をめざす』という理念のもと、自然体験活動を提供することは重要です。すべての体験活動はこの理念の達成のために行う活動であり、また自然は、教室では学ぶことのできない様々な気づきや学びを与えてくれます。そもそも人間は生き物であり、自然の一員です。現代の日本において多くの人がこのことを忘れがちですが、自然体験はそんなことも思い出させてくれます。

とはいえ野外における活動は、人間の生活圏にはない危険があります。自然は、熊やハチなどの野生生物の住処であり、平らな道はありません。また水辺や天候の急変による重大事故も報告されています。このようなことをなくすためにも安全対策は必要不可欠です。

自然体験活動は有益です。しかし、それにおいて一番大切なことは、事故やケガなく活動を実施し終え、無事に家に帰るということです。重大事故を起こしてしまえば、それがどんなに素晴らしい活動だったとしても、被害者にとっては『悪い活動』になります。

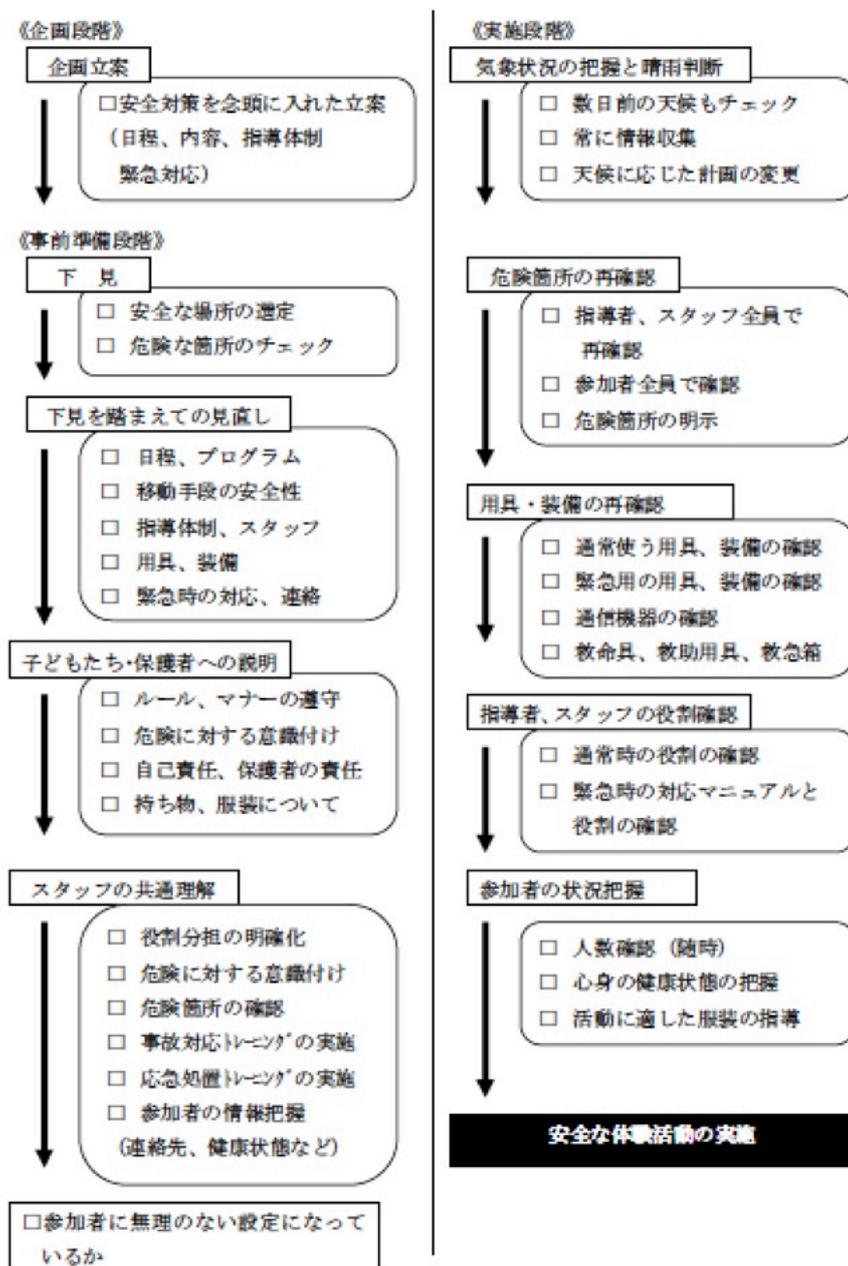
より多くの人に、自信を持って自然体験を提供するためには、プログラムの安全を確保する必要があります。『事故を未然に防ぐ』『万が一、事故が発生した場合の的確な対応』などの安全管理を徹底しましょう。

資料2 (「6-4 安全管理」に関連)

1. 体験活動時の安全管理

重大事故は起きてからでは取り返しがつきません。危険を知り、傾向を予測し、予防と対策を立てておくことが重要です。

(1) 事故を未然に防ぐ安全対策の流れ



資料2（「6－4 安全管理」に関連）

(2) 林内での注意事項（参加者に促す注意事項）

- 林内では、崩れやすく滑落の危険がある場所もあります。信用しきって体重をかけることや寄りかかるのはやめ、歩く際は十分に注意をしましょう。また、夜間の入山は危険なのでやめましょう。
- 地面からは固い木の根や芽、ゴツゴツとした石などが露出している場合があります。また雨の後の落ち葉や石階段は滑りやすくなっています。島内ではくれぐれも走らないようにし、足元に注意して歩きましょう。おススメは小股で歩くことです。
- 足元ばかりに気をとられると、頭上に飛び出た枝やツタ、クモの巣などに気付かないことがあります。頭上にも注意をしてください。帽子やヘルメットなど、頭を保護するものを着用するのが望ましい。
- ガイドブックや図鑑を見ることや、写真を撮る際などは、必ず立ち止まって行うようにしましょう。「ながら歩行」は前方の危険を見落とすことになります。
- 複数人で歩く際は適度な間隔を保つようにしましょう。追突などの思わぬ事故につながる場合があります。前の人が避けた枝などが跳ね返ってくる場合もあります。危険な箇所を見つけた際は、後ろを歩く人に知らせてあげるようにしましょう。
- 急激な天候や海況の変化がありますので、事前に予報を確認し注意しましょう。当日の天候が悪くなくても、降雨や降雪の後は足元が悪くなっています。また夏季の熱中症や日射病、冬季の低体温症にも準備と注意が必要です。
- 林内で大型の危険動物に遭遇することはほとんどありませんが、ハチやヘビには注意しましょう。香りの香水や黒い服装を避けること、踵や足首がしっかりと隠れる靴を履くことが効果的です。いずれも初夏～初秋の遭遇が多くなっています。これらに遭遇した際は極力刺激しないようにし、そっとその場を離れるようにし

資料2（「6－4 安全管理」に関連）

- ましょう。万が一刺されたり噛まれたりした場合は、出来る限り早く医療機関での治療を受けましょう。口での毒素の吸引は絶対に行わないでください。
- 島内で大型の危険動物に遭遇することはほとんどありませんが、ハチやヘビには注意しましょう。香りの香水や黒い服装を避けること、踵や足首がしっかりと隠れる靴を履くことが効果的です。いずれも初夏～初秋の遭遇が多くなっています。これらに遭遇した際は極力刺激しないようにし、そっとその場を離れるようにしましょう。万が一刺されたり噛まれたりした場合は、出来る限り早く医療機関での治療を受けましょう。口での毒素の吸引は絶対に行わないでください。
- 間伐体験など、刃物を使うプログラムの際は、危険物であることを認識させ、安全な使い方を指導する。

(2) 準備するもの

- 虫刺されや枝、紫外線などから肌を守るために、動きやすい長袖・長ズボンを着用しましょう。体温調節がしやすいように、脱ぎ着のしやすい上着が良いです。海辺ですし冬季は冷え込むこともありますので、1枚多めに着こむようにすると良いです。
- 熱射病や紫外線、落下物から頭を守るため、帽子も必ず着用しましょう。
- 手を木のトゲなどでケガするのを防ぐため、軍手を着用しましょう。
- 靴は履きなれたものから、スニーカーやトレッキングシューズなどを選びましょう。サンダルやスリッパなどは、転倒につながることもあるので不可です。歩きにくいものでなければ長靴も良いです。
- 汗を拭くためのタオル、カップなどの雨具（傘不可）、水分補給のための飲み物、虫よけスプレーや救急セットなどを、両手が空くリュックサック等に入れて携帯しましょう。
- その他、フィールドノート・双眼鏡・ルーペなどがあると、生きものたちをより深く観察することができます。
- 万が一迷った場合に備え、携帯電話・地図・コンパスなどがあると良いでしょう。

資料2（「6－4 安全管理」に関連）

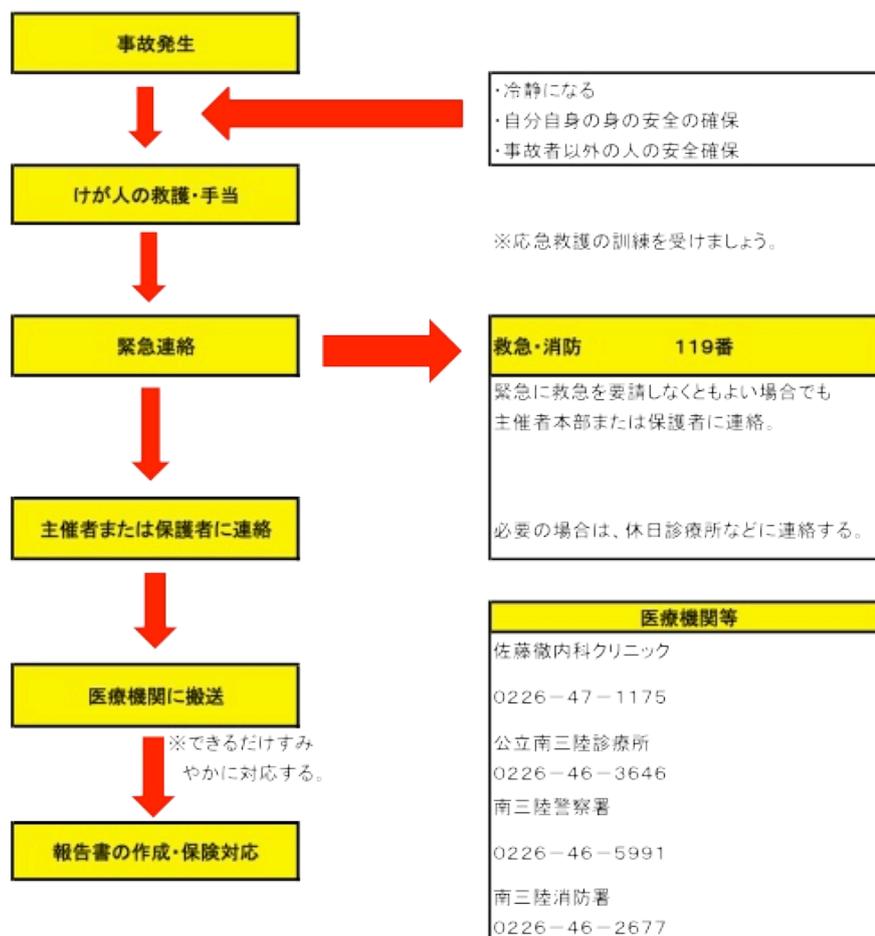
- 間伐体験の場合は、できるだけ主催者側で手鋸とヘルメットを準備する。
- 間伐体験の場合は、選木は事前に行いましょう。選木は、作業マニュアルと同様な方法で行う。

2.事故発生の対応（クライシスマネジメント）

どんなに安全対策をとっていても、時として事故によるケガ人や病人が発生することがあり、避けることができません。そのような緊急の場合は下の緊急連絡体制により対応します。

緊急連絡体制

一人で案内している場合、二人以上で案内している場合を想定し、だれがどの部分を担当するかを考えておきましょう。



化学薬品と燃料の使用手順

除草剤・忌避剤・防除薬剤などの化学薬品と燃料の使用と管理にあたっては次の手順で行うものとする。

・ 化学薬品の使用手順

原則として化学薬品を使用しない。

万が一、使用する際は FSC の示す危険農薬リストに含まれていないかを確認の上、以下の内容を厳守すること。

- (1) 化学薬品は、保管場所を定め、入出庫量を記録し保管管理する。
- (2) 化学薬品は、使用書の目的以外には使用しない。
- (3) 化学薬品の使用書にある使用方法、使用量、注意書き等を十分に把握し適切に使用する。
- (4) 化学薬品の使用は、河川・溪流から 20m 四方以内では禁止する。
- (5) 豪雨が予想される場合、また、冬季の積雪がある場合での薬品の使用は禁止する
- (6) 化学薬品で処理された苗木を排水溝や溪流に浸すことは禁止する。
- (7) 化学薬品等、残った薬剤は産業廃棄物として適正に処理する。
- (8) 農薬を使用する場合、登録農薬のうち、特定農薬(大臣指定)以外は使用しない。
- (9) 残留性の高い農薬は使用しない。(特に忌避剤「ヤマアノリス」は使用しない)
- (10) 水質汚濁性農薬は使用しない。
- (11) 使用者は、熟知した者が適切に取り扱うこと。
- (12) 作業状況や使用後の状況を別紙「化学薬品仕様書」及び写真にて記録・保管すること。

資料3（「6-5 化学薬品と燃料の使用手順」に関連）

・ 燃料の使用手順

使用する燃料は、軽油、ガソリン、混合油、チェーンオイル、グリスも含む油脂類などの液体である。使用する場合は以下の条件において適切に使用する。

- (1) 燃料は、保管場所を定め、火災・盗難等に十分注意し、保管・管理する。
- (2) 燃料は、決められた目的以外には使用しない。
- (3) 林内での燃料の補給は、河川・溪流部付近、排水溝上では禁止する。
- (4) チェーンオイルは植物性のものを使用する。
- (5) 燃料等は林内に放置せず、原則として保管場所に持ち帰る。やむを得ない事情により、林内に保管する場合は、漏れのない容器に入れ、確実に封をする。
- (6) 燃料付近での火気の手扱いは厳禁とする。
- (7) 直射日光等、温度が上昇する場所に燃料等を置かない。
- (8) 給油やグリスの交換の際は、地面に落ちることを防止するためにブルーシートなどを地面に敷き作業を行う。
- (9) 重機などは故障などによる突然の油等の漏れがあるのでブルーシートなどを持ち運ぶ、突発的な事象に備える。

資料3（「6-5 化学薬品と燃料の使用手順」に関連）

ここでは、実際に2007年にFSCで使用禁止となっている農薬をリスト化したものを掲載する。さらに2019年5月1日版の「FSC Lists of highly hazardous pesticides」も確認する必要がある。

| FSC 使用禁止農薬(2007年5月) |
|---|
| 2-(2,4-DP)、ジメチルアミン塩(またはジクロロプロップ、ジメチルアミン塩) |
| 2,4,5-T(2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸) |
| 2,4-D、2-エチルヘキシル エステル |
| 3-クロロ 1,2-プロパンジオール |
| DDT |
| DNOC |
| EPN |
| アクロレイン |
| アジンホスエチル |
| アジンホスメチル |
| アミトロール |
| アトラジン |
| アリルアルコール |
| アルジカルブ |
| アルドリン |
| アルファシペルメトリン |
| イソキサチオン |
| イソキサベン |
| エチオフェンカルブ |
| エチオン |
| エディフェンホス |
| エトプロホス |
| エスフェンバレレート |
| エポキシコナゾール |

| |
|---------------------------|
| 塩化水銀 |
| エンドスルファン |
| エンドリン |
| オキサミル |
| オキシジメトンメチル、メタシストックス |
| オキシフルオルフェン |
| オメトエート |
| オリザリン |
| カズサホス |
| カプタホル |
| カルバリル |
| カルボスルファン |
| カルボフラン |
| ガンマーHCH、リンデン |
| キントゼン(ペンタクロロニトロベンゼン、PCNB) |
| クマテトラリル |
| クマホス |
| クロルデン |
| クロルエトキシホス |
| クロルピリホス |
| クロルフェンビンホス |
| クロルメホス |
| クロロタロニル |
| クロロファシノン |
| 酢酸フェニル水銀 |
| 酸化水銀 |
| シアン化カルシウム |
| シアン化ナトリウム(青化ソーダ) |
| ジウロン |
| ジエノクロル |
| ジカンバ、ジメチルアミン塩 |
| ジクロトホス |

| |
|-----------------|
| ジクロロボス |
| ジクワットジブロミド |
| ジコホル |
| ジスルホトン |
| ジノテルブ(ジノターブ) |
| ジフェチアロン |
| ジフェナコウム |
| シフルトリン |
| ジフルベンズロン |
| シペルメトリン |
| シマジン |
| ジメトエート |
| ジメトン-S-メチル |
| ストリキニン |
| スルフルアミド |
| スルホテップ |
| ゼータシペルメトリン |
| ダイアジノン |
| ダイファシノン |
| チオジカルブ |
| チオファノックス |
| チオメトン |
| デュルドリン |
| テブピリムホス |
| テブフェノジド |
| テフルトリン |
| デルタメトリン |
| テルブチラジン |
| テルブトリン |
| テルブホス |
| テルブメトン |
| トキサフェン(カンフェクロル) |

| |
|------------------|
| トリアジメノール |
| トリアゾホス |
| トリフルラリン |
| ナレド(ナレッド) |
| ニコチン |
| バミドチオン |
| パラコート |
| パラチオン |
| パリスグリーン |
| ヒ酸鉛 |
| ヒ酸カルシウム |
| ヒ酸ナトリウム |
| ヒドラメチルノン |
| ファムフル |
| フィプロニル |
| フェナミホス |
| フェニトロチオン |
| ブトカルボキシム |
| ブトキシカルボキシム |
| ブラストサイジン S |
| フラチオカルブ |
| フルアジホップブチル |
| フルオロアセトアミド |
| フルシトリネート |
| フルフェノクスロン |
| フルオロ酢酸ナトリウム、1080 |
| フロクマフェン |
| ブロディファコウム |
| プロパキザホップ |
| プロピザミド |
| ブロマジオロン |
| プロペタンホス |

| |
|------------------------------|
| ブロメタリン |
| ヘキサクロロベンゼン |
| ヘキサジノン |
| ベノミル |
| ヘプタクロル |
| ヘプテノホス |
| ペルメトリン |
| ペンタクロロフェノール |
| ペンディメタリン |
| ホスファミドン |
| ホルメタネート |
| ホレート |
| マイレックス |
| マンゼブ(マンコゼブ) |
| メカルバム |
| メタミドホス |
| メタルソジウム(メチルジチオカルバミン酸・ナトリウム塩) |
| メチオカルブ |
| メチダチオン |
| メチルアルソン酸(MSMA) |
| メチルパラチオン |
| メチルブロミド |
| メトキシクロル |
| メトミル(メソミル) |
| メビンホス |
| モノクロトホス |
| ラムダ-シハロトリン |
| 硫酸タリウム |
| リン酸アルミニウム |
| リン化亜鉛 |
| ワーファリン |

資料3 (「6-5 化学薬品と燃料の使用手順」に関連)

別紙

化学薬品使用書

山林管理者:

| | | | | |
|----------------|------------------------------------|-------|---------------------------|---------------|
| 受付日時 | | 天気 | 豪雨、冬季の積雪がある場合での薬品の使用は禁止する | |
| 使用薬品 | | | 薬品保管場所 | |
| 使用場所 | * 化学薬品の使用は、河川・溪流から 20m 四方以内では禁止する。 | | | |
| 使用内容 使用後の状況 | | | | |
| 使用手順の 確認 | 化学薬品の使用手順(1)~(12)を厳守しているかチェック | | | 実行できないときの対処方法 |
| | (1)□ | (7)□ | | |
| | (2)□ | (8)□ | | |
| | (3)□ | (9)□ | | |
| | (4)□ | (10)□ | | |
| | (5)□ | (11)□ | | |
| | (6)□ | (12)□ | | |
| 備考 | | | | |

※添付書類:実施箇所の地図及び実施時の写真

資料4 (「7-1 利害関係の把握」に関連)

| 郵便番号 | 住所 | 所属先 | 役職 | 氏名 | メールアドレス | 想定される影響 | 対応措置 |
|-----------|----------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------|---------------------------------------|--------------|-----------------|
| 〒988-0181 | 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6 | 宮城県気仙沼地方圏農事事務所林業振興部 | 部長 | 石橋 修 | | 情報の相違 | 情報共有 (当協議会メンバー) |
| 〒986-0850 | 宮城県石巻市あかみ野5丁目7番地 | 宮城県東部地方振興事務所林業振興部 | 部長 | 猪内 太郎 | | 情報の相違 | 情報共有 |
| 〒980-0011 | 宮城県仙台市青葉区上杉2丁目4番46号 | 宮城県森林組合連合会 | 代表理事 長 | 大内 伸之 | | 不安定供給/情報相違 | コミュニケーション |
| 〒987-0602 | 宮城県登米市田中上沼西校場18 | 登米市森林管理協議会 | FM認証管理 事務局 代表理事 組合長 | 加藤 聡吉 小野寺 高雄 | 宛名：登米市産業経済部農林振興課 info@forest100.jp | 認知のイメージへの悪影響 | 健全運営・コミュニケーション |
| 〒987-0703 | 宮城県登米市登米町日根牛小池100 | 登米町森林組合 | 代表理事 組合長 | 加藤 聡吉 | | 出荷量の偏り | 連携体制 |
| 〒987-0901 | 宮城県登米市東和町米川町裏84 | 米川生産森林組合 | 代表理事 組合長 | 小野寺 高雄 | | 出荷量の偏り | 連携体制 |
| 〒989-6166 | 宮城県大崎市古川東町5-32 | 宮城県北部森林管理署 | 署長 | 泉 光博 | post@m-kankou.jp | 林道使用のバリエーション | 連携体制 |
| 〒986-0832 | 宮城県石巻市赤市古町4丁目1-18 石巻合同庁舎2F | 石巻労働基準監督署 | 署長 | 佐々木 賢一 | | 労働災害の未報告 | 連携体制 |
| 〒986-0782 | 宮城県本吉郡南三陸町入谷中の町221-1 | 入谷生産森林組合 | 代表理事 組合長 | 小野寺 久幸 | | FSCの不遵守 | モニタリング |
| 〒986-0728 | 宮城県本吉郡南三陸町志津川字天王山22-1 | 丸平木材株式会社 | 代表取締役 | 小野寺 邦夫 | onodera@maruhetimber.com | 木材の不安定供給 | 経営計画実行と価格の相談 |
| 〒986-0782 | 宮城県本吉郡南三陸町入谷字中の町227番地 | 一般社団法人 南三陸YES工房 | 代表理事 | 大森 文広 | | 木材の不安定供給 | 経営計画実行と価格の相談 |
| 〒986-0728 | 宮城県本吉郡南三陸町志津川字天王山138-11 | 志津川建設株式会社 | 代表取締役 | 芳賀 英則 | | 木材の不安定供給 | 経営計画実行と価格の相談 |
| 〒988-0467 | 宮城県本吉郡南三陸町歌津字血皿61番地2 | 山荘建設株式会社 | 代表取締役 | 山内 学治 | | 木材の不安定供給 | 経営計画実行と価格の相談 |
| 〒988-0467 | 宮城県本吉郡南三陸町歌津字血皿60-4 | 阿部製材所 | 代表 | 阿部 清義 | | 木材の不安定供給 | 経営計画実行と価格の相談 |
| 〒987-0433 | 宮城県登米市南の方町沼崎前32 | 千尋工業 | 代表 | 千原 吉見 | | 未払い | 書類の確認・支払の確認 |
| 〒020-0611 | 岩手県滝沢市菓子152-263 | 岩手林業株式会社滝沢事業所 | 代表取締役 | 未払い | | 未払い | 書類の確認・支払の確認 |
| 〒986-0844 | 宮城県石巻市吉野町1番地7 | セイホク株式会社 | 社長 | 井上 高博 | | 未払い | 書類の確認・支払の確認 |
| 〒986-0401 | 宮城県登米市津山町柳津字小麻78 | 津山木材センター 業務管理事業組合 | 理事長 | 高橋 平克 | | 相場の影響 | 安売りしない |
| 〒980-6005 | 仙台市青葉区中4丁目6番1号 | 東北電力株式会社宮城支店電力流通本部用地センター | 運営委員長 | 行場 博文 | | 電線・電柱故障 | KV活動・現場の確認 |
| 〒986-0717 | 宮城県本吉郡南三陸町志津川字袖浜45-1 | 宮城県漁業協同組合志津川支所 | 教育長 | 高橋 明 | | 河川・海岸の汚染 | マニユア遵守・土流出防止 |
| 〒986-0725 | 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田10番地 | 南三陸町教育委員会 | 会長 | 吉田 信吾 | info@m-shokokai.com | 情報の相違 | 教育資源として提供 |
| 〒986-0725 | 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田14-27 | 南三陸町教育委員会 | 会長 | 吉田 信吾 | | 情報の相違 | 情報共有 |
| 〒986-0781 | 宮城県本吉郡南三陸町宇高字津野50番地1 | 南三陸町立立伊倉小学校 | 校長 | | | 山林フィールド独占 | 教育資源として提供 |
| 〒988-0463 | 宮城県本吉郡南三陸町歌津字伊里前113番地 | 南三陸町立立伊里前小学校 | 校長 | | | 山林フィールド独占 | 教育資源として提供 |
| 〒986-0782 | 宮城県本吉郡南三陸町入谷字童子下193番地2 | 南三陸町立入谷小学校 | 校長 | | | 山林フィールド独占 | 教育資源として提供 |
| 〒986-0753 | 宮城県本吉郡南三陸町志津川字坂場4 | 南三陸町立志津川小学校 | 校長 | | shizugawa-e@bz04.plala.or.jp | 山林フィールド独占 | 教育資源として提供 |
| 〒988-0432 | 宮城県本吉郡南三陸町志津字中山14 | 南三陸町立名足小学校 | 校長 | | | 山林フィールド独占 | 教育資源として提供 |
| 〒986-0754 | 宮城県本吉郡南三陸町志津川町作1-1 | 南三陸町立志津川中学校 | 校長 | | shizugawa-jhs@bz04.plala.or.jp | 山林フィールド独占 | 教育資源として提供 |
| 〒988-0463 | 宮城県本吉郡南三陸町歌津字伊里前123 | 南三陸町立歌津中学校 | 校長 | | | 山林フィールド独占 | 教育資源として提供 |
| 〒986-0775 | 宮城県本吉郡南三陸町志津川字廻館92-2 | 宮城県南三陸高等学校 | 校長 | | | 山林フィールド独占 | 教育資源として提供 |
| 〒986-0775 | 宮城県本吉郡南三陸町志津川廻館69-15 | 一般社団法人サステナブルライフセンター | 代表理事 | 難波 智昭 | | 山林フィールド独占 | 観光・教育資源として提供 |
| 〒986-0782 | 宮城県本吉郡南三陸町入谷字磯石5番3 | 南三陸まのり じりや (一般社団法人 南三陸研修センター) | 事務局長 | 大澤 彰浩 | contact@ms-riyado.jp | 山林フィールド独占 | 観光・教育資源として提供 |
| 〒986-0752 | 宮城県本吉郡南三陸町志津川五日町200番地1 | 一般社団法人南三陸町観光協会 | 会長 | 阿部 忠義 | | 山林フィールド独占 | 観光・教育資源として提供 |
| 〒986-0842 | 宮城県石巻市潮見町4-3 | 石巻合板工業株式会社 | 代表取締役 | 佐藤 太一 | | 木材の不安定供給 | 経営計画実行と価格の相談 |
| 〒986-0842 | 宮城県石巻市潮見町2番地3 | 株式会社山田 | 社長 | 野田 四郎 | | 木材の不安定供給 | 経営計画実行と価格の相談 |
| 〒980-0871 | 宮城県仙台市青葉区八幡3-2-7 | 宮城十條林産株式会社 | 社長 | 高橋 暢介 | | 情報の相違 | 情報共有 |
| 〒105-7140 | 東京都港区東新橋1丁目5-2 汐留シティセンター | ANAホールディングス株式会社 | 代表取締役 | 龍山 武弘 | | FSCの不遵守 | モニタリング |
| 〒986-0729 | 宮城県本吉郡南三陸町志津川字天王山205-1,2 | 南三陸地域イノベーション推進再生プロジェクト協議会 | 会長 | 芝田 浩二 | | 山林フィールド独占 | メンバーとして参加・情報共有 |
| | | FSCジャパン | | 鈴木 卓也 | | 情報の相違 | 情報共有・イベント参加 |
| | | WWFジャパン | | ご担当 当野 | c.mishiba@jp.fsc.org | 情報の相違 | 情報共有・連携協定 |
| | | WWFジャパン(森林グループ) | | 天野 | yosuke.amano@wwf.or.jp | 情報の相違 | 情報共有・連携協定 |

山林境界紛争に関する手順書

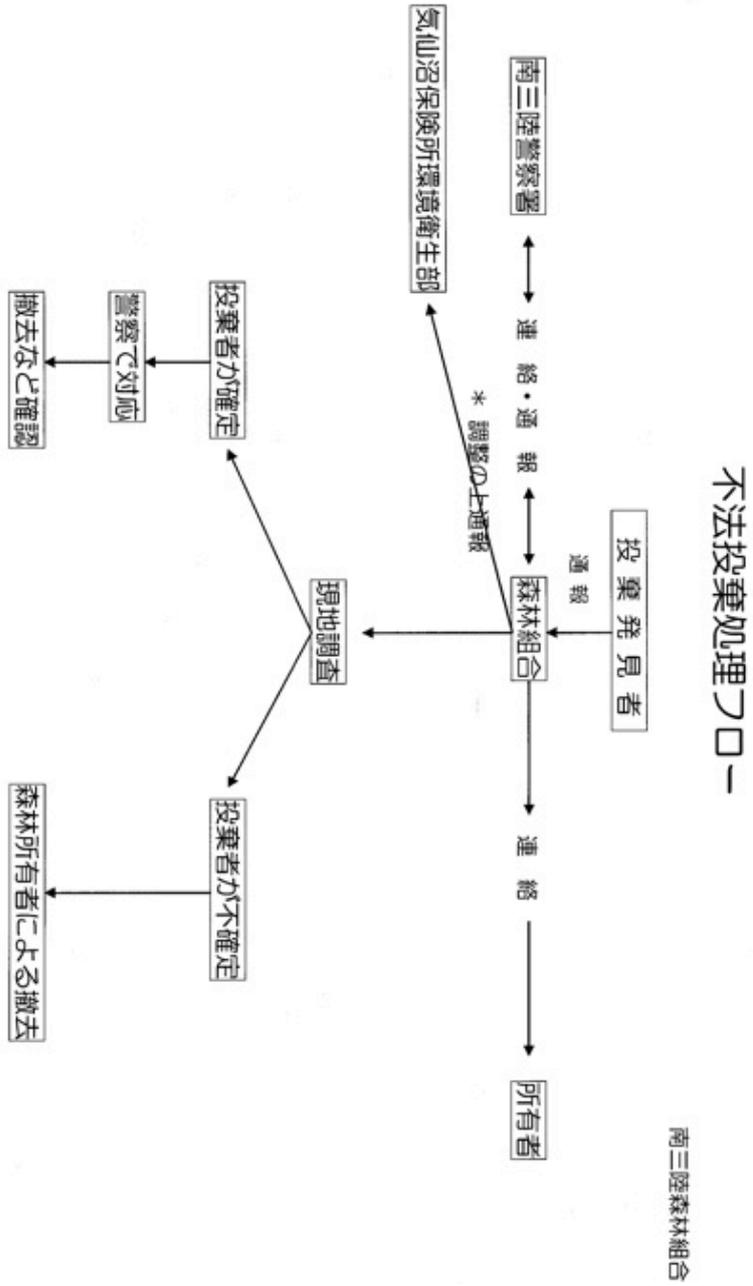
1. 境界トラブルを防ぐために

- ・ 境界杭などの目印を設置する。
- ・ 境界杭は長年の風雪に耐え得るような耐久性のあるものを設置する。
- ・ 定期的な境界杭の整備に努め、杭の周辺を刈り払うなど見通しの良い状態にしておく。
- ・ 隣地所有者が変わった場合は、その都度、両者立会いのもと境界を確認する。
- ・ 防止策として「境界協定書」を双方の話し合いにより作成しておくことも検討する。

2. 境界トラブルが生じたら

- ・ 両者立会いのもと境界杭を確認する。
- ・ 当事者間による話し合いで解決しない場合は、地元の有識者(区長、その山に精通した者、森林組合等)を交えての協議をする。
- ・ 参考となる資料(公図、山林図や実測図など)を用いてより明確に説明できるよう努める。
- ・ 話し合いにより合意が得られた場合は、境界線を決定し、双方一尺(30cm)ずつ伐りあげ、境界杭を打つ。
- ・ 双方により合意が得られない場合は、関係機関(裁判所)へ問い合わせ司法判断に委ねる。
- ・ 境界紛争が解決するまでは一切の作業を中止すること。

資料6(「8-2 不法投棄」に関連)



資料6(「8-3 不法投棄」に関連)

気仙沼地域廃棄物不法投棄防止対策連絡会議委員

| 行政機関等 | | 委員 | 所在地 | 電話番号 |
|-------------------|-------------------|-----------------|-------------------|--------------|
| 国 | 気仙沼国道維持出張所 | 所長 | 気仙沼市松崎五駄鱈202-3 | 0226-23-5801 |
| | 気仙沼海上保安署 | 次長 | 気仙沼市朝日町1-2 | 0226-22-7084 |
| | 宮城北部森林管理署気仙沼森林事務所 | 地域統括森林官 | 気仙沼市古町2-2-51 | 0226-22-6663 |
| 県 | 気仙沼地方振興事務所 | 農林振興部 林業振興班長 | 気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6 | 0226-24-2121 |
| | | 水産漁港部 漁港管理班長 | 気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6 | 0226-22-6825 |
| | 気仙沼土木事務所 | 行政班長 | 気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6 | 0226-24-2121 |
| | 気仙沼警察署 | 生活安全課長 | 気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6 | 0226-22-7171 |
| | 南三陸警察署 | 生活安全課長 | 南三陸町志津川字沼田150-118 | 0226-46-3131 |
| | 気仙沼保健所環境衛生部 | 環境廃棄物班長 | 気仙沼市東新城3-3-3 | 0226-22-5127 |
| | 市 町 | 気仙沼市 | 廃棄物対策課長 | 気仙沼市九条93-1 |
| 南三陸町 | | 環境対策課長 | 南三陸町志津川字沼田56-2 | 0226-46-5528 |
| 宮城県建設業協会気仙沼支部 | | 支部長 | 気仙沼市長磯前林84-1 | 0226-26-1181 |
| (社)宮城県産業廃棄物協会県北支部 | | 支部長 | 大崎市古川北宮沢字朴木欠丙6-1 | 0229-29-2228 |

< 廃棄物の不法投棄の情報提供に関する協定締結団体 >

宮城県漁業協同組合唐桑支所、同気仙沼地区支所、同大谷本吉支所、同歌津町支所、同志津川支所、気仙沼漁業協同組合、南三陸農業協同組合、本吉町森林組合、気仙沼市森林組合、南三陸森林組合

様式2（「9-4 認証材と非認証材の生産形態」に関連）

F S C 認証材取扱に関する遵守誓約書

南三陸森林管理協議会 FM部会
FM認証管理責任者 様

南三陸森林管理協議会 FM部会が取得したF S C森林認証内での作業及びF S C森林認証材の取扱いについて、F S Cの原則と規準及びFM認証部会マニュアルを遵守するとともに、認証材の生産量（材積）の報告及び森林作業共通仕様書に基づく「モニタリング用チェックリスト」の提出を誓約します。

なお、本誓約書の期間については、認証期間（5年）に準じて令和 6年 9月 30日までとします。ただし、この期間が満了する1か月前までに文書により異議を申し立てないときは、更に5年間延長するものとし、その後においてもまた同様とします。

年 月 日

住 所
事業体名
氏 名

印

不法投棄及び山林火災に関する予防指針

林業従事者にとって限りある資源である森を守ることは、大事な使命であり役割である。そこで、日頃から不法投棄及び山林火災の予防に努めるための指針をここに定める。

1. 不法投棄について

- ・現場担当者及び作業員は、現場に向かう際の林道や現場付近での不法投棄の監視に努める。
- ・廃棄物の不法投棄は放置しておく、更なる投棄の原因となることから、廃棄物を発見した場合は、直ちに現場担当者に報告するとともに、連絡を受けた者は、速やかに管轄市役所へ通報すること。
- ・不法投棄の発生予防に資するため、日頃から市役所等との連携を密にしておくこと。

2. 山林火災について

- ・林地内での火気の取扱いには十分に注意する。
- ・作業中は、予め指定した場所以外での喫煙は禁止とし、作業員は携帯灰皿を携行し、吸い殻は持ち帰ること。
- ・可燃性のあるもの(ガソリンなど)の保管には、直射日光を避け、取扱いには細心の注意を払うこと。
- ・山林火災は発見後、自ら消化できないと判断した場合、速やかに消防及び現場担当者へ連絡すること。

*火災発生時は、「災害発生時の緊急連絡体制」にそって連絡を行う。無理せず自分の身を守ることを優先すること。

資料8(「8-5 不法投棄及び山林火災に関する予防指針」に関連)

3. 廃棄物処理について

- ・作業で発生した廃棄物は、山林内に放置しない。
- ・廃棄物は必ず事務所まで持ち帰り適切に処理すること。

資料9

(「7-1 利害関係の把握」及びモニタリング実施要領「4 苦情処理」に関連)

苦情処理及び補償に関する手順書

法的あるいは慣習的な権利、財産、資源などに対し損害を与えた場合における苦情処理及び補償、そして、このような損害を回避するための手順は下記の通りである。

- ・ 地元住民や隣接森林所有者等から苦情があった場合は、作業を中止し、速やかに現場担当者に連絡をすること。現場担当者は現場責任者とともに早期解決に努めること。
- ・ 補償に関しては、当事者間での解決を基本とするが、解決が困難な場合は裁判所での司法判断に委ねること。また法律上の損害賠償責任により処理すること。
- ・ 苦情及び損害の発生を未然に防止するため、地元住民、隣接森林所有者等関係者とのコミュニケーションを図り、良好な関係を築くよう努める。

資料10 非木材資源活用（NTFPの活用）

山採り苗木実施マニュアル

2021年6月22日作成

南三陸森林管理協議会（株式会社 佐久）

■山採り苗の意義と目的

FSC認証山林では下草を刈らずに育てることで森林の階層構造を維持し、植物の種多様性、森林生態系、地域の植物種の遺伝的な多様性を保全している。しかしながらこの林内の下草には広葉樹の稚樹が含まれ、間伐の際に多少は伐採されることが避けられない。また、作業道に生えてきた植物に関しては再度施業が入ることで全伐されることとなる。これら林内および作業道に生えている稚樹、草本を含む植物個体を山採り苗として利用することで木材生産以外の新しい林産物を生み出すことを目的とする。

また、東北地方で行われている森づくり等の植樹事業および活動に使用されている苗木は遠方地域の苗木が使用されることが多く、遺伝的な多様性を妨げる恐れがある。こういった事業および活動に地域産山採り苗を使うことは地域の植物の遺伝的な多様性を保全するとともに、気候に適した地域の山採り苗を使用することで植栽後の健全な生育がより期待できる。山採り苗を生産し、活用することは山の新しい価値を生むとともに、地域の森林再生に大きく寄与することとなる。



■山採り苗木の採取方法

1. 採取場所

山採り苗木採取場所は経営計画が立てられている山林のうち1～3年の間に施業が入る林小班を対象とし、作業道および林内から採取する。間伐施業後の林内も対象とする。

2. 採取手法

対象の林小班内で作業道に生えているものから優先的に掘り取り、根回しまたはポットに移し替え、山林内に保管する。

3. 過剰採取防止方法と時期

作業道での採取については作業道辺縁部および法面の個体は残し、採取する。

林内の対象植物については過度な採取を防止するために、原則樹高30～40cmの樹木に対しては作業員が立った前方180°1～2m範囲で採取する種を決め、その範囲内で同種1～2本を残して採取する。ただし、これより樹高の高い主林木以外の樹木群が認められる場合は範囲内の20%の植被を残し採取可能とする。50cm以上については20×20m以内で同種1～2個体を残すこととする。時期は樹種調査を5～9月ごろに行い印をつけ、植物の生長が止まる10月頃～翌年6月頃を掘り取り期間とする。

4. 記録

調査・採取の際には山採り苗調査・採取票（「非木材資源 山採り苗」様式1）に従って日にち、場所（林小班、地名および山名）、担当者名、樹種名、サイズ、樹種名・サイズごとの数量、本数、採取前採取後の定点写真をそれぞれ記録することとする。

■モニタリング計画と評価方法（2022/9/10 追記）

1. 南三陸森林管理協議会への実績報告と頻度

採取や販売をおこなった翌年度の南三陸森林管理協議会 内部監査（6月-8月頃）に実績を報告する。実績報告の内容は以下の項目（2～4）の内容の報告を行う。尚、採取実績が無い年に関しては、その報告を行う。

2. 販売目標と販売数、採取数

販売目標を年間10本とする。新しい林産物を生み出すことを目的としているため、認知度向上と定期的な販売を目指す。実績報告では、販売数（本）と山採り苗調査・採取票（苗様式1）の記録を確認し採取数を確認する。

3. 採取地の影響と資源回復状況の確認

苗木採取による影響を内部監査前に確認し報告する。確認する内容は、採取した場所の変化状況、及び採取した同種が残っているかを確認する。採取した場所で異変があった場合、改善を検討し実行する。

同種が確認されなかった場合、再生・更新を促す方法を検討・実行する。

4. 地域社会への影響

地域社会から苦情や意見があった場合、速やかに対処し、協議会へ報告する。



Forest Stewardship Council®



FSC Lists of highly hazardous pesticides

FSC-POL-30-001a EN

1st May 2019

| | |
|--|---|
| Title: | FSC Lists of highly hazardous pesticides |
| Document reference code: | FSC-POL-30-001a EN |
| Approval body: | FSC Board of Directors |
| Contact for comments: | FSC International Center Performance and Standards Unit Adenauerallee 134, 53113 Bonn, Germany |
| |  +49-(0)228-36766-0  +49-(0)228-36766-30  psu@fsc.org |
| © 2019 Forest Stewardship Council, A.C. All rights reserved. | |
| <p>No part of this work covered by the pub in any form or by any means (graphic, electronic or mechanical, including photocopying, recording, recording taping, or information retrieval systems) without the written permission of the publisher.</p> <p>Printed copies of this document are for reference only. Please refer to the electronic copy on the FSC website (www.fsc.org) to ensure you are referring to the latest version.</p> | |

The Forest Stewardship Council® (FSC) is an independent, not for profit, non-government organization established to promote environmentally appropriate, socially beneficial, and economically viable management of the world's forests.

FSC's vision is that thial, ecological, and economic rights s
and needs of the present generation without compromising those of future generations.

A Objective

This addendum lists chemical pesticides that meet the indicators and thresholds set out in Annex 1 of FSC-POL-30-001 V3-0 FSC Pesticides Policy, and therefore are considered to be highly hazardous in the FSC system and classifies them as prohibited, highly restricted or restricted.

B Scope

This addendum is mandatory for FSC certificate holders (and applicants for certification) and FSC-accredited certification bodies.

Background

FSC takes into account the toxic characteristics for humans and the environment of chemical pesticides, and identifies highly hazardous pesticides using internationally recognized hazard groups and criteria, and the associated indicators and thresholds listed in Annex 1 of the FSC Pesticides Policy.

The hazard groups and criteria are identified by colours in Annex 1 of the Policy:

| Hazard group | Number | Criteria |
|--|--------|--|
| Relevant International Agreements or conventions | 1 | Relevant International Agreements or conventions |
| Acute toxicity | 2 | Acute toxicity to mammals and birds |
| Chronic toxicity | 3 | Carcinogenicity |
| | 4 | Mutagenicity to mammals |
| | 5 | Developmental and reproductive toxicity |
| | 6 | Endocrine disrupting chemical (EDC) |
| Environmental toxicity | 7 | Acute toxicity to aquatic organisms |
| | 8 | Persistence in soil or water and low sorption potential and bio-magnification and bio-accumulation |
| Dioxins | 9 | Dioxins (residues or emissions) |
| Heavy metals | 10 | Heavy metals |

To support Organizations to reduce and phase out the use of chemical pesticides following a stepwise approach, FSC has prioritized the hazard groups and the criteria to identify highly hazardous pesticides (HHPs) and categorized HHPs as follows:

- a) FSC prohibited HHPs.
- b) FSC highly restricted HHPs.
- c) FSC restricted HHPs.

Part I – Lists of FSC highly hazardous pesticides

Prohibited list

The FSC list of prohibited HHP includes chemical pesticides:

- are listed or recommended for listing under Annex A (elimination) of the Stockholm Convention on Persistent Organic Pollutants or Annex III of the Rotterdam Convention on the Prior Informed Consent Procedure or listed under the Montreal Protocol on Substances that Deplete the Ozone Layer; or,
- are acutely toxic and can induce cancer (carcinogenic and likely to be carcinogenic); or,
- contain dioxins; or,
- contain heavy metals.

Note: The colored criteria and indicators are considered to classify HHP as FSC prohibited pesticides.

The pesticide active ingredients in groups and their CAS number at listed in the last section of this document.

| FSC PROHIBITED LIST 48 pesticides (including heavy metals and dioxins) | | | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | | |
|---|------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|------------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 1 | 542-75-6 | 1,3-dichloropropene | | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC PROHIBITED LIST
48 pesticides (including heavy metals and dioxins)

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|----|------------|-----------------------------|---------------------------|------------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 2 | 34256-82-1 | Acetochlor | | REC ¹ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 15972-60-8 | Alachlor | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 116-06-3 | Aldicarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 319-84-6 | Alpha hexachlorocyclohexane | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | Group | Arsenic and its compounds | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 86-50-0 | Azinphos-methyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 319-85-7 | Beta-hexachlorocyclohexane | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | Group | Cadmium compounds | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 2425-06-1 | Captafol | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 1563-66-2 | Carbofuran | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 55285-14-8 | Carbosulfan | | REC | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 2439-01-2 | Chinomethionat | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 57-74-9 | Chlordane | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 1897-45-6 | Chlorothalonil | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 50-29-3 | DDT | ² | | | | | | | | | | | | | | | | |

¹ REC = Recommended for listing under the relevant convention.

² DDT is listed under Annex B (restriction)

FSC PROHIBITED LIST
48 pesticides (including heavy metals and dioxins)

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|----|------------|--|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 17 | 333-41-5 | Diazinon | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 115-32-2 | Dicofol | REC | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | Group | DNOC and its salts | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 106-93-4 | Ethylene dibromide; EDB | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | 115-29-7 | Endosulfan | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 13194-48-4 | Ethoprophos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | 56-38-2 | Parathion; Parathion-ethyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 107-06-2 | Ethylene dichloride; ;1,2-Dichloroethane | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 75-21-8 | Ethylene oxide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | 55-38-9 | Fenthion | | REC | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | 640-19-7 | Fluoroacetamide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | 98-01-1 | Furfural | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 608-73-1 | HCH (mixed isomers) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | 118-74-1 | Hexachlorobenzene | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31 | 58-89-9 | Lindane; gamma-HCH | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | Group | Mercury and its compounds | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | 74-83-9 | Methyl bromide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | 556-61-6 | Methyl isothiocyanate; MITC | | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC PROHIBITED LIST
48 pesticides (including heavy metals and dioxins)

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|----|-------------------------|---|---------------------------|-----------------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 35 | 6923-22-4 | Monocrotophos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | 4685-14-7; 1910-42-5 | Paraquat dichloride | | REC | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | 298-00-0 | Parathion-methyl | | SHP F ³ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | 87-86-5 | Pentachlorophenol; PCP and its salts and esters | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | 298-02-2 | Phorate | | REC | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40 | 13171-21-6; 297-99-4 | Phosphamidon | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 41 | 23103-98-2 | Pirimicarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | 1918-16-7 | Propachlor | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | 114-26-1 | Propoxur | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 44 | 82-68-8 | Quintozene; PCNB | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 45 | 112281-77-3 | Tetraconazole | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 46 | 111988-49-9 | Thiacloprid | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 47 | 59669-26-0 | Thiodicarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 48 | 52-68-6 | Trichlorfon | | | | | | | | | | | | | | | | | |

³ SHPF = Severely hazardous pesticide formulation

Active ingredients in groups in the prohibited list

| Group | CAS Number | Pesticide active ingredient |
|---------------------------|------------|-------------------------------------|
| Arsenic and its compounds | 1303-28-2 | Arsenic pentoxide |
| Arsenic and its compounds | 12044-50-7 | Arsenic pentoxide hydrate |
| Arsenic and its compounds | 1327-53-3 | Arsenic trioxide |
| Arsenic and its compounds | 124-65-2 | Cacolydate; sodium dimethylarsinate |
| Arsenic and its compounds | 7778-44-1 | Calcium arsenate |
| Arsenic and its compounds | 75-60-5 | Chromated copper arsenate; CCA |
| Arsenic and its compounds | 7778-41-8 | Copper arsenate |
| Arsenic and its compounds | 144-21-8 | DSMA; Disodium methanearsonate |
| Arsenic and its compounds | 7784-40-9 | Lead arsenate |
| Arsenic and its compounds | 124-58-3 | MAA, methylarsonic acid |
| Arsenic and its compounds | 2163-80-6 | MSMA |
| Arsenic and its compounds | 5902-95-4 | MSMA, calcium salt |
| Arsenic and its compounds | 12002-03-8 | Paris Green |
| Arsenic and its compounds | 13464-38-5 | Sodium arsenate |
| Arsenic and its compounds | 7784-46-5 | Sodium arsenite |

| Group | CAS Number | Pesticide active ingredient |
|-------------------|------------|-----------------------------|
| Cadmium compounds | 22750-54-5 | Cadmium chlorate |
| Cadmium compounds | 1306-23-6 | Cadmium sulfide |

| Group | CAS Number | Pesticide active ingredient |
|--------------------|------------|-----------------------------|
| DNOC and its salts | 534-52-1 | DNOC |
| DNOC and its salts | 2980-64-5 | DNOC, ammonium salt |
| DNOC and its salts | 5787-96-2 | DNOC, potassium salt |
| DNOC and its salts | 2312-76-7 | DNOC, sodium salt |

| Group | CAS Number | Pesticide active ingredient |
|---------------------------|------------|---|
| Mercury and its compounds | 4665-55-8 | 2-Acetoxymercuricethanol phenylmercuric lactate |

| Group | CAS Number | Pesticide active ingredient |
|---------------------------|-------------------|--|
| Mercury and its compounds | 1319-86-4 | Chloromethoxypropylmercuric acetate; CPMA |
| Mercury and its compounds | 502-39-6 | cyanomethylmercuricguanidine |
| Mercury and its compounds | 27236-65-3 | Diphenylmercurydodecenylsuccinate; PMDS |
| Mercury and its compounds | 17140-73-7 | hydroxymercuri-o-nitrophenol |
| Mercury and its compounds | 1600-27-7 | mercuric acetate |
| Mercury and its compounds | 7487-94-7 | mercuric chloride |
| Mercury and its compounds | 21908-53-2 | Mercuric oxide |
| Mercury and its compounds | 7546-30-7 | mercurous chloride |
| Mercury and its compounds | 7439-97-6 | mercury |
| Mercury and its compounds | 1336-96-5 | mercury naphthenate |
| Mercury and its compounds | 1191-80-6 | mercury oleate |
| Mercury and its compounds | 14024-55-6 | mercury pentanedione |
| Mercury and its compounds | 589-66-9 | mercury phenate |
| Mercury and its compounds | 151-38-2 | Methoxyethylmercuric acetate |
| Mercury and its compounds | 123-88-6 | Methoxyethylmercuric chloride |
| Mercury and its compounds | 2597-95-7 | methylmercury 2,3 dihydroxypropyl mercaptide |
| Mercury and its compounds | 86-85-1 | methylmercury 8-quinolinolate |
| Mercury and its compounds | 108-07-6 | methylmercury acetate |
| Mercury and its compounds | 3626-13-9 | methylmercury benzoate |
| Mercury and its compounds | 1184-57-2 | methylmercury hydroxide |
| Mercury and its compounds | 2591-97-9 | methylmercury nitrite |
| Mercury and its compounds | 5903-10-6 | methylmercury propionate |
| Mercury and its compounds | 2279-64-3 | N-phenylmercuric urea |
| Mercury and its compounds | 54-64-8 | phenylethylmercuric salicylate |
| Mercury and its compounds | 53404-67-4 | phenylmercuric ammonium acetate |
| Mercury and its compounds | 53404-68-5 | phenylmercuric ammonium propionate |
| Mercury and its compounds | 102-98-7 | phenylmercuric borate |
| Mercury and its compounds | 53404-69-6 | phenylmercuric carbonate |
| Mercury and its compounds | 100-56-1 | phenylmercuric chloride |
| Mercury and its compounds | 32407-99-1 | phenylmercuric dimethyldithiocarbamate |
| Mercury and its compounds | 22894-47-9 | phenylmercuric formamide |

| Group | CAS Number | Pesticide active ingredient |
|---------------------------|-------------------|---|
| Mercury and its compounds | 100-57-2 | phenylmercuric hydroxide |
| Mercury and its compounds | 122-64-5 | phenylmercuric lactate |
| Mercury and its compounds | unknown | phenylmercuric laurylmercaptide |
| Mercury and its compounds | 5822-97-9 | phenylmercuric monoethanol ammonium acetate |
| Mercury and its compounds | 53404-70-9 | phenylmercuric monoethanol ammonium lactate |
| Mercury and its compounds | 31632-68-5 | phenylmercuric naphthenate |
| Mercury and its compounds | 55-68-5 | phenylmercuric nitrate |
| Mercury and its compounds | 104-68-9 | Phenylmercuric oleate; PMO |
| Mercury and its compounds | 103-27-5 | phenylmercuric propionate |
| Mercury and its compounds | 28086-13-7 | phenylmercuric salicylate |
| Mercury and its compounds | 16751-55-6 | phenylmercuric thiocyanate |
| Mercury and its compounds | 23319-66-6 | phenylmercuric threthanolammonium lactate |
| Mercury and its compounds | 13302-00-6 | phenylmercuric-2-ethylhexonate |
| Mercury and its compounds | 26114-17-0 | phenylmercuric-8-quinolinate |
| Mercury and its compounds | 62-38-4 | Phenylmercury acetate; PMA |

Highly restricted list

The FSC list of highly restricted HHP includes any chemical pesticide belonging to 2 or 3 out of 3 hazard groups. This means that the active ingredients that are included in this list present:

- Acute toxicity AND chronic toxicity AND environmental toxicity, OR
- Acute toxicity AND chronic toxicity, OR
- Acute toxicity AND environmental toxicity, OR
- Chronic toxicity AND environmental toxicity

Note: The colored criteria and indicators are considered to classify HHPs as highly restricted.

| FSC HIGHLY RESTRICTED LIST 120 pesticides | | | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|--|------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|--|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50 < 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 1 | 71751-41-2 | Abamectin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 107-02-8 | Acrolein | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 67375-30-8 | Alpha-cypermethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 20859-73-8 | Aluminum phosphide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 35575-96-3 | Azamethiphos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 2642-71-9 | Azinphos-ethyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 41083-11-8 | Azocyclotin | | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC HIGHLY RESTRICTED LIST
120 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|----|-------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|---|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A &1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 8 | 22781-23-3 | Bendiocarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 82560-54-1 | Benfuracarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 68359-37-5b | Beta-cyfluthrin; Cyfluthrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 65731-84-2 | Beta-Cypermethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 82657-04-3 | Bifenthrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 56073-10-0 | Brodifacoum | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 28772-56-7 | Bromadiolone | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 63333-35-7 | Bromethalin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 1689-84-5 | Bromoxynil | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 1689-99-2 | Bromoxynil octanoate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 3861-41-4 | Bromoxynil butyrate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | 95465-99-9 | Cadusafos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 1305-99-3 | Calcium phosphide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | 63-25-2 | Carbaryl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 15263-52-2 | Cartap hydrochloride | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | 54593-83-8 | Chlorethoxyfos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 122453-73-0 | Chlorfenapyr | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 470-90-6 | Chlorfenvinphos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | 3691-35-8 | Chlorophacinone | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| FSC HIGHLY RESTRICTED LIST 120 pesticides | | | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|--|-------------|---|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|---|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A &1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 27 | 76-06-2 | Chloropicrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | 2921-88-2 | Chlorpyrifos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 1333-22-8 | Copper sulfate (tribasic); copper hydroxide sulfate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | 20427-59-2 | Copper hydroxide; cupric hydroxide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31 | 56-72-4 | Coumaphos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | 5836-29-3 | Coumatetralyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | 68359-37-5 | Cyfluthrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | 68085-85-8 | Cyhalothrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35 | 52315-07-8 | Cypermethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | 94361-06-5 | Cyproconazole | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | 52918-63-5 | Deltamethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | 919-86-8 | Demeton-S-methyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | 62-73-7 | Dichlorvos; DDVP | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40 | 141-66-2 | Dicrotophos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 41 | 56073-07-5 | Difenacoum | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | 104653-34-1 | Difethialone | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | 2274-67-1 | Dimethylvinphos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 44 | 149961-52-4 | Dimoxystrobin | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| FSC HIGHLY RESTRICTED LIST 120 pesticides | | | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|--|-------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|---|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A &1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 45 | 973-21-7 | Dinobuton | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 46 | 39300-45-3 | Dinocap | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 47 | 1420-07-1 | Dinoterb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 48 | 85-00-7 | Diquat dibromide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 49 | 298-04-4 | Disulfoton | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 50 | 17109-49-8 | Edifenphos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 51 | 155569-91-8 | Emamectin benzoate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 52 | 2104-64-5 | EPN | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 53 | 66230-04-4 | Esfenvalerate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 54 | 563-12-2 | Ethion | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 55 | 22224-92-6 | Fenamiphos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 56 | 120928-09-8 | Fenazaquin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 57 | 13356-08-6 | Fenbutatin oxide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 58 | 122-14-5 | Fenitrothion | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 59 | 39515-41-8 | Fenpropathrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60 | 134098-61-6 | Fenpyroximate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 61 | 900-95-8 | Fentin acetate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 62 | 76-87-9 | Fentin hydroxide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 63 | 90035-08-8 | Flocoumafen | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| FSC HIGHLY RESTRICTED LIST 120 pesticides | | | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|--|-------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|---|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A &1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 64 | 70124-77-5 | Flucythrinate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 65 | 117337-19-6 | Fluthiacet-methyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 66 | 22259-30-9 | Formetanate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 67 | 23422-53-9 | Formetanate hydrochloride | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 68 | 65907-30-4 | Furathiocarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 69 | 76703-62-3 | gamma-cyhalothrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 70 | 111872-58-3 | Halfenprox | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 71 | 23560-59-0 | Heptenophos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 72 | 1689-83-4 | loxynil | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 73 | 3861-47-0 | loxynil octanoate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 74 | 2631-40-5 | Isoprocarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 75 | 881685-58-1 | Isopyrazam | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 76 | 18854-01-8 | Isoxathion | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 77 | 91465-08-6 | lambda-Cyhalothrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 78 | 12057-74-8 | Magnesium phosphide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 79 | 121-75-5 | Malathion | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 80 | 12427-38-2 | Maneb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 81 | 2595-54-2 | Mecarbam | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 82 | 950-37-8 | Methidathion | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| FSC HIGHLY RESTRICTED LIST 120 pesticides | | | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|--|------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|---|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A &1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 83 | 2032-65-7 | Methiocarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 84 | 16752-77-5 | Methomyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 85 | 72-43-5 | Methoxychlor | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 86 | 21087-64-9 | Metribuzin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 87 | 7786-34-7 | Mevinphos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 88 | 300-76-5 | Naled | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 89 | 1113-02-6 | Omethoate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 90 | 52645-53-1 | Permethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 91 | 2597-03-7 | Phenthoate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 92 | 2310-17-0 | Phosalone | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 93 | 732-11-6 | Phosmet | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 94 | 7803-51-2 | Phosphine | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 95 | 14816-18-3 | Phoxim | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 96 | 2312-35-8 | Propargite | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 97 | 31218-83-4 | Propetamphos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 98 | 34643-46-4 | Prothiofos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 99 | 77458-01-6 | Pyraclufos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 100 | 13457-18-6 | Pyrazophos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 101 | 96489-71-3 | Pyridaben | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| FSC HIGHLY RESTRICTED LIST 120 pesticides | | | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|--|-------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|---|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A &1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 102 | 13593-03-8 | Quinalphos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 103 | 10453-86-8 | Resmethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 104 | 148477-71-8 | Spirodiclofen | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 105 | 3689-24-5 | Sulfotep | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 106 | 21564-17-0 | TCMTB | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 107 | 96182-53-5 | Tebupirimfos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 108 | 79538-32-2 | Tefluthrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 109 | 13071-79-9 | Terbufos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 110 | 22248-79-9 | Tetrachlorvinphos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 111 | 137-26-8 | Thiram | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 112 | 129558-76-5 | Tolfenpyrad | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 113 | 731-27-1 | Tolyfluanid | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 114 | 66841-25-6 | Tralomethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 115 | 112143-82-5 | Triazamate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 116 | 24017-47-8 | Triazophos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 117 | 81-81-2 | Warfarin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 118 | 52315-07-8z | zeta-Cypermethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 119 | 1314-84-7 | Zinc phosphide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 120 | 137-30-4 | Ziram | | | | | | | | | | | | | | | | | |

Restricted list

The FSC list of restricted HHP includes any chemical pesticide belonging to 1 out of 3 hazard groups. It means that in this list are included active ingredients that present:

- Acute toxicity OR chronic toxicity OR environmental toxicity

Note: The colored criteria and indicators are used to classify HHPs as restricted.

The pesticide active ingredients in groups and their CAS number at listed in the last section of this document.

| FSC RESTRICTED LIST 221 pesticides | | | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | | |
|---------------------------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|------------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 1 | 94-75-7 | 2,4-D | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 94-82-6 | 2,4-DB | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 504-24-5 | 4-aminopyridine | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 133-32-4 | 4-Indol-3-ylbutyric acid | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 148-24-3 | 8-hydroxyquinoline | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 30560-19-1 | Acephate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 57960-19-7 | Acequinocyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 135410-20-7 | Acetamiprid | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 101007-06-1 | Acrinathrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 96-24-2 | Alpha-chlorohydrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC RESTRICTED LIST
221 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|----|-------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 11 | 348635-87-0 | Amisulbrom | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 33089-61-1 | Amitraz | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 61-82-5 | Amitrole | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 90640-80-5 | Anthracene oil | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 84-65-1 | Anthraquinone | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 1912-24-9 | Atrazine | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 60207-31-0 | Azaconazole | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 68049-83-2 | Azafenidin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | 17804-35-2 | Benomyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 177406-68-7 | Benthiavalicarb-isopropyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | 584-79-2_b | Bioallethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 28434-01-7 | Bioresmethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | 2079-00-7 | Blasticidin-S | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | Group | Borax; Borate salts | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 10043-35-3 | Boric acid | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | 56634-95-8 | Bromoxynil heptanoate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | 2961-68-4 | Bromoxynil-potassium | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | 52-51-7 | Bronopol | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 23184-66-9 | Butachlor | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | 34681-10-2 | Butocarboxim | | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC RESTRICTED LIST
221 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|----|------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 31 | 34681-23-7 | Butoxycarboxim | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | 592-01-8 | Calcium cyanide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | 133-06-2 | Captan | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | 10605-21-7 | Carbendazim | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35 | 16118-49-3 | Carbetamide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | 15879-93-3 | Chloralose | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | 50008-45-7 | Chlorantraniliprole | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | 71422-67-8 | Chlorfluazuron | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | 24934-91-6 | Chlormephos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40 | 79-11-8 | Chloroacetic acid | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 41 | 67-66-3 | Chloroform | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | 15545-48-9 | Chlorotoluron | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | 5598-13-0 | Chlorpyrifos-methyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 44 | 67-97-0 | Cholecalciferol | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 45 | 74115-24-5 | Clofentezine | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 46 | 120-32-1 | Chlorophene | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 47 | 65996-82-9 | Coal tar oils | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 48 | 1332-40-7 | Copper oxychloride | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 49 | 8001-58-9 | Creosote | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 50 | 1317-39-1 | Cuprous oxide | | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC RESTRICTED LIST
221 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | |
|----|-------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------------|-------------------|---|--|--|--|--|---|---|---|------------------------------|--|---|---|-------------|
| | | | 1.1.a Stockholm (POP) | 1.1.b Rotterdam (PIC) | 1.1.c Montreal | 2.1.a Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | 2.1.b Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | 2.1.c Fatal if inhaled (H330) (GHS) | 3.1.a Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | 3.1.b Carcinogen and probable carc (US EPA) | 3.1.c Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | 4.1.a Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | 5.1.a Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | 6.1.a Category 1 (EDC EU) | 6.1.b Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | 7 Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | 8 Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | 9 Dioxin |
| 51 | 21725-46-2 | Cyanazine | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 52 | 560121-52-0 | Cyenoptyrafen | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 53 | 13121-70-5 | Cyhexatin | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 54 | 39515-40-7 | Cyphenothrin | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 55 | 121552-61-2 | Cyprodinil | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 56 | 1596-84-5 | Daminozide | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 57 | 80060-09-9 | Diafenthiuron | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 58 | 1085-98-9 | Dichlofluanid | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 59 | 51338-27-3 | Diclofop-methyl | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60 | 35367-38-5 | Diflubenzuron | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 61 | 130339-07-0 | Diflumentorim | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 62 | 271241-14-6 | Dimelfluthrin | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 63 | 22936-75-0 | Dimethametryn | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 64 | 60-51-5 | Dimethoate | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 65 | 624-92-0 | Dimethyl disulfide | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 66 | 82-66-6 | Diphacinone | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 67 | 4032-26-2 | Diquat dichloride | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 68 | 330-54-1 | Diuron | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 69 | 2439-10-3 | Dodine | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 70 | 297-99-4 | E-Phosphamidon | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC RESTRICTED LIST
221 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|----|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 71 | 54406-48-3 | Empenthrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 72 | 145-73-3 | Endothal | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 73 | 2164-07-0 | Endothal-dipotassium | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 74 | 106-89-8 | Epichlorohydrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 75 | 133855-98-8; 106325-08-0 | Epoxiconazole | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 76 | 50-14-6 | Ergocalciferol | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 77 | 29973-13-5 | Ethiofencarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 78 | 96-45-7 | Ethylene thiourea | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 79 | 80844-07-1 | Etofenprox | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 80 | 153233-91-1 | Etoxazole | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 81 | 2593-15-9 | Etridiazole | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 82 | 131807-57-3 | Famoxadone | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 83 | 52-85-7 | Famphur | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 84 | 60168-88-9 | Fenarimol | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 85 | 103112-35-2 | Fenclorazole-ethyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 86 | 3766-81-2 | Fenobucarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 87 | 72490-01-8 | Fenoxycarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 88 | 517875-34-2 | Fenpicoxamid | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 89 | 668-34-8 | Fentin | | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC RESTRICTED LIST
221 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | |
|-----|-------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------------|-------------------|---|--|--|--|--|---|---|---|------------------------------|--|---|---|-------------|
| | | | 1.1.a Stockholm (POP) | 1.1.b Rotterdam (PIC) | 1.1.c Montreal | 2.1.a Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | 2.1.b Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | 2.1.c Fatal if inhaled (H330) (GHS) | 3.1.a Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | 3.1.b Carcinogen and probable carc (US EPA) | 3.1.c Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | 4.1.a Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | 5.1.a Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | 6.1.a Category 1 (EDC EU) | 6.1.b Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | 7 Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | 8 Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | 9 Dioxin |
| 90 | 51630-58-1 | Fenvalerate | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 91 | 120068-37-3 | Fipronil | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 92 | 69806-50-4 | Fluazifop-butyl | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 93 | 79622-59-6 | Fluazinam | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 94 | 174514-07-9 | Fluazolate | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 95 | 33245-39-5 | Fluchloralin | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 96 | 101463-69-8 | Flufenoxuron | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 97 | 62924-70-3 | Flumetralin | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 98 | 103361-09-7 | Flumioxazin | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 99 | 136426-54-5 | Fluquinconazole | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 100 | 85509-19-9 | Flusilazole | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 101 | 106917-52-6 | Flusulfamide | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 102 | 133-07-3 | Folpet | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 103 | 68157-60-8 | Forchlorfenuron | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 104 | 50-00-0 | Formaldehyde | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 105 | 98886-44-3 | Fosthiazate | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 106 | 121776-33-8 | Furilazole | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 107 | 77182-82-2 | Glufosinate-ammonium | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 108 | Group | Glyphosate and its salts | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 109 | 108173-90-6 | Guazatine | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC RESTRICTED LIST
221 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|-----|-------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 110 | 69806-40-2 | Haloxypop-methyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 111 | 86479-06-3 | Hexaflumuron | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 112 | 78587-05-0 | Hexythiazox | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 113 | 74-90-8 | Hydrogen cyanide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 114 | 420-04-2 | Hydrogen cyanamide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 115 | 35554-44-0 | Imazalil | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 116 | 140163-89-9 | Imicyafos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 117 | 138261-41-3 | Imidacloprid | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 118 | 57520-17-9 | Iminoctadine triacetate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 119 | 72963-72-5 | Imiprothrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 120 | 173584-44-6 | Indoxacarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 121 | 2961-62-8 | Ioxynil-sodium | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 122 | 36734-19-7 | Iprodione | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 123 | 140923-17-7 | Iprovalicarb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 124 | 24353-61-5 | Isocarbophos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 125 | 99675-03-3 | Isofenphos-methyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 126 | 141112-29-0 | Isoxaflutole | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 127 | 58769-20-3 | Kadethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 128 | 143390-89-0 | Kresoxim-methyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 129 | 330-55-2 | Linuron | | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC RESTRICTED LIST
221 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|-----|-------------|---|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 130 | 103055-07-8 | Lufenuron | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 131 | 8018-01-7 | Mancozeb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 132 | 110235-47-7 | Mepanipyrim | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 133 | 131-72-6 | Meptyldinocap | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 134 | 108-62-3 | Metaldehyde | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 135 | 137-41-7 | Metam-potassium | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 136 | 137-42-8 | Metam-sodium | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 137 | 10265-92-6 | Methamidophos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 138 | 9006-42-2 | Metiram | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 139 | 240494-70-6 | Metofluthrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 140 | 74-88-4 | Methyl iodide; Iodomethane | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 141 | Group | Mineral oils; paraffin oils cont. >3%DMSO | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 142 | 2212-67-1 | Molinate | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 143 | 71526-07-3 | MON 4660; AD 67 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 144 | 142-59-6 | Nabam | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 145 | 54-11-5 | Nicotine | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 146 | 1929-82-4 | Nitrapyrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 147 | 98-95-3 | Nitrobenzene | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 148 | 116714-46-6 | Novaluron | | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC RESTRICTED LIST
221 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|-----|-------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 149 | 121451-02-3 | Noviflumuron | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 150 | 63284-71-9 | Nuarimol | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 151 | 19044-88-3 | Oryzalin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 152 | 19666-30-9 | Oxadiazon | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 153 | 23135-22-0 | Oxamyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 154 | 301-12-2 | Oxydemeton-methyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 155 | 42874-03-3 | Oxyfluorfen | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 156 | 40487-42-1 | Pendimethalin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 157 | 26002-80-2 | Phenothrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 158 | 1918-02-1 | Picloram | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 159 | 117428-22-5 | Picoxystrobin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 160 | 83-26-1 | Pindone | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 161 | 24151-93-7 | Piperophos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 162 | 29232-93-7 | Pirimiphos-methyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 163 | 299-45-6 | Potasan | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 164 | 23031-36-9 | Prallethrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 165 | 32809-16-8 | Procymidone | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 166 | 41198-08-7 | Profenofos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 167 | 139001-49-3 | Profoxydim | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 168 | 709-98-8 | Propanil | | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC RESTRICTED LIST
221 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|-----|-------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 169 | 60207-90-1 | Propiconazole | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 170 | 12071-83-9 | Propineb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 171 | 75-56-9 | Propylene oxide, Oxirane | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 172 | 123312-89-0 | Pymetrozine | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 173 | 175013-18-0 | Pyraclostrobin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 174 | 129630-19-9 | Pyraflufen-ethyl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 175 | 6814-58-0 | Pyrazachlor | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 176 | 108-34-9 | Pyrazoxone | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 177 | 8003-34-7 | Pyrethrins | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 178 | 119-12-0 | Pyridaphenthion | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 179 | 337458-27-2 | Pyrifluquinazon | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 180 | 135186-78-6 | Pyrifthalid | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 181 | 105779-78-0 | Pyrimidifen | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 182 | 200509-41-7 | Quizalofop-p-tefuryl | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 183 | 83-79-4 | Rotenone | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 184 | 127-90-2 | S421 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 185 | 105024-66-6 | Silafluofen | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 186 | 143-33-9 | Sodium cyanide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 187 | 62-74-8 | Sodium fluoroacetate (1080) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 188 | 283594-90-1 | Spiromesifen | | | | | | | | | | | | | | | | | |

FSC RESTRICTED LIST
221 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | |
|-----|-------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------------|-------------------|---|--|--|--|--|---|---|---|------------------------------|--|---|---|-------------|
| | | | 1.1.a Stockholm (POP) | 1.1.b Rotterdam (PIC) | 1.1.c Montreal | 2.1.a Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | 2.1.b Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | 2.1.c Fatal if inhaled (H330) (GHS) | 3.1.a Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | 3.1.b Carcinogen and probable carc (US EPA) | 3.1.c Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | 4.1.a Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | 5.1.a Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | 6.1.a Category 1 (EDC EU) | 6.1.b Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | 7 Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | 8 Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | 9 Dioxin |
| 189 | 57-24-9 | Strychnine | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 190 | 4151-50-2 | Sulfluramid | | 4 | | | | | | | | | | | | | | |
| 191 | 2699-79-8 | Sulfuryl fluoride | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 192 | 102851-06-9 | Tau-fluvalinate | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 193 | 119168-77-3 | Tebufenpyrad | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 194 | 83121-18-0 | Teflubenzuron | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 195 | 3383-96-8 | Temephos | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 196 | 149979-41-9 | Tepraloxydim | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 197 | 33693-04-8 | Terbumeton | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 198 | 886-50-0 | Terbutryn | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 199 | 7696-12-0 | Tetramethrin | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 200 | 71697-59-1 | theta-cypermethrin | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 201 | 31895-21-3 | Thiocyclam | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 202 | 39196-18-4 | Thiofanox | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 203 | 640-15-3 | Thiometon | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 204 | 23564-05-8 | Thiophanate-methyl | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 205 | 29547-00-0 | Thiosultap-monosodium | | | | | | | | | | | | | | | | |

⁴ Listed in Annex III in the category industrial chemical, not as pesticide.

FSC RESTRICTED LIST
221 pesticides

| ID | CAS number | Pesticide active ingredient | INTERNATIONAL CONVENTIONS | | | ACUTE TOXICITY | | | CHRONIC TOXICITY | | | | | | ENVIRONMENTAL TOXICITY | | DIOXINS & HEAVY METALS | | |
|-----|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|----------|--|---|-------------------------------|---|---------------------------------------|--|--|--|---------------------|---|--------------------------------------|--|--------|-------------|
| | | | 1.1.a | 1.1.b | 1.1.c | 2.1.a | 2.1.b | 2.1.c | 3.1.a | 3.1.b | 3.1.c | 4.1.a | 5.1.a | 6.1.a | 6.1.b | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | Stockholm (POP) | Rotterdam (PIC) | Montreal | Extremely or highly hazardous (Ia and Ib)(WHO) | Acute toxicity mammals and birds LD50< 200mg/kg body weight | Fatal if inhaled (H330) (GHS) | Carcinogen and probable carc. (1 and 2A) (IARC) | Carcinogen and probable carc (US EPA) | Carcinogen and probable carc. (1A & 1B) (EU GHS) | Mutagen and probable mut. (1A and 1B) (EU GHS) | Reproductive toxicant and probable repr. tox. (1A and 1B) (EU GHS) | Category 1 (EDC EU) | Suspected carcinogen (Cat. 2)(GHS) and Endocrine Disruptor (Cat. 2) (GHS) | Aquatic Toxicity (LC/EC 50 <50 µg/l) | Environmental toxicity (Persistent; Bioaccumulation; Leaching) | Dioxin | Heavy Metal |
| 206 | 62-56-6 | Thiourea | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 207 | 330459-31-9 | Tioxazafen | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 208 | 118712-89-3 | Transfluthrin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 209 | 55219-65-3 | Triadimenol | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 210 | 72459-58-6 | Triazoxide | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 211 | 78-48-8 | Tribufos | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 212 | 81412-43-3 | Tridemorph | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 213 | 141517-21-7 | Trifloxystrobin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 214 | 68694-11-1; 99387-89-0 | Triflumizole | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 215 | 64628-44-0 | Triflumuron | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 216 | 1582-09-8 | Trifluralin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 217 | 2275-23-2 | Vamidotion | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 218 | 50471-44-8 | Vinclozolin | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 219 | 2655-14-3 | XMC | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 220 | 12122-67-7 | Zineb | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 221 | 160791-64-0 | ZXI 8901 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

Active ingredients in groups in the restricted list

| Group | CAS Number | Pesticide active ingredient |
|---------------------|------------|---|
| Borax; Borate salts | 12008-41-2 | Borax, disodium octaborate anhydrous |
| Borax; Borate salts | 12280-03-4 | Borax, disodium octaborate tetrahydrate |
| Borax; Borate salts | 1303-96-4 | Borax, disodium tetraborate decahydrate |

| Group | CAS Number | Pesticide active ingredient |
|--------------------------|------------|---|
| Glyphosate and its salts | 1071-83-6 | Glyphosate |
| Glyphosate and its salts | 69254-40-6 | Glyphosate-diammonium |
| Glyphosate and its salts | 38641-94-0 | Glyphosate-isopropylammonium (IPA; -isopropylamine) |
| Glyphosate and its salts | 40465-66-5 | Glyphosate-monoammonium |
| Glyphosate and its salts | 34494-03-6 | Glyphosate-sodium |
| Glyphosate and its salts | 81591-81-3 | Glyphosate-trimesium |

| Group | CAS Number | Pesticide active ingredient |
|--|------------|-----------------------------|
| Paraffin oils; mineral oils cont. > 3%DMSO | 64741-88-4 | Paraffin oil |
| Paraffin oils; mineral oils cont. > 3%DMSO | 64741-89-5 | Paraffin oil |
| Paraffin oils; mineral oils cont. > 3%DMSO | 64741-97-5 | Paraffin oil |
| Paraffin oils; mineral oils cont. > 3%DMSO | 64742-46-7 | Paraffin oil |
| Paraffin oils; mineral oils cont. > 3%DMSO | 64742-54-7 | Paraffin oil |
| Paraffin oils; mineral oils cont. > 3%DMSO | 64742-55-8 | Paraffin oil |
| Paraffin oils; mineral oils cont. > 3%DMSO | 64742-65-0 | Paraffin oil |
| Paraffin oils; mineral oils cont. > 3%DMSO | 64742-95-6 | Paraffin oil |
| Paraffin oils; mineral oils cont. > 3%DMSO | 72623-86-0 | Paraffin oil |
| Paraffin oils; mineral oils cont. > 3%DMSO | 97862-82-3 | Paraffin oil |

南三陸森林管理協議会 FM認証部会
モニタリング実施要領

2025年6月1日作成

2025年改訂

1 趣旨

モニタリングは、森林管理計画で定めた目標と森林作業共通仕様書に定められた手順に基づく実際の結果との差異を把握し、これに基づき、計画やその実施方法を改善していくためのものであり、南三陸森林管理協議会FM認証部会のモニタリング実施については、本要領の定めるところによる。

尚、モニタリングの結果を要求に応じ関心のある者に対して提供するものとする。

2 モニタリング項目と方法

(1) FM認証管理責任者が行うモニタリング

次の内容について、FM認証管理責任者が指名したものがモニタリングを実施するよう務める。

①山林管理関係者座談会（会議・安全大会等も含む）

ア 山林管理関係者のニーズを満たすことができているかどうかを把握

イ 山林管理関係者がグループの規程（安全管理や作業内容等）を遵守しているかを確認

②生物の専門家との情報交換会

ア 定点観測等の結果を報告し、アドバイスをいただく

イ 地域の自然を取り巻く様々な問題等について情報交換を実施

ウ 情報交換会の記録をまとめる

※自然に詳しい人材の育成の一環としても実施する。

③その他の利害関係者とのコミュニケーション

漁協等の利害関係者のヒアリングを実施する。

(2) 山林管理責任者が行うモニタリング

次の内容について、サイト管理責任者が指名したものがモニタリングを実施し、その結果をFM認証管理責任者に報告する。

なお、必要に応じFM認証管理責任者が同行することができる。

①森林作業確認（森林管理者につき1箇所、年1回程度）

「モニタリング用チェックリスト」（別紙2-3-1～4）を使用し、次の作業実施箇所について監視を実施し、FSCの規準等及び森林作業共通仕様書等を遵守しているかを確認する。

ア 植林・地拵え(別紙2-3-1)

イ 下刈り・つる切り・枝打ち(別紙2-3-2)

ウ 除間伐(別紙2-3-3)

エ 伐採・搬出(別紙2-3-4)

オ 作業道開設(別紙2-3-4-2)

②定点観測（植生調査等）（各サイトにつき年1回（6-11月ごろ）に実施）

各サイトについて1箇所程度モデル地点を設定するとともに「モニタリング用チェックリスト（定点観測）」（別紙2-3-5）を使用し、次の調査を実施して森林の状況確認を実施する。

ア 植生調査（得られた希少種などの情報は作業班も含め教育訓練等で周知）

イ 写真撮影

ウ その他調査

③保護区の巡視（各サイトにつき年1回に実施）

「モニタリング用チェックリスト（保護区巡視）」（別紙2-3-6）を使用し、伐採、不法投棄の有無、生態系の状態等を確認する。

④毎日の作業での環境影響評価

作業現場における責任者（作業班長等）は、各作業現場での作業を実施するにあたり、別紙2-1「作業 安全指示確認書」を用い、作業前の環境影響評価を行うとともに、各作業現場での作業後においても同リストを用い、環境影響の確認を行うものとする。（別紙「森林作業共通仕様書」にも記載あり）

⑤請負業者への環境影響評価

なお、現場作業を直営班ではなく、請負業者に委託する場合、事業発注者（管理責任者等）が別紙 2-1-1「環境影響評価確認書（事業管理者用）」を用いて作業前・作業中および作業後の環境影響評価の確認を行うものとする。

(3) 内部監査によるモニタリング（各サイトにつき年1回以上実施）

次の内容について、FM認証管理責任者が指名した監査員により下記の方法の内部監査モニタリングを実施し、その結果をFM認証管理責任者に報告する。なお、必要に応じFM認証管理責任者が同行することができる。

① 実施方法

- 1) 「内部モニタリングチェックリスト」(別紙2-3-9)の項目に照らし合わせて全体に対し監査を行う。
- 2) 各サイトの近々に施業を行った現場に対しても最低1箇所現地を確認し現地監査を行う。その際は、「モニタリング用チェックリスト」(別紙2-3-1～4-2)に照らし合わせて監査する。

② 記録と報告

指名された内部監査員は監査内容を「内部モニタリングレポート」にまとめFM認証管理責任者へ報告する。FM認証管理責任者は報告を記録し必要に応じて「3改善処理」で示す処理を行う。これらの結果内容は座談会等で、全体に共有する。

③ 評価指標

当協議会の評価を行う上で、労働安全の災害数、素材生産量、森林認証面積の三つを指標とする。内部監査の際に、情報を収集し指標の評価を「内部モニタリングレポート」にまとめ、座談会等で共有しこれを元に、今後の対策などを考察する。尚、上記の3つの指標について取り扱いについて、以下の通りである。

指標1「労働災害の件数」：多様な安全管理のもと労災0を目指す。対策の効果を知るために、過去の推移を含め確認する。また、比較数値として、林業・木材製造業労働災害防止協会の公開する労働災害強度率の数値と比較を行う。(2024年度の件数3件、KPI=0 件/年 比較データ：労働災害強度率(林業・木材製造業労働災害防止協会))

指標2「FSC材生産量」：FSC材の生産量を確認する。また、経年の推移も確認する。（2023年度1679.85m³/年、KPI=1500 m³/年 南三陸町第3期総合戦略の数値）

指標3「認証林面積」：FSC認証を広め認証林の拡大を目指す。（2025年現在2585.85ha、5年後のKPI=2800 ha 南三陸町第3期総合戦略の数値）

上記の指標と合わせて生産性効率もモニタリングし報告する。（宮城県林業試験場成果報告16号（2007.3）を比較資料とする。）

3 改善処理

モニタリングの結果、不適合を認めた場合、FM認証管理責任者は、山林管理責任者へ期限を定めて改善を指示する。指示を受けた山林管理責任者は、指示に基づきすみやかに改善作業を行い、改善処理記録（別紙2-3-7）をFM認証管理責任者へ提出する。

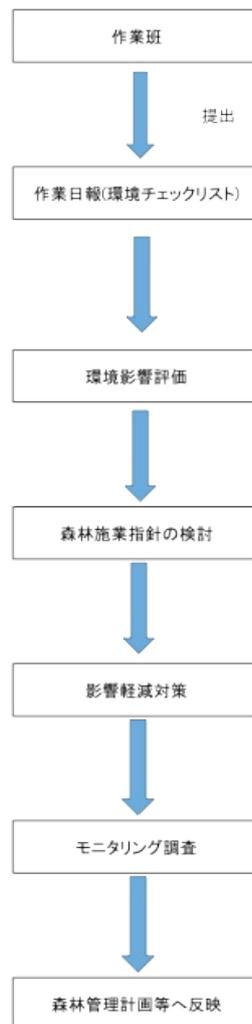
4 苦情処理

苦情や意見があった場合、FM認証管理責任者及び苦情等が発生したサイトのサイト管理責任者は、資料9「苦情処理及び補償に関する手順書」に基づき行動し、苦情（意見）処理票（別紙2-3-8）を用いて連絡及び報告し、その原因を調査して対応及び処理するとともに、今後のモニタリングや管理計画改訂時に反映させるものとする。

5 モニタリング結果の管理計画への反映

モニタリング結果は、5年に1度の管理計画改訂時に反映させるものとする。

環境影響評価の手順



内部モニタリングチェックリスト

実施日:
実施者:

| 番号 | | チェック | コメント |
|------|---|------|------|
| 1 | 多面的機能*へ与える影響 | | |
| | 森林*更新の状況(基準*10.1) | | |
| 1-1 | 森林の更新がある場合 | | |
| | 1) できる限り迅速に*更新されている | | |
| | 2) 伐採作業の影響を勘案し多面的機能を保護しているか? | | |
| | 3) 更新後の植生を伐採前*と比較して少なくとも同程度の自然状態*(樹種構成と林分構造)に回復させるために適切である。 迅速な更新を図ったにも関わらず、意図した更新が見られない場合は原因が分析され、再度更新がされるように対処されている。 | | |
| 1-2 | 更新の際使用した樹種、品種が生態的の適合(基準*10.2) | | |
| | 1) 更新のために用いられる種は、生態的に地域に適合した種であるか? | | |
| | 2) 更新のために用いられる種は更新の目的*及び管理目的*に沿っているか? | | |
| 1-3 | 外来種を使用しているか? 使用した場合、基準10.3に反していないか? | | |
| 1-4 | 遺伝子組み替えを使用していないか?(基準*10.4) | | |
| 1-5 | 育林*作業結果(仕上がり具合等)はその植生、種、場所に適合するとともに管理目的に合致しているか?(基準*10.5) | | |
| 1-6 | 化学肥料は使用しているか? 使用している場合、基準10.6を満たしているか? | | |
| 1-7 | 農薬は使用しているか? 使用している場合、基準10.7を満たしているか? | | |
| 1-8 | 生物的防除は使用しているか? 使用している場合、基準10.8を満たしているか? | | |
| 1-9 | 自然災害のリスクについて、基準10.9を満たしているか? | | |
| 1-10 | 河川等に対し、バッファゾーンでの活動が適切であるか? 基準10.10 | | |
| 1-11 | 残存木、林地残材やその他の多面的機能*を損なわないよう次の1)-7)を満たしているか? | | |
| | 1) 伐採前*の調査により保護*が必要な場所を特定する。 | | |
| | 2) 林業機械を、決められた渡り場以外で河川・溪流*に進入させない。 | | |
| | 3) 残材は沢、河川・溪流*に入れない。 | | |
| | 4) 土壌が流れ出したら搬出は中止する。 | | |
| | 5) 間伐前の掃除伐(大刈り)は作業の安全と効率上必要最低限に抑えて、土壌を過度に露出させない。 | | |
| | 6) 利用可能最大限に最適利用されているか? | | |
| | 7) 利用できない残材、立枯木が適切に林内に残されているか? | | |
| 1-12 | 廃棄物は適切に処理されているか?(基準10.12) | | |

| 番号 | | チェック | コメント |
|------|---|------|------|
| 2 | 社会経済的な影響が評価 | | |
| 2-1 | 違法または未許可の行為が確認されたか？された場合、基準*1.4を満たす方法で処理されたか？ | | |
| 2-2 | 伐採・採取、取引された物で違法なものはないか？(基準1.5) | | |
| 2-3 | 紛争*や苦情はあったか？ あった場合次の1)-3)を行ったか？(基準1.6,2.6,4.6) | | |
| | 1)各種手順書もしくは、協議の上で解決されたか？ | | |
| | 2)記録を残しているか？ | | |
| | 3)改善措置を行ったか？ | | |
| 2-4 | 労働者の権利について以下の1)-3)は適合するか？(基準2.1) | | |
| | 1) 結社の自由及び団体交渉権が保障され、強制労働、児童労働、雇用及び職業における差別等が排除されている。 | | |
| | 2)労働者との話し合いの場があるか？最近どんなことを話したか？ | | |
| | 3)団体交渉及び直接交渉があったか？記録はあるか？ | | |
| 2-5 | 性別などの差別、ハラスメントがなく平等であるか？(基準2.2) | | |
| 2-6 | 労働安全衛生に関して(基準2.3) | | |
| | 1)労働災害はあったか？記録と改善はあるか？ | | |
| | 2)労働安全衛生に関するプログラムや活動はあるか？記録を残しているか？ | | |
| 2-7 | 労働者に最低賃金を上回る給与を遅れなく支払っているか？(基準2.4) | | |
| 2-8 | 教育訓練を行っているか？(基準2.5) | | |
| 2-9 | 農業を使っている場合、晒される労働者*の健康を配慮しているか？(基準2.5,10.7) | | |
| 2-10 | 先住民はいるか？(原則3) | | |
| 2-11 | 地域社会について | | |
| | 1)利害関係者は特定されているか？ | | |
| | 2)習慣的権利はあるか？(山菜採り以外で) | | |
| | 3)地域社会との話し合いの場があったか？ | | |
| 2-12 | 地域社会*にとって文化的、生態的、経済的、宗教的、または精神的に特別な意味を持つ場所について(基準4.7) | | |
| | 1)特定されている？ | | |
| | 2)保護方法がある？ | | |
| | 3)施行計画がある？ | | |
| 2-13 | 伝統的知識*や知的財産*を使用している？(基準4.8) | | |
| 2-14 | 地域に対して行った、講習・研修・レクリエーション等があるか？(基準4.2、4.4、4.5) | | |

| 番号 | | チェック | コメント |
|------|---|------|------|
| 3 | 森林*のもたらす便益 | | |
| 3-1 | 地域経済の活性化、多様化につながる可能性のある多様な資源と生態系サービス*が特定されている？もしくは試みている？(基準5・1) | | |
| 3-2 | 生態系サービス*や森林*の多面的機能*の維持を試みている？(基準5・1) (林分・景観*レベルの、枯損木も含めた生物多様性*や生息・生育域の状況を含む) | | |
| 3-3 | 計画されていた木材や非木材林産物*の年間収穫量と実際の収穫量、年間成長量の比較(昨年度の生産量を集計する)(基準5.2) | | |
| 3-4 | 地域内に生産物を流通させている？(基準5.4) | | |
| 3-5 | 年間予算編成を行っている？(基準5.5) | | |
| 3-6 | 高い保護価値(HCV)*5と6が存在し、保護方法を持つか？ | | |
| | <p>・HCV 5: 地域社会*のニーズ。地域社会*または先住民族*との協議*の下で特定された、地域社会*または先住民族*の基本的な生活(例: 生計、健康、栄養、水など)に欠かせない場所と資源。</p> <p>・HCV 6: 文化的価値。世界的または国家的に、文化的、考古学的または歴史的に重要な場所、資源、生息・生育域と景観、及び/または地域社会*または先住民族*との協議*の下で特定された、地域社会*または先住民族*の伝統文化にとって文化、生態、経済または宗教/精神上の側面から非常に重要な場所、資源、生息・生育域と景観。</p> | | |
| 4 | 環境状態の把握 | | |
| 4-1 | 活用される可能性のある多様な資源と生態系サービス*が特定されている。 | | |
| 4-2 | 非木材林産物*に利用される資源の状況を確認しているか？ | | |
| 4-3 | 樹高・直径・立木密度(サンプリングによる)、及び林齢構成(基準* 5.5) のデータはあるか？ | | |
| 4-4 | 施行前、施行後の影響評価。悪影響は認められるところがあったか？ | | |
| 4-5 | 下層植生のモニタリングは行っているか？ | | |
| 4-6 | 希少種等は確認されたか？確認された場合は保護方法を検討しているか？ | | |
| 4-7 | 河川に対して配慮されているか？(基準6.7) | | |
| 4-8 | 皆伐地はあるか？更新は行われているか？(基準6.8) | | |
| 4-9 | 土地利用の変更を行っているところはあるか？(基準6.9) | | |
| 4-10 | 新たな拡大造林の場所はあるか？(基準6.10) | | |
| 4-11 | 保護価値の高い山林についてのモニタリングはされているか？(原則9) | | |

| | | 1970 | 1975 | 1980 | 1985 | 1990 | 1995 | 2000 | 2005 | 2010 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | |
|--|---------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|------------|-----------|---------|--------|--------|--|
| | | (45 | 50 | 55 | 60 | | | (12 | (17 | (22 | (24 | (25 | (26 | (27 | (28 | (29 | (30 | | | |
| | () | 40,921 | 36,190 | 35,692 | 33,610 | 30,416 | 26,102 | 22,230 | 17,640 | 15,347 | 14,686 | 14,330 | 14,167 | 14,261 | 14,258 | 14,072 | 14,113 | | | |
| | () | 60,407 | 66,726 | 56,050 | 48,955 | 47,262 | 44,129 | 37,121 | 29,833 | 23,715 | 22,031 | 21,487 | 21,018 | 20,561 | 20,105 | 19,698 | 19,228 | | | |
| | (12) | 24,546 | 23,630 | 22,241 | 18,834 | 16,811 | 15,386 | 11,663 | 9,011 | 6,569 | 5,927 | 5,690 | 5,469 | 5,206 | 4,934 | 4,814 | | | | |
| | () | 261,518 | 195,258 | 186,807 | 172,412 | 153,600 | 120,678 | 95,706 | 78,455 | 76,010 | 69,415 | 67,675 | 61,991 | 64,334 | 64,596 | 64,233 | 67,072 | | | |
| | () | 668,803 | 631,735 | 538,321 | 445,413 | 456,885 | 431,271 | 342,493 | 260,131 | 223,254 | 212,056 | 204,222 | 204,224 | 199,237 | 199,175 | 197,534 | 196,564 | | | |
| | (()) | 45.35 | 34.16 | 34.05 | 32.94 | 29.30 | 22.90 | 17.99 | 17.03 | 17.96 | 19.28 | 20.82 | 21.26 | 21.58 | 22.18 | 22.92 | | | | |
| | h a | 359.65 | 230.15 | 165.77 | 109.57 | 70.77 | 55.57 | 35.91 | 28.58 | 24.13 | 25.36 | 27.34 | 24.75 | 25.17 | 27.05 | 30.21 | | | | |
| | () | 42.13 | 36.76 | 36.92 | 28.40 | 29.78 | 24.49 | 17.09 | 13.24 | 9.44 | 9.34 | 9.99 | 9.59 | 9.13 | 9.30 | 9.29 | | | | |
| | | 16,248 | 12,323 | 12,490 | 8,498 | 5,069 | 3,802 | 2,773 | 2,171 | 2,149 | 1,482 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 3,083 | 2,365 | 2,363 | 1,897 | 1,723 | 1,611 | 1,619 | 1,561 | 1,314 | 1,342 | 1,248 | 679 | |
| | | 248 | 153 | 117 | 122 | 89 | 74 | 53 | 47 | 59 | 37 | 39 | 42 | 38 | 41 | 40 | 31 | 33 | 22 | |
| | | | | | | | | | | 28 | 21 | 27 | 28 | 23 | 27 | 23 | 17 | 19 | 9 | |
| | | 59.7 | 55.4 | 57.8 | 42.5 | 30.2 | 31.5 | 28.7 | 26.8 | 28.6 | 31.6 | 28.7 | 26.9 | 27.0 | 31.2 | 32.9 | 22.4 | | | |
| | (100) | (18. 22) | 9. 20 | 9. 20 | 4. 95 | 0. 20 | 1. 10 | 0. 99 | | | | | (6. 10) | 0. 63 | (31. 22) | (4. 14) | 9. 19 | | | |
| | 30 99 | | | 43.25 | 40.02 | 23.93 | 28.13 | 36.54 | 46.32 | 20.21 | 27.84 | 24.99 | 24.39 | 26.18 | 26.17 | 25.75 | 25.38 | | | |
| | (100) | (1. 70) | 0. 02 | 0. 82 | 1. 17 | 0. 73 | 1. 75 | 3. 82 | 1. 73 | 3. 10 | 6. 48 | 12. 36 | (0. 18) | 0. 38 | 0. 78 | 0. 65 | | | | |
| | 30 99 | | 8.20 | 9.78 | 6.72 | 7.06 | | | | | | | 4.72 | 3.97 | 4.30 | 1.49 | 0.63 | | | |
| | | 27,972 | 19,870 | 16,491 | 10,449 | 7,885 | 5,780 | 3,990 | 2,590 | 1,668 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 3,422 | 2,284 | 1,446 | 1,438 | 1,365 | 1,350 | 1,233 | 1,206 | 1,191 | 1,196 | 1,161 | 562 | |
| | | 155 | 90 | 64 | 45 | 23 | 34 | 23 | 16 | 9 | 6 | 16 | 11 | 7 | 9 | 6 | 11 | 10 | 3 | |
| | | | | | | | | | | 3 | 4 | 2 | 6 | 6 | 3 | 4 | 4 | 6 | 3 | |
| | | | 58.0 | 30.9 | 23.1 | 17.4 | 13.4 | 11.5 | 9.9 | 7.4 | 13.1 | 11.4 | 12.3 | 11.2 | 11.0 | 9.9 | 10.9 | | | |
| | (100) | (18. 42) | 0. 63 | 0. 75 | 5. 34 | 6. 54 | 8. 22 | 9. 72 | 8. 62 | 4. 13 | 5. 03 | 4. 93 | 9. 03 | 8. 25 | 2. 77 | 3. 60 | 3. 12 | | | |
| | 30 99 | | 20.44 | 19.23 | 14.53 | 9.75 | 8.20 | 9.04 | 4.99 | 6.54 | 8.48 | 7.33 | 5.37 | 6.10 | 6.47 | 8.38 | | | | |
| | (100) | (1. 60) | 0. 77 | 0. 80 | 0. 78 | 0. 25 | 0. 90 | 0. 57 | 0. 69 | 0. 69 | 1. 70 | 3. 00 | 5. 90 | 7. 10 | 6. 10 | 4. 10 | 6. 64 | | | |
| | 30 99 | | 0.80 | 0.75 | 3.47 | 2.15 | 0.67 | 0.27 | 0.25 | 0.80 | 0.92 | 0.14 | 0.14 | 0.10 | 0.70 | 0.30 | | | | |
| | | | 556 | 821 | 307 | 98 | 136 | 160 | 65 | 36 | 48 | 53 | 44 | 41 | 35 | 35 | 24 | | | |
| | () | | 901 | 5,376 | 6,724 | 5,382 | 3,572 | 2,903 | 2,278 | 1,560 | 1,332 | 1,226 | 1,191 | 1,139 | 1,068 | 1,017 | 966 | | | |
| | % | (80) | (89) | (113) | 101 | 80 | 138 | 134 | | | | | | | | | | | | |
| | | | 360.8 | 465.8 | 434.4 | 412.7 | 468.9 | (59) | (60) | (60) | (60) | (60) | (60) | (60) | (60) | (60) | (60) | (60) | (60) | |
| | % | (18) | (21) | (32) | (36) | (40) | (41) | (39) | | | | | | | | | | | | |
| | | | 265.6 | 349.9 | 314.2 | 247.1 | 287.2 | 454.7 | 334.4 | 341.6 | 354.7 | 327.8 | 313.2 | 298.1 | 283.8 | | | | | |
| | % | (18) | (27) | (25) | (26) | (26) | (24) | (23) | (21) | (15) | (13) | (13) | (13) | (14) | (14) | (14) | (14) | (14) | (14) | |
| | | | 118.6 | 89.0 | 102.0 | 131.6 | 150.2 | 242.9 | 249.6 | 239.3 | 218.0 | 205.7 | 193.7 | 187.7 | | | | | | |
| | () | | 39,776 | 35,081 | 27,510 | 25,821 | 23,476 | 19,727 | 14,535 | 10,863 | 10,197 | 9,525 | 9,246 | 9,086 | 8,900 | 8,541 | 8,386 | 8,328 | | |
| | | | 398 | 1,468 | 1,465 | 2,157 | 1,602 | 1,164 | 1,498 | 861 | 904 | 1,097 | 1,077 | 1,069 | 1,060 | 1,247 | 1,230 | 1,217 | | |

別紙

南三陸森林管理協議会 FM認証部会
森林作業共通仕様書

1 趣旨

森林作業共通仕様書は、森林管理計画・森林経営計画に基づき、持続可能な方法で森林を経営・管理するための森林作業の仕様を定めるものであり、南三陸森林管理協議会 FM認証部会における森林作業については、本仕様書に基づいて作業をするよう努めなければならない。

2 各作業現場における環境影響評価

作業現場における責任者（作業班長等）は、各作業現場での作業を実施するにあたり、別紙2-1「作業 安全指示確認書」を用い、作業前の環境影響評価を行うとともに、各作業現場での作業後においても同リストを用い、環境影響の確認を行うものとする。

3 各作業における確認事項

作業を行うものは、各日の作業を実施するにあたり、別紙2-1「作業 安全指示確認書」、別紙2-2「作業マニュアル（環境配慮型）」及び、別紙2-3-1～8「モニタリング用チェックリスト」を用い、作業手順及び環境配慮、危険予知（KY）の確認を行うものとする。

環境影響評価確認書（事業管理者用）

| | | | |
|-------|--|-------|-------|
| 事業名 | | 事業箇所 | |
| 事業発注者 | | 事業請負者 | |
| 作業着手日 | 年 月 日 | 作業完了日 | 年 月 日 |
| 作業種 | <input type="checkbox"/> 地拵 <input type="checkbox"/> 植付 <input type="checkbox"/> 下刈 <input type="checkbox"/> 枝打 <input type="checkbox"/> 除間伐 <input type="checkbox"/> 間伐 <input type="checkbox"/> 主伐 <input type="checkbox"/> 搬出 <input type="checkbox"/> 集積・集材 <input type="checkbox"/> 作業道 <input type="checkbox"/> 支障木処理 <input type="checkbox"/> 森林調査 <input type="checkbox"/> その他() | | |

| | | | | | | |
|-------|--------------------------|---------------------------------|----|-----|---|-----|
| 作業前確認 | 確認日 | 年 月 日 | 天気 | | <input type="checkbox"/> 晴れ <input type="checkbox"/> 曇り <input type="checkbox"/> 少雨 <input type="checkbox"/> 小雪 | 確認者 |
| | <input type="checkbox"/> | 事業実施箇所の境界は明確か。 | はい | いいえ | 備考(いいえの場合はその位置等): | |
| | <input type="checkbox"/> | 貴重な動植物が生息しているか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | 粗大ゴミや空き缶など不法投棄されたゴミがあるか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | 土壌侵食、山地崩壊など災害を引き起こすおそれのある箇所はあるか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | 渓流水が濁っている、異臭がする等の異常が見られるか | はい | いいえ | 備考(はいの場合はその状況): | |
| | <input type="checkbox"/> | その他の環境変化(例:鳥類が営巣してる木がある)があるか | はい | いいえ | 備考(はいの場合はその状況): | |
| | その他(気づいた点等) | | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--------------------------|---------------------------------|----|-----|---|-----|
| 作業中確認 | 確認日 | 年 月 日 | 天気 | | <input type="checkbox"/> 晴れ <input type="checkbox"/> 曇り <input type="checkbox"/> 少雨 <input type="checkbox"/> 小雪 | 確認者 |
| | <input type="checkbox"/> | 作業員が安全装備を適切に使用しているか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | 土壌侵食、崩壊等を防ぐための対策が取られているか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | 吸い殻や作業ゴミは適切に処理されているか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | オイル容器は、河川の近くに置かない等適切に管理されているか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | 河川に伐倒木、枝を落とさない等林地残材は適切に処理されているか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | その他の環境変化(例:鳥類が営巣してる木がある)があるか | はい | いいえ | 備考(はいの場合はその状況): | |
| その他(気づいた点等) | | | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--------------------------|---------------------------------|----|-----|---|-----|
| 作業後確認 | 確認日 | 年 月 日 | 天気 | | <input type="checkbox"/> 晴れ <input type="checkbox"/> 曇り <input type="checkbox"/> 少雨 <input type="checkbox"/> 小雪 | 確認者 |
| | <input type="checkbox"/> | 土壌侵食、山地崩壊など災害を引き起こすおそれのある箇所はあるか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | 渓流水が濁っている、異臭がする等の異常が見られるか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | 貴重な動植物が生息しているか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | 残存している立木に病害虫が見られるか | はい | いいえ | 備考(はいの場合はその状況): | |
| | <input type="checkbox"/> | 河川に伐倒木、枝を落とさない等林地残材は適切に処理されているか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | オイル容器等の作業ゴミは林内に放置されていないか | はい | いいえ | 備考: | |
| | <input type="checkbox"/> | その他の環境変化(例:鳥類が営巣してる木がある)があるか | はい | いいえ | 備考(はいの場合はその状況): | |
| その他(気づいた点等) | | | | | | |

作業マニュアル(環境配慮型)

F S C 認証森林として、原則と環境に配慮した作業が求められる。

現場での作業において配慮すべき事項を盛り込んだ「作業マニュアル」をここに定める。

1. 保育作業(環境配慮型)

① 地拵え

有用な広葉樹を残し、必要以上の刈払いを避ける。なお、保残地帯を設ける場合は、現地の地形に配慮して設置する。古木や枯れ木等は、施業に支障がない限り林内に残す a
火入れ地拵えは原則として禁止する。

② 植付け

苗木の種類は、植えつける土地の条件を考慮したうえで慎重に選択する。溪流付近への植栽は、バッファゾーンへの影響を考え極力行わない。森林動物の食害から苗木を守るための処置を必要に応じて行うこと。

③ 倒木起し

倒木起しに使用するロープ類は、可能な限り、わら縄、麻縄等自然素材のものを使用する。
針金を使用しての引き起こしは禁止する。使用済みのビニール製ロープ等の腐朽しないものについては、造林木より取り外しを行い適切に処理する。

④ 下刈り

林分の状況を判断のうえ下刈り方法を選定し、必要以上の刈払いは避ける。広葉樹は主林木の成長に支障のないかぎり残す。b 鳥類の営巣が見られる時は、周辺を含めて作業に配慮する。溪流付近の広葉樹の刈払いは原則として実施しないが、密度管理のため行う場合は必要最小限に止めるようにする。

⑤ 選木

保育や収穫作業の中で重要なものの1つとして選木作業がある。間伐率の順守は無論のこと、光を求めて曲がりが発生しないよう等間隔の樹木配置が重要で、そのための選木作業を除伐及び利用間伐前に実施する。選木においては、下記基準を満たす立木を優先的に残す木とする。

ア、通直で根張りが良いこと。

イ、樹幹長が樹高の3分の1以上あること。

ウ、立木間隔が等間隔となること。

ただし、選木対象の木に鳥類の営巣がある場合は、営巣の妨げにならないよう配慮する。枯れ木や倒木等は施業に支障がない限り、林内に残すようにする。

⑥ 除間伐

植栽木は、下草・中間層の広葉樹等の状況に注意をはらい、適正本数を維持する。植栽木の成長に支障がないものは極力残す。伐倒にあたっては、残存木への損傷を最小限にすること。

間伐のための下刈りは、必要最小限度に止める。除間伐木の幹は、急傾斜の場合、等高線沿いの

地面に着くように配慮する。ただし、シカの食害が甚大な場所ではシカの歩行を妨げる乱伐りのまま捨て置くこともある。

溪流沿いの場合は伐採木の枝等が川に流入しないようにする。

⑦ 枝打ち

枝打ちは優良材生産を目的として実施するが、同時に枯れ枝から入る害虫の防除や林内への採光についても考慮して実施する。枝打ち高は基本として4 mとするが、材質により柔軟に設定する。なお、除伐対象木の枝打ちは行わないが、反対に枝打ち対象木に鳥類の営巣がある場合は、営巣の妨げにならないように実施しない等配慮する。

⑧ 薬剤関係

原則として薬剤の使用は禁止する。飲料水等を集落裏山の水源地に依存している地域にあっては、水源林での忌避剤等の薬剤の使用は避けるようにする。

保残地帯→手入れをせず、自然の生態系に近い状態で残す範囲のこと。

a、b FSC5.3→ 森林管理は、伐採や現場での加工作業に伴う廃材を最小限に抑え、他の資源への損傷を避ける。

2. 収穫作業(環境配慮型)

① 利用間伐

利用間伐を行う際、溪流に枝等を流入させないこと。効率と環境配慮のバランスをよく考えて作業する。また、溪流付近の環境変化は最小限にする。伐倒にあたっては、残存木への損傷を最小限にすること。まず伐採準備のための下刈り時に、可能な限り下草・広葉樹を残す。 a c 特に溪流付近の下草には留意する。

造材によってより価値の高い素材の生産を目指す。

② 主伐/皆伐

主伐は全木の伐採を行うもので、この時の環境配慮としては、まず伐採準備のための下刈り時に、可能な限り下草・広葉樹を残す。 a c 特に溪流付近の下草には留意する。

また、溪流及び林道に囲まれた小面積地帯等の全伐が不適切な林分については、皆伐禁止区域として、強間伐等の作業に留め、土砂崩壊等を引き起こさないようにする。

③ 造材

造材は目視で曲がり等形質を判断し、原則として可能な限り、チェーンソーにより玉切りする。これにより価値の高い丸太とそれ以外の素材の分別を図り、総合的に出荷価格の最大化と端材等を含めた利用率の向上に繋げる。なお、作業においては現場責任者の指示により適宜対応する。

④ 収穫作業の環境配慮

- ・ 保随地帯・保護区・バッファゾーン近くで行う場合は、作業が始まる前に少なくとも一時的な線引きを行っておく。 b
- ・ 溪畔の林分では、作業に特段の支障がない限り、溪流側一立木少なくとも一列分は伐採せず溪流に劇的な環境変化を与えないようにする。

- ・ 林内作業車は、決められた渡り場以外で河川・溪流に進入してはならない。
- ・ 小枝と端材は河川・溪流に入れない。
- ・ 土壌が流れ出したら搬出は中止する。
- ・ 皆伐後は速やかに再造林を行う。保安林は伐採から2年以内とし、非保安林もこれに準ずる。

-
- a FSC5.3 → 森林管理は、伐採や現場での加工作業に伴う廃材を最小限に抑え、他の資源への損傷を避ける。
 - b FSC6.5a → 浸食の抑制、林道建設、全ての機械による被害を最小限のものとするガイドラインが文書化され、実行されなければならない。
 - c FSC6.5c → 伐採時の森林損傷を最小限化するガイドラインが文書化され、実行されなければならない。

3. 林道・作業道について

1) 作業道開設について

- ・ 地形、地質、湧水の有無、林地内の植生など現地の自然条件をよく観察して線形・設計等を検討する。
- ・ 切盛土量の均衡を保つよう土量計算を心がける。
- ・ 雨水や雪解け水が溜まらないように小まめに排水を作るよう心掛ける。
- ・ 沢への直接排水は避けある程度の土壌の上を水が流れることで水の中の土壌を落とすようにする。
- ・ 轍は水路になり、作業道の崩壊を招くので作業終了後確実に均すようにする。
- ・ 沢を横断する場合、暗渠排水を避け、洗い越し工を採用することを薦める。

2) 維持管理作業

川に沿って開設してある林道は、今後の異常気象に伴う台風や豪雨により復旧を必要とする被害が生じる可能性がある。台風や豪雨が過ぎ去った後は、必ず林道の状況を確認し、補修が必要な場合は、作業等に滞りがないよう速やかに補修にあたる。

4. 安全作業の取り組みと労働者の権利

労働安全衛生の確保は、森林経営の基盤をなすものであり、これを確保することは森林組合としての社会的責任である。作業ごとの安全装備の基準を示し、その装着を徹底することで、労働災害の防止に努める。また、労働安全講習の定期的開催や、安全大会の実施など現場の安全管理と労働安全意識の向上に努める。

一方、優秀な人材の育成は、やはり森林経営の基盤をなす重要なものである。職員・作業員に対して研修・教育の機会の確保などを通じて能力・技術の習得を促し、援助する。

なお、労働者が有する諸権利(団体交渉権)は、労働基準法に準拠し、これを妨げない。

-
- FSC1.3 → ILO 条約...等の国際的取り決めへの加盟国は、規定されている全ての事項に従わなければならない。

FSC4.1 → 森林管理区域内の地域社会...に雇用、訓練、他のサービスを受ける機会が与えられなければならない。

FSC4.2 → 労働者やその家族の健康や安全に関する全ての関連法律や関連規則を満たさなければならない。

FSC4.3 → 労働組合を組織し、雇用主との自主的な交渉を行う労働者の権利は...保障されなければならない。

5.環境に配慮した作業の実施

(1) 保全地帯・保護区及びバッファゾーン に入る人工林について

下草を極力残し間伐により林床の光環境を改善することにより広葉樹及び草本の生育・成長を促すこと。

(2) 車輛、機械類の管理

- ①車輛、機械器具類は、常時整備点検を行うこと。
- ②機械器具類の整備時に油脂の林内への流出を防止すること。
- ③車輛の不必要なアイドリングは行わないこと。

(3) 水質保全

- ①油脂等の交換、補給は、溪流付近では行わないこと。
- ②河川、溪流付近では、特に水質に悪影響を与えないよう十分配慮し作業を行うこと。
- ③給油やグリスの交換の際は、地面に落ちることを防止するためにブルーシートなどを地面に敷き作業を行う
- ④重機などは故障などによる突然の油等の漏れがあるのでブルーシートなどを持ち運ぶ、突発的な事象に備える。
- ⑤給油、グリス交換など液体物の取り扱う際は、沢沿いを避けて作業を行う。

(4) 土砂災害防止

- ①立木等伐採したものについては、沢に集積しないこと。
- ②除間伐作業を行う場合は、可能な限り広葉樹を残し林地保全に配慮した作業を行うこと。
- ③急傾斜地では、伐倒木を等高線沿いに置き、土砂の流出を防止すること。

(5) 廃棄物の処理

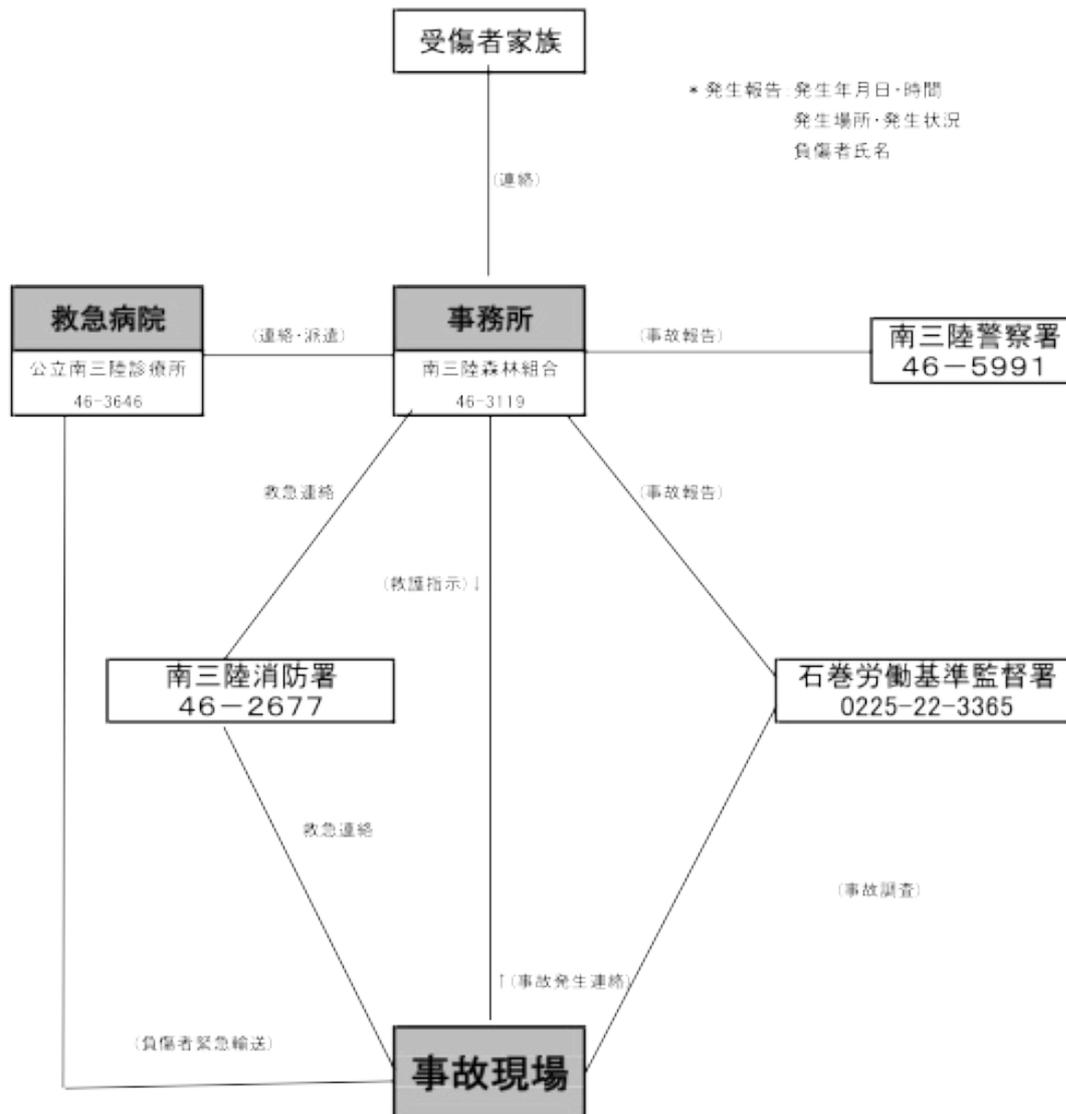
- ①作業現場において発生する廃棄物については、林内に残さずすべて持ち帰り、適正に処理すること。

(6) 山火事予防

- ①作業用機械器具の取扱いには十分注意し、機械使用中の発火に注意すること。
 - ②喫煙には十分に注意するとともに、吸殻は適切に処理すること。
 - ③山菜採りやハイカーに対しても、山火事予防の啓発を行うこと。
- * 火災発生時は、「災害発生時の緊急連絡体制」にそって連絡を行う。無理せず自分の身を守ることを優先すること。

災害発生時の緊急連絡体制

緊急連絡体制については下図のとおり体制とし、事務所及び作業現場休憩所に提示するほか各班長を通じて周知徹底する。



＊非常事態に於ける事務所の措置

- | | |
|--------------|---------------|
| ① 対策本部の設置 | ⑥ 関係機関への連絡 |
| ② 医師の出動の要請 | ⑦ 災害調査・立会 |
| ③ 救急車の出動要請 | ⑧ 対策の検討・指示 |
| ④ 病院の受入体制の整備 | ⑨ 災害死傷病報告書の提出 |
| ⑤ 家族への連絡 | |

環境影響軽減に関する指針

* 環境影響要因の抽出と環境配慮事項

| | 活動要素 | 活動内容 | 環境配慮事項 |
|------|----------|---------------------|--------------------------------------|
| 基盤整備 | 河川改変 | 事業で河川の改変は行わない。 | 事業を行わないため特になし。 |
| | 林道開設・補修 | 切土・盛土等整地を伴う。 | 土壌浸食、河川・溪流の濁水。 |
| | 海岸地形改変 | 事業で海岸の改変は行わない。 | 事業を行わないため特になし。 |
| | 湖沼・干潟の改変 | 当該地に湖沼・干潟ない。 | 事業を行わないため特になし。 |
| | 資材・廃土の運搬 | 事業で資材・廃土の運搬は行わない。 | 事業を行わないため特になし。 |
| 林業施業 | 樹木の伐採 | 除間伐・主伐等、樹木の伐採を行う。 | 生物多様性の劣化・かく乱、貴重種の除去。 河川・溪流への端材流入。 |
| | 地拵え・下刈 | 草木・低木類の刈払い。 | 生物多様性の劣化・かく乱、貴重種の除去。 |
| | 枝打ち | 立木枝葉の除去のみ。 | 枝葉のみの除去のため環境に影響なし。 |
| | 集運材 | トラック等による林道通行 | 林道通行にあたっての環境への影響なし。 |
| | 廃棄物の発生 | 作業に伴う一般、産業廃棄物が発生する。 | 有害廃棄物の発生と土壌の悪化。 下流への影響。 |

別紙

保護価値の高い山林（HCVF） について

2020.5.28

南三陸森林管理協議会

南三陸森林管理協議会では、FSC 認証の基準に基づき、「保護価値の高い山林」（HCVF）を特定し保全・保護に努める。

ここで、HCVF の定義・定義された具体的な場所・保護方法について定める。

1. 定義

保護価値の高い森林を定義つけるため、聞き取り調査をおこなった。（「保護価値の高い森林が存在するかの聞き取り記録」及び「アンケート調査報告書」参照）この結果は、「アンケート調査結果 MAP」にまとめた。

その結果から、FSC 認証山林内で設定した保護区と重なり合う場所を、次のような観点で整理し HCVF として定義する。

(1) 文化財の観点(HCV6)

- ・ 町内の人工林には、館跡など遺跡が多く存在している。基本的には県の遺跡リストにある森林は保護価値の高い。このような遺跡は、地形が重要であるため、原則として地形を変えないように施業をする。また、県の指導のもと施業を行う。歴史的観点から見ると認証対象森林内にある朝日館跡の森林は保護価値が高い。また、田東山経塚郡も宮城県指定文化財であり、その周辺の山林も霊山として信仰の対象であったため、町有林である田東山山林も保護価値の高い山林として扱う。
- ・ 町内の歴史からみて、保護価値の高い遺跡として産金跡の遺跡がある。産金遺跡については町内に多数点在しているが、県の遺跡リストには登録されていない。聞き取り調査などを通して、記録し後世に伝えていく必要がある。
- ・ 現在、把握できている町内の文化財等を、南三陸山の会作成「南三陸町森林図」に書き込み、「南三陸遺跡マップ」として作成している。これを、蓄積データとし、随時アップデートしていく。

(2) 動植物と文化面の観点 (HCV 3・HCV 6)

町内の海岸林は手厚く保護する必要がある。(ハナユリ、タブの木、ミヤマシキミなど海岸林特有の植物は保護価値が高い。) 認証対象森林の海岸林の中の保護価値の高い森林として文化面や動植物の観点から荒島が挙げられるため、HCVF に設定している。また、荒島は林内に荒嶋神社が存在し、鎮守の森としても古くから慕われており保護価値の高い山林である。

(3) 町民の財産としての観点 (HCV 6)

南三陸町では、豊かな緑を町民の財産として保存するために、南三陸町正鵠の森条例がある。FSC 認証林内に、正鵠の森は存在するため、ここを HCVF として定める。

2. 具体的な場所

上記のことから FSC 認証山林内で以下の 4 箇所の HCVF を定義する。

朝日館山林 (林班：志津川 68 い 2-4 68 ろ 3-20)

田束山 (林班：歌津 27,28 の保護区)

荒島 (林班：志津川 104 ろ 37 0-2)

正鵠の森 (林班：志津川 3 に 1-7,ほ 1-2)

具体的な位置は、「FSC 山林における HCVFMAP」にまとめている。

3. 各 HCVF の想定される驚異

朝日館山林 館跡である地形の人為的な変形

田束山 経塚や史跡への人為的変形・獣害・風水害
病虫害被害

荒島 自然植生の人為的攪乱と採取

正鵠の森 「南三陸町正鵠の森条例」に反する行為
具体的には下記の(1)~(4)の通り

(1) 火気を使用すること。

(2) 樹木を伐採し、又は植物を採取すること。

(樹木の育成のために必要な下刈、除伐、間伐、枝打ち及び枯損木並びに被害木の除去、苗木の採取を行う場合を除く)

(3) 土地の形質を変更すること。

(4) 土石の類を採取すること。

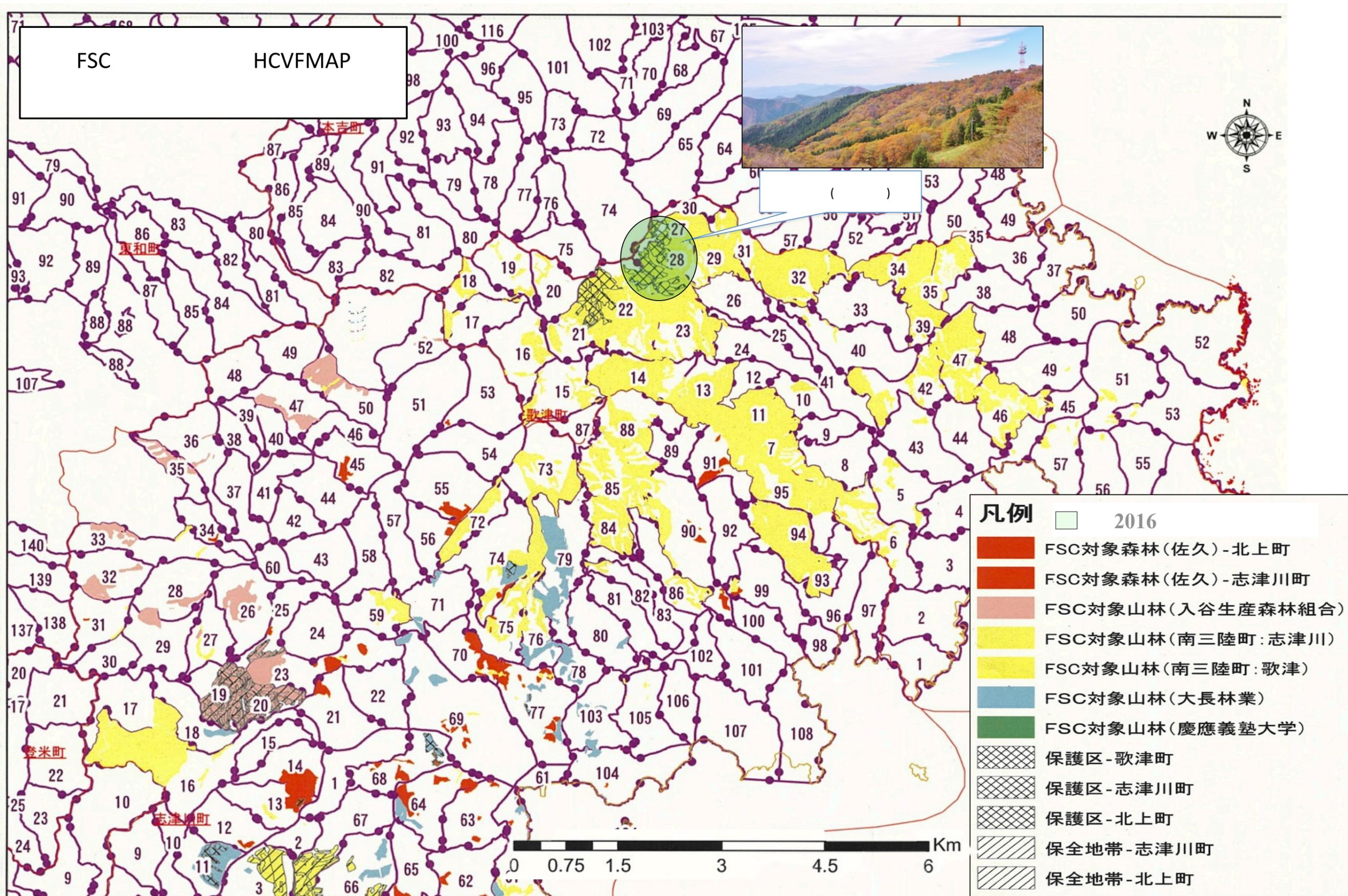
4. 保全方法

保全方法は、以下のように行う。

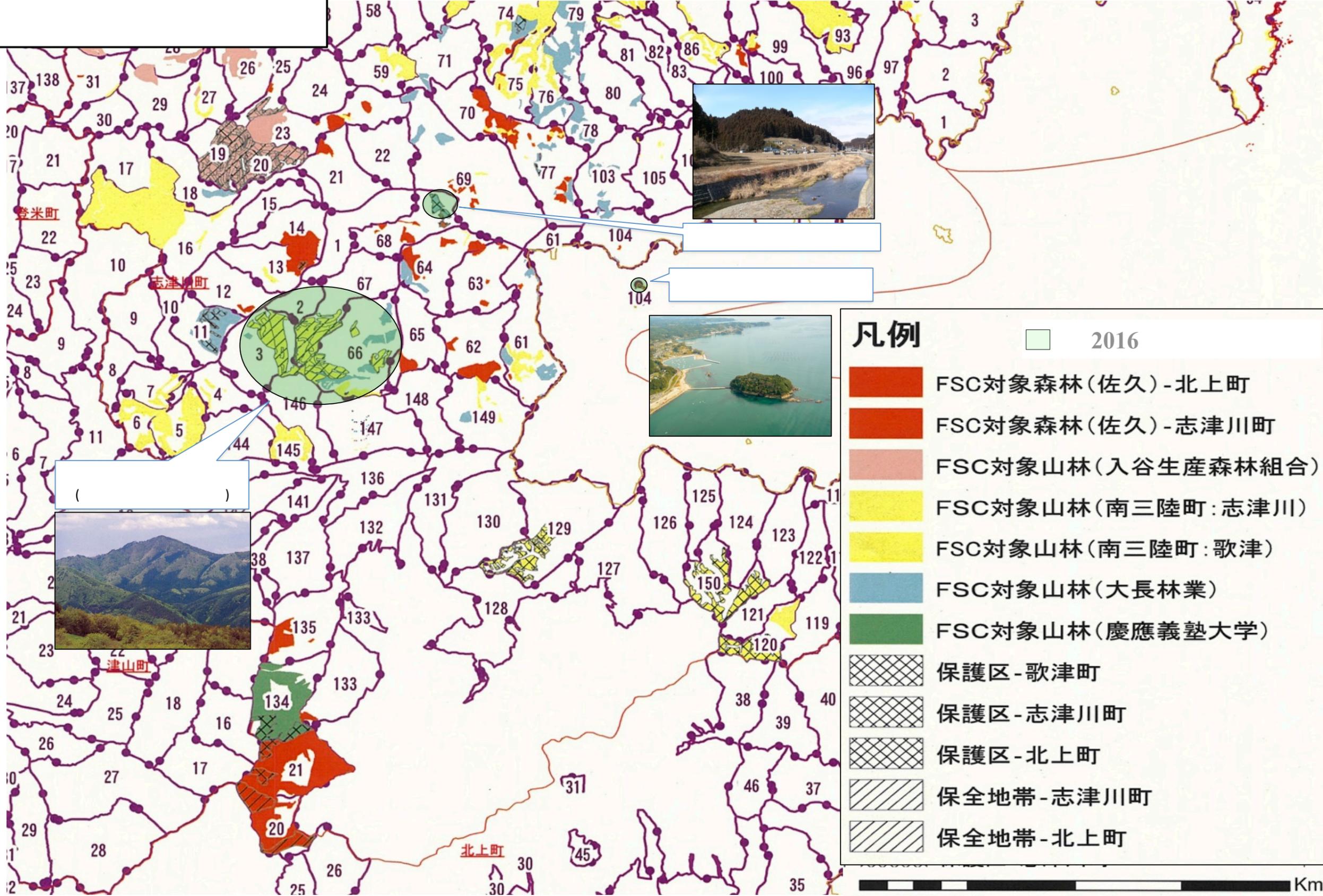
朝日館山林、田束山は県指定文化財であり、文化財保護法の厳守、及び景観に配慮した森林整備を行うとともに、獣害、風水害等のリスク管理を行う。(別添の「埋蔵文化財保護の手引き」参照)

荒島は、三陸復興国立公園の中にあり、自然公園法にのっとり管理する。また、古来より、如何なるものも島の外に持ち出しはできないという習慣があるのでこれも守る。ガイド等に関しては「森のガイドブック 南三陸町荒島編」にまとめた内容に従う。

正鵠の森は、優れた自然環境を将来に継承することを目的に「南三陸町正鵠の森条例」に従い管理を行うと共に、町民の協力のもと保全していく。



FSC HCVFMAP



- 凡例**
- 2016
 - FSC対象森林(佐久)-北上町
 - FSC対象森林(佐久)-志津川町
 - FSC対象山林(入谷生産森林組合)
 - FSC対象山林(南三陸町:志津川)
 - FSC対象山林(南三陸町:歌津)
 - FSC対象山林(大長林業)
 - FSC対象山林(慶應義塾大学)
 - 保護区-歌津町
 - 保護区-志津川町
 - 保護区-北上町
 - 保全地帯-志津川町
 - 保全地帯-北上町

